

政府開発援助(ODA)
国別データ集
2023

外務省国際協力局 編

東アジア・東南アジア地域に対する ODA.....	2	[11] コロンビア.....	118
[1] インドネシア.....	4	[12] ジャマイカ.....	120
[2] カンボジア.....	6	[13] スリナム.....	122
[3] タイ.....	8	[14] セントクリストファー・ネービス.....	124
[4] 東ティモール.....	10	[15] セントビンセント及びグレナディーン諸島.....	126
[5] フィリピン.....	12	[16] セントルシア.....	128
[6] ベトナム.....	14	[17] チリ.....	130
[7] マレーシア.....	16	[18] ドミニカ国.....	132
[8] ミャンマー.....	18	[19] ドミニカ共和国.....	134
[9] モンゴル.....	20	[20] トリニダード・トバゴ.....	136
[10] ラオス.....	22	[21] ニカラグア.....	138
大洋州地域に対する ODA.....	26	[22] ハイチ.....	140
[1] キリバス.....	28	[23] パナマ.....	142
[2] クック.....	30	[24] バハマ.....	144
[3] サモア.....	32	[25] パラグアイ.....	146
[4] ソロモン.....	34	[26] バルバドス.....	148
[5] ツバル.....	36	[27] ブラジル.....	150
[6] トンガ.....	28	[28] ベネズエラ.....	152
[7] ナウル.....	40	[29] ベリーズ.....	154
[8] ニウエ.....	42	[30] ペルー.....	156
[9] バヌアツ.....	44	[31] ボリビア.....	158
[10] パプアニューギニア.....	46	[32] ホンジュラス.....	160
[11] パラオ.....	48	[33] メキシコ.....	162
[12] フィジー.....	50	中東・北アフリカ地域に対する ODA.....	166
[13] マーシャル.....	52	[1] アフガニスタン.....	168
[14] ミクロネシア連邦.....	54	[2] アルジェリア.....	170
南西アジア地域に対する ODA.....	58	[3] イエメン.....	172
[1] インド.....	60	[4] イラク.....	174
[2] スリランカ.....	62	[5] イラン.....	176
[3] ネパール.....	64	[6] エジプト.....	178
[4] パキスタン.....	66	[7] シリア.....	180
[5] バングラデシュ.....	68	[8] チュニジア.....	182
[6] ブータン.....	70	[9] トルコ.....	184
[7] モルディブ.....	72	[10] パレスチナ.....	186
中央アジア・コーカサス地域に対する ODA.....	76	[11] モロッコ.....	178
[1] ウズベキスタン.....	78	[12] ヨルダン.....	190
[2] カザフスタン.....	80	[13] リビア.....	192
[3] キルギス.....	82	[14] レバノン.....	194
[4] タジキスタン.....	84	サブサハラ・アフリカ地域に対する ODA.....	198
[5] トルクメニスタン.....	86	[1] アンゴラ.....	202
[6] アゼルバイジャン.....	88	[2] ウガンダ.....	204
[7] アルメニア.....	90	[3] エスワティニ.....	206
[8] ジョージア.....	92	[4] エチオピア.....	208
中南米地域に対する ODA.....	96	[5] エリトリア.....	210
[1] アルゼンチン.....	98	[6] ガーナ.....	212
[2] アンティグア・バーブーダ.....	100	[7] カーボベルデ.....	214
[3] ウルグアイ.....	102	[8] ガボン.....	216
[4] エクアドル.....	104	[9] カメルーン.....	218
[5] エルサルバドル.....	106	[10] ガンビア.....	220
[6] ガイアナ.....	108	[11] ギニア.....	222
[7] キューバ.....	110	[12] ギニアビサウ.....	224
[8] グアテマラ.....	112	[13] ケニア.....	226
[9] グレナダ.....	114	[14] コートジボワール.....	228
[10] コスタリカ.....	116	[15] コモロ.....	230
		[16] コンゴ共和国.....	232
		[17] コンゴ民主共和国.....	234

[18]	サントメ・プリンシペ	236
[19]	ザンビア	238
[20]	シエラレオネ	240
[21]	ジブチ	242
[22]	ジンバブエ	244
[23]	スーダン	246
[24]	セーシェル	248
[25]	赤道ギニア	250
[26]	セネガル	252
[27]	ソマリア	254
[28]	タンザニア	256
[29]	チャド	258
[30]	中央アフリカ	260
[31]	トーゴ	262
[32]	ナイジェリア	264
[33]	ナミビア	266
[34]	ニジェール	268
[35]	ブルキナファソ	270
[36]	ブルンジ	272
[37]	ベナン	274
[38]	ボツワナ	276
[39]	マダガスカル	278

[40]	マラウイ	280
[41]	マリ	282
[42]	南アフリカ	284
[43]	南スーダン	286
[44]	モーリシャス	288
[45]	モーリタニア	290
[46]	モザンビーク	292
[47]	リベリア	294
[48]	ルワンダ	296
[49]	レソト	298

欧州地域に対する ODA		302
[1]	アルバニア	304
[2]	ウクライナ	306
[3]	コンボ	308
[4]	セルビア	310
[5]	ベラルーシ	312
[6]	ボスニア・ヘルツェゴビナ	314
[7]	北マケドニア	316
[8]	モルドバ	318
[9]	モンテネグロ	320

解 説

1 概説

(1)掲載基準

本書に掲載されている実績(案件や数値)は、原則として、2023 年 11 月時点の記述となっている。ただし、一部の重要事項については必要に応じてその後の動きも記述している。

掲載対象としている国・地域は、原則として、2022 年適用の「ODA 対象国・地域に関する DAC リスト(以下「DAC リスト」)」に依拠している。ただし、例外として、同「DAC リスト」から「卒業」した国・地域のうち、現在も案件を実施中である「トリニダード・トバゴ」、「バルバドス」、「アンティグア・バーブーダ」、「セントクリストファー・ネイビス」、「バハマ」、「チリ」、「セーシェル」、「ウルグアイ」及び「クック諸島」については掲載を継続している。

なお、本文中のドル表示は、特別に記載のあるものを除いて全て米ドル換算である。

(2)国及び地域の定義

国別の説明は、基本的に地域毎に 50 音順で掲載している。国名表記は、原則として、「在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律(令和 6 年 4 月 1 日法律第 6 号)」による。

(3) 暦年統計(OECD/DAC 基準)

地域別経済協力実績及び各国の経済協力実績のうち「地域別表-1、表-2、表-3、国別表-2、表-3、表-4(OECD/DAC 基準)」については以下の内容を記載している。

- ア 「暦年」(1 月～12 月)の実績を記載。
- イ 「支出総額ベース」((地域別表-1、表-2、表-3、国別表-3 及び 4)とは、政府貸付等について貸付実行額を計上し、「支出純額ベース」(地域別表-1、国別表-2)とは、同貸付実行額から回収額(返済額)を差し引いた額を計上していることを示している。なお、「支出純額ベース」での政府貸付等の実績は、回収額(返済額)が貸付実行額を上回ることによりマイナスとなることがある。
- ウ 無償資金協力については、国別表 2 から 4 全てにおいて、「交換公文ベース」で計上されており、債務救済及び国際機関等を通じた贈与(国別に分類できるもの)を含む。「交換公文ベース」とは、被援助国との間で交わされた交換公文に記載されている支出総枠として約束した金額(約束した事業が廉価に行われた場合等では、必ずしも全額が供与されない。また、諸般の事情で中止された事業もごく一部存在する。)を示している。したがって、複数年度にわたり行われるプロジェクトの金額は、「交換公文ベース」では交換公文が交わされた年に一括して計上している。
- エ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。
- オ また、我が国の援助は基本的に円建てで行われている一方で、ドル表示の暦年実績については国際比較を目的として OECD/ DAC の定める各年の DAC レート(2019 年1ドル=109.0459 円、2020 年 1 ドル 106.7624 円、2021 年1ドル=109.7653 円、2022 年1ドル=131.4283 円)で換算した値に基づいている。

(4)年度統計

各国の経済協力実績のうち「国別表 1-1、1-2 及び国別表-5」については以下の内容を記載している。

- ア 「年度」(4 月～翌年 3 月)の実績を記載。
- イ 各年度の円借款の記載は、原則として「交換公文ベース」とする。具体的には、当該年度に交換公文を締結した案件の供与限度額の総額を、当該年度の実績として記載している。ただし、円借款の累計(国別表 1-2)は、JICA 年次報告書のデータ(借款契約ベース)を使用している。
- ウ 無償資金協力は、原則として交換公文ベースとする。具体的には、①当該年度に交換公文を締結した単年度案件及び②過去の国庫債務負担行為案件の当該年度の年割額を、当該年度の実績として記載している。なお、無償資金協力のうち、草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本 NGO 連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力については、当該年度に G/C(贈与契約)を締結した案件を、緊急無償資金協力は、当該年度に外務大臣(又は臨時代理)による閣議発言をもって支援の決定をした案件を記載している。
※暦年統計における「交換公文ベース」とは異なる。
- エ 技術協力は JICA が実施している技術協力の経費の支出額を記載している。
- オ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。

(5)基本データの出典元

主要経済指標等〈国別データ〉

人口	GNI 一人 あたり	経済 成長率	対外債務 残高	財政収支 /GDP比	債務 /GNI比
2022年 (百万人)	2022年 (ドル)	2022年 (%)	2022年 (億ドル)	2022年 (%)	2022年 (%)

World Development Indicators (WDI) (世界銀行)
(<http://data.worldbank.org/data-catalog>)
(2023年11月現在)

●DAC分類……………DACリスト(2022年～2023年実績に適用)参照

- ・後発開発途上国(LDC: Least Developed Countries)
国連開発政策委員会(CDP:UN Committee for Development Policy)が設定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された国のこと。なお、LDCとしての認定には、当該国の同意を条件とする。
- ・低所得国(LIC(s): Low Income Countries)
2020年の一人あたりのGNIが1,045ドル以下の国・地域(LDCを除く)。
- ・低中所得国(LMIC(s): Lower Middle Income Countries and Territories)
2020年の一人あたりGNIが1,046ドル以上4,095ドル以下の国・地域(LDCを除く)。
- ・高中所得国(UMIC(s): Upper Middle Income Countries and Territories)
2020年の一人あたりGNIが4,096ドル以上12,695ドル以下の国・地域。

●世界銀行分類……………世界銀行 Operational Policies(2023年7月)
Country Classification(2023年6月)

Operational Policies による融資分類

- ・分類i国: IDA融資適格国(世銀が融資するプロジェクトにおける国際競争入札で現地企業が優先される国)
2022年の一人あたりGNIが1,135ドル以下の国
- ・分類ii国: IDA融資適格国
2022年の一人あたりGNIが1,315ドルより下の国
- ・分類iii国: IBRD融資適格国
2022年の一人あたりGNIが1,315ドル以上の国
- ・分類iv国: IBRD卒業プロセス開始国
2022年の一人あたりGNIが7,805ドル以上の国
※一人あたりの所得ではIDA融資の適格国でありながらも、信用力が高くIBRD貸し付けを受ける資格を持つブレンド国になる例もある。

Country Classification による所得分類

- ・低所得国(low income countries): 2022年の一人あたりGNIが1,145ドル以下の国(分類i国)
- ・低中所得国(lower middle income countries): 2022年の一人あたりGNIが1,136ドル以上4,465ドル以下の国
- ・高中所得国(upper middle income countries): 2022年の一人あたりGNIが4,466ドル以上13,845ドル以下の国
- ・高所得国(high income countries): 2022年の一人あたりGNIが13,845ドル以上の国

※過去データ及び最新データについては、入手可能なデータによるものであり、各年は各国で異なっている。

2 略語表記

本書において使用されている略語は、以下のとおりである。

A—————

- ADB** Asian Development Bank アジア開発銀行
- ADF** Asian Development Fund アジア開発基金
- AfDB** African Development Bank アフリカ開発銀行
- AfDF** African Development Fund アフリカ開発基金
- AFESD** Arab Fund for Economic and Social Development アラブ経済社会開発基金
- AFTA** ASEAN Free Trade Area ASEAN自由貿易地域
- APEC** Asia-Pacific Economic Cooperation アジア太平洋経済協力
- ASEAN** Association of Southeast Asian Nations 東南アジア諸国連合
- AU** African Union アフリカ連合

B—————

- BADEA** Arab Bank for Economic Development in Africa アフリカ経済開発アラブ銀行

C—————

- CARICOM** Caribbean Community カリブ共同体(本文中では「カリコム」と表記)
- CIF** Climate Investment Funds 気候投資基金
- CDB** Caribbean Development Bank カリブ開発銀行
- EC** European Commission 欧州委員会
- CIS** Commonwealth of Independent States 独立国家共同体

E—————

- EBRD** European Bank for Reconstruction and Development 欧州復興開発銀行

EPA Economic Partnership Agreement 経済連携協定
EPSA Enhanced Private Sector Assistance for Africa
アフリカ民間セクター開発のための共同イニシアティブ
E/S Engineering Service 調査・設計等のための役務
EU European Union 欧州連合
F—————
FAO Food and Agriculture Organization of the United Nations 国
連食糧農業機関
FTA Free Trade Agreement 自由貿易協定
G—————
GAVI Gavi, the Vaccine Alliance Gavi アライアンス
GDP Gross Domestic Product 国内総生産
GEF Global Environment Facility 地球環境ファシリティ
GFATM Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria
世界エイズ・結核・マラリア対策基金
GGGI Global Green Growth Institute
グローバル・グリーン・成長機構
GNI Gross National Income 国民総所得
I—————
IAEA International Atomic Energy Agency 国際原子力機関
IBRD International Bank for Reconstruction and Development
国際復興開発銀行(国際開発協会(IDA)と合わせて世界銀行
(World Bank)とも呼称される。)
ICRC International Committee of the Red Cross
赤十字国際委員会
IDA International Development Association
国際開発協会(国際復興開発銀行(IBRD)と共に世界銀行とも呼
称される。)
IDB Inter-American Development Bank 米州開発銀行
IEA International Energy Agency 国際エネルギー機関
IFAD International Fund for Agricultural Development
国際農業開発基金
IFC International Finance Corporation 国際金融公社
ILO International Labour Organization 国際労働機関
IMF International Monetary Fund 国際通貨基金
IMF-CTF IMF Concessional Trust Funds
国際通貨基金(譲許的信託基金)
IOM International Organization for Migration 国際移住機関
Isl.Dev Bank Islamic Development Bank イスラム開発銀行
J—————
JBIC Japan Bank for International Cooperation 国際協力銀行
JETRO Japan External Trade Organization 日本貿易振興機構
JICA Japan International Cooperation Agency 国際協力機構
JOCV Japan Overseas Cooperation Volunteers
青年海外協力隊
JPF Japan Platform ジャパン・プラットフォーム
L—————
LDC Least Developed Countries 後発開発途上国
N—————
NATO North Atlantic Treaty Organization 北大西洋条約機構
NGO Non-Governmental Organization 非政府組織
NIEs Newly Industrializing Economies 新興工業経済地域

Nordic Dev.Fund Nordic Development Fund 北欧開発基金
O—————
OECD/DAC Organisation for Economic Co-operation and
Development/ Development Assistance Committee
経済協力開発機構 開発援助委員会
OFID OPEC Fund for International Development
石油輸出国機構国際開発基金
OSCE Organization for Security and Co-operation in Europe 欧
州安全保障協力機構
P—————
PALM Pacific Islands Leaders Meeting 太平洋・島サミット
PIF Pacific Islands Forum 太平洋諸島フォーラム
PKO Peacekeeping Operations 国連平和維持活動
S—————
SICA Sistema de la Integración Centroamericana
中米統合機構
T—————
TICAD Tokyo International Conference on African Development
アフリカ開発会議
U—————
UN United Nations 国際連合
UNCTAD United Nations Conference on Trade and Development
国連貿易開発会議
UNDP United Nations Development Programme 国連開発計画
UNEP United Nations Environment Programme 国連環境計画
UNESCO United Nations Educational, Scientific and Cultural
Organization 国連教育科学文化機関
UNFPA United Nations Population Fund 国連人口基金
UN-HABITAT United Nations Human Settlements Programme 国
連人間居住計画
UNHCR United Nations High Commissioner for Refugees
国連難民高等弁務官事務所
UNICEF United Nations Children's Fund 国連児童基金
UNIDO United Nations Industrial Development Organization
国連工業開発機関
UNODC United Nations Office on Drugs and Crime
国連薬物犯罪事務所
UNPBF United Nations Peacebuilding Fund 国連平和構築基金
UNRWA United Nations Relief and Works Agency for Palestine
Refugees in the Near East
国連パレスチナ難民救済事業機関
UNTA United Nations Regular Program for Technical Assistance
国連通常技術支援計画
UNU United Nations University 国連大学
UNV United Nations Volunteers 国連ボランティア計画
W—————
WDI World Development Indicators 世界開発指標
WFP World Food Programme 国連世界食糧計画
WHO World Health Organization 世界保健機関
WTO World Trade Organization 世界貿易機関

3 用語解説

本書において使用されている用語の意味は以下のとおりである。

D—————

DAC(Development Assistance Committee) 開発援助委員会

OECD(経済協力開発機構)において、開発援助に関する事柄を取り扱う委員会。OECD加盟38か国のうち31か国及び欧州連合(EU)から成る。

E—————

E/N(Exchange of Notes) 交換公文

国家間の権利義務関係を規定する国際約束の一形態。

EU Institutions 欧州連合諸機関

欧州連合(EU: European Union)の諸機関(欧州委員会(EC: European Commission)、欧州投資銀行(EIB: European Investment Bank)等)の総称。

G—————

G/C(Grant Contract) 贈与契約

草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本NGO連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力に関し、在外公館と被供与団体との間で結ばれる契約。ただし、日本NGO連携無償資金協力の場合は、外務本省と被供与団体の契約の場合もある。

O—————

ODA(Official Development Assistance) 政府開発援助

(1) ODAとは、一人当たりのGNIをもとにDACリストに掲載された開発途上国への贈与及び貸付のうち、次の3つの条件を充たすものを指す。

- ①公的機関によって供与されるものであること。
- ②開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たる目的としていること。
- ③有償資金協力については、その供与条件が緩やかな条件のもの

(2) ODAは、無償資金協力、技術協力、有償資金協力及び国際機関への出資・拠出等から成る。

さ————

支出純額(Net Disbursement)

政府貸付等の実績として、貸付実行額から回収額(被援助国から援助供与国への返済額)を差し引いた額を使用した額。

支出総額(Gross Disbursement)

政府貸付等の実績として、貸付実行額を使用した額。

ODA 対象国・地域に関する DAC リスト(2022 年実績に適用)

後発開発途上国 (LDCs)	低所得国(LICs) 一人当たり GNI \$ 1,045 以下	低中所得国(LMICs) 一人当たり GNI \$ 1,046- \$ 4,095 以下	高中所得国(UMICs) 一人当たり GNI \$ 4,096- \$ 12,695 以下
アフガニスタン アンゴラ バングラデシュ ベナン ブータン ブルキナファソ ブルンジ カンボジア 中央アフリカ チャド コモロ コンゴ民主共和国 ジブチ エリトリア エチオピア ガンビア ギニア ギニアビサウ ハイチ キリバス ラオス レソト リベリア マダガスカル マラウイ マリ モーリタニア モザンビーク ミャンマー ネパール ニジェール ルワンダ サントメ・プリンシペ セネガル シエラレオネ ソロモン ソマリア 南スーダン スーダン タンザニア 東ティモール トーゴ ツバル ウガンダ イエメン ザンビア	北朝鮮 シリア	アルジェリア ベリーズ ボリビア カーボヴェルデ カメルーン コンゴ共和国 コートジボワール エジプト エルサルバドル エスワティニ王国 ガーナ ホンジュラス インド インドネシア イラン ケニア キルギス ミクロネシア連邦 モンゴル モロッコ ニカラグア ナイジェリア パキスタン バプアニューギニア フィリピン サモア スリランカ タジキスタン トケラウ チュニジア ウクライナ ウズベキスタン バヌアツ ベトナム パレスチナ自治区 ジンバブエ	アルバニア アルゼンチン アルメニア アゼルバイジャン ベラルーシ ボスニア・ヘルツェゴビナ ボツワナ ブラジル 中国 コロンビア コスタリカ キューバ ドミニカ国 ドミニカ共和国 エクアドル 赤道ギニア フィジー ガボン ジョージア グレナダ グアテマラ ガイアナ イラク ジャマイカ ヨルダン カザフスタン コソボ レバノン リビア マレーシア モルディブ マーシャル モーリシャス メキシコ モルドバ モンテネグロ モンセラット ナミビア ナウル ニウエ 北マケドニア共和国 パラオ パナマ パラグアイ ペルー セント・ヘレナ セントルシア セントビンセント セルビア 南アフリカ スリナム タイ トンガ トルコ トルクメニスタン ベネズエラ ワリス・フテユナ

出典: OECD ホームページ
(注) GNI 値は 2020 年の数値。

東アジア・東南アジア地域

東アジア・東南アジア地域

表－1 東アジア・東南アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	401.66 (12.3)	395.82 (11.8)	424.61 (12.9)	413.07 (10.8)	528.61 (13.2)	20,410.01
		技術協力	438.69 (19.7)	413.27 (21.6)	418.42 (21.0)	301.83 (18.3)	265.72 (15.9)	26,187.77
		贈与計	840.35 (15.3)	809.09 (15.3)	843.03 (16.0)	714.90 (13.1)	794.33 (14.0)	46,597.78
	政府貸付等 支出総額	3,047.28 (31.8)	2,282.07 (28.5)	2,957.58 (31.5)	4,459.04 (39.1)	3,109.64 (25.6)	138,829.98	
	<政府貸付等 支出純額>	<- 883.42>	<- 2,174.13>	<- 1,395.05>	<686.41>	<- 505.73>	<35,320.26>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		3,887.62 (25.8)	3,091.18 (23.3)	3,800.59 (25.9)	5,173.94 (30.6)	3,903.99 (21.9)	185,427.77	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<- 43.06>	<- 1,365.02>	<- 552.04>	<1,401.31>	<288.60>	<81,918.16>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める東アジア地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 東アジア・東南アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	日本 3,800.59	ドイツ 1,455.28	米国 886.08	フランス 653.20	韓国 543.88	9,005.12	3,800.59
	2020	日本 5,173.94	ドイツ 2,256.32	フランス 1,148.60	米国 1,001.82	韓国 655.47	11,975.10	5,173.94
	2021	日本 3,903.99	ドイツ 1,735.51	米国 1,169.30	フランス 954.71	オーストラリア 844.04	10,363.84	3,903.99
政府貸付等	2019	日本 2,957.58	ドイツ 618.49	フランス 459.35	韓国 284.71	ポーランド 10.63	4,344.64	2,957.58
	2020	日本 4,459.04	ドイツ 1,391.37	フランス 931.72	韓国 383.72	ポルトガル 42.89	7,279.77	4,459.04
	2021	日本 3,109.64	ドイツ 823.98	フランス 732.79	韓国 319.22	カナダ 25.77	5,018.99	3,109.64
無償資金協力	2019	米国 828.01	日本 424.61	オーストラリア 284.48	英国 245.70	ドイツ 171.58	2,689.19	424.61
	2020	米国 969.53	日本 413.07	オーストラリア 323.65	英国 243.12	ドイツ 173.46	2,945.57	413.07
	2021	米国 1,152.62	オーストラリア 608.01	日本 528.61	韓国 218.08	英国 198.70	3,623.25	528.61
技術協力	2019	ドイツ 665.21	日本 418.42	オーストラリア 201.56	フランス 149.91	韓国 112.19	1,971.29	418.42
	2020	ドイツ 691.46	日本 301.83	オーストラリア 173.51	フランス 164.06	韓国 99.20	1,749.78	301.83
	2021	ドイツ 760.07	日本 265.72	オーストラリア 236.03	韓国 107.29	英国 82.65	1,721.58	265.72

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 東アジア・東南アジア地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	IDA 1,047.50	AsDB 631.05	EU Institutions 482.47	GFATM 366.66	GAVI 97.16	377.01	3,001.91
	2020	IDA 1,266.61	AsDB 1,134.35	EU Institutions 791.56	GFATM 441.00	IMF-CTF 119.97	603.69	4,357.22
	2021	IDA 993.21	AsDB 688.36	EU Institutions 592.13	GFATM 487.52	GCF 222.86	612.91	3,596.93
政府貸付等	2019	IDA 1,045.02	AsDB 532.82	EU Institutions 95.69	IFAD 28.70	OPEC Fund 26.41	2.17	1,730.82
	2020	IDA 1,266.30	AsDB 1,038.87	EU Institutions 253.89	IMF-CTF 119.97	OPEC Fund 53.45	59.02	2,791.48
	2021	IDA 993.21	AsDB 614.64	EU Institutions 153.94	IMF-CTF 122.71	GCF 90.00	103.01	2,077.52
無償資金協力	2019	GFATM 366.66	EU Institutions 321.12	AsDB 98.24	GAVI 97.16	WHO 56.65	265.57	1,205.41
	2020	GFATM 441.00	EU Institutions 436.22	GAVI 112.16	AsDB 95.48	GEF 65.34	311.91	1,462.17
	2021	GFATM 487.52	EU Institutions 336.77	GCF 132.86	AsDB 73.73	WHO 57.87	329.33	1,418.00
技術協力	2019	EU Institutions 65.66	-	-	-	-	-	65.66
	2020	EU Institutions 101.43	IAEA 2.13	-	-	-	-	103.58
	2021	EU Institutions 101.41	-	-	-	-	-	101.41

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] インドネシア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.76億人	4,580ドル	5.3%	3959.70億ドル	低中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インドネシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	700.21	29.80	54.39
2019年度	1,551.10	88.26	56.58
2020年度	1,000.00	21.20	24.91
2021年度	—	8.94	53.81
2022年度	2,738.62	2.97	40.83

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インドネシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	55,974.40	2,942.44	3,804.99

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インドネシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1,128.94	11.50	69.30	-1,048.13
2018年	-999.71	2.88	49.00	-947.82
2019年	-968.94	26.75	59.17	-883.02
2020年	-206.84	19.98	37.77	-149.09
2021年	-465.78	117.00	34.68	-314.10
累計	4,562.40	2,396.29	4,112.00	11,070.73

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 520.59	米国 414.16	フランス 347.50	ドイツ 332.81	オーストラリア 207.53	2,041.56	520.59
2018年	ドイツ 1,203.90	日本 637.77	フランス 455.49	オーストラリア 262.72	米国 252.38	3,080.37	637.77
2019年	日本 664.34	オーストラリア 187.52	米国 158.40	ドイツ 129.90	ノルウェー 48.17	1,380.91	664.34
2020年	日本 1,369.77	ドイツ 997.15	フランス 326.40	オーストラリア 183.54	米国 167.61	3,257.88	1,369.77
2021年	日本 1,033.10	ドイツ 448.36	オーストラリア 328.12	フランス 196.78	米国 154.36	2,388.08	1,033.10

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 281.81	CIF 43.27	GAVI 35.29	EU Institutions 26.35	IFAD 11.61	30.52	428.86
2018年	GFATM 49.06	EU Institutions 19.49	GAVI 14.83	CERF 14.43	GEF 10.42	30.75	138.97
2019年	GFATM 74.23	GAVI 18.73	EU Institutions 15.18	GEF 7.34	UNICEF 5.38	25.24	146.11
2020年	GFATM 94.55	EU Institutions 20.95	CIF 19.63	GEF 15.00	AsDB 13.91	20.44	184.50
2021年	GCF 196.74	GFATM 82.26	EU Institutions 15.64	CIF 14.75	GEF 14.03	42.33	365.74

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	2738.62億円	2.96億円	
	・パティンバン港開発計画(第二期) (701.95)	・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (0.67)	・犯罪抑止対策推進プロジェクト [22.10~27.09]
	・競争力、産業近代化及び貿易促進計画 (300.00)	・日本NGO連携無償 (4件) (2.25)	・パティンバン港運営管理能力強化プロジェクト [23.03~26.03]
	・プサンガン水力発電所建設計画(第二期) (136.29)	・草の根文化無償 (1件) (0.04)	・ジャカルタ首都圏都市交通政策統合プロジェクトフェーズ3 [22.04~25.06]
	・災害に対する強靱化促進・管理プログラム・ローン(第三期) (300.00)		・防災事前投資に向けた洪水対策マスタープラン策定能力強化プロジェクト [22.04~26.03]
	・ジャカルタ都市高速鉄道計画(フェーズ2)(第二期) (879.18)		
	・パティンバン有料アクセス道路建設計画 (421.20)		

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協カプロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] カンボジア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,677万人	1,690ドル	5.2%	224.71億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カンボジア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	128.15	75.97	35.00
2019年度	294.17	96.69	34.63
2020年度	250.00	75.70	18.33
2021年度	263.36	99.45	37.11
2022年度	413.88	82.87	38.51

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カンボジア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,750.34	2,445.61	1,026.17

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カンボジア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	58.55	83.15	41.58	183.28
2018年	63.04	65.15	31.17	159.36
2019年	63.11	60.30	31.49	154.89
2020年	139.94	97.98	22.21	260.13
2021年	363.98	71.68	23.34	459.00
累計	929.30	1,935.95	1,011.41	3,876.69

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 188.92	フランス 97.94	米国 91.43	韓国 71.13	オーストラリア 58.37	632.73	188.92
2018年	日本 169.07	米国 102.87	フランス 79.44	韓国 65.23	ドイツ 53.66	594.01	169.07
2019年	フランス 192.39	日本 176.43	米国 90.20	韓国 78.26	オーストラリア 43.87	688.66	176.43
2020年	日本 271.23	米国 114.35	韓国 101.43	フランス 100.35	オーストラリア 39.05	740.92	271.23
2021年	日本 470.44	フランス 130.37	韓国 121.77	米国 109.99	オーストラリア 78.28	1,041.33	470.44

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 138.74	EU Institutions 51.43	GFATM 32.58	OPEC Fund 17.46	IDA 15.77	53.19	309.19
2018年	AsDB 103.39	EU Institutions 89.78	IDA 23.60	GFATM 17.88	CIF 15.48	42.22	292.35
2019年	AsDB 163.36	EU Institutions 65.81	IDA 61.73	GFATM 24.97	GAVI 19.69	48.21	383.77
2020年	AsDB 429.27	EU Institutions 139.62	IDA 92.08	IFAD 21.67	CIF 18.87	39.70	741.23
2021年	AsDB 186.99	EU Institutions 105.62	IDA 84.50	GFATM 27.98	IFAD 13.63	35.34	454.07

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	413.88億円 (413.88)	82.87億円	
	・シハヌークビル港新コンテナターミナル拡張計画(第一期)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (4件) (1.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (15件) (2.10) ・経済社会開発計画 (1件) (11.50) ・人材育成奨学計画 (5件) (3.46) ・スバイリエンにおける上水道拡張計画 (2件) (14.55) ・感染性廃棄物管理改善計画 (4.36) ・カンボジア地雷対策センター研修複合施設及び広報施設建設計画 (2.12) ・プンプレック上水道拡張計画 (1.71) ・プノンペンにおける下水道整備計画 (7.35) ・プルサット上水道拡張計画 (9.21) ・タクマウ上水道拡張計画 (15.26) ・シムリアップ州病院改善計画 (9.75) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人身取引被害当事者への支援能力向上プロジェクト [23.03～26.09] ・金融政策のための経済分析・調査・運営能力強化プロジェクト [23.03～26.02] ・法・司法分野人材育成プロジェクト [22.11～27.10] ・カンボジア日本人材開発センター起業家育成・ビジネス交流拠点機能拡充プロジェクトフェーズ2 [22.04～25.03] ・シハヌークビル港コンテナターミナル経営・技術向上プロジェクトフェーズ3 [22.05～25.03] ・シムリアップにおける都市課題解決のためのスマートシティアプローチ実装プロジェクト [22.05～25.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] タイ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
7,170万人	7,230ドル	2.6%	1,920.78億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.57	26.78
2019年度	94.34	0.14	28.27
2020年度	-	1.74	16.74
2021年度	-	2.11	25.03
2022年度	500.00	6.76	27.93

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	24,289.02	1,735.77	2,443.66

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	53.40	9.89	28.38	91.67
2018年	-570.65	3.43	26.70	-540.52
2019年	-534.51	1.78	27.73	-505.01
2020年	-13.21	4.79	24.26	15.84
2021年	-99.42	17.17	18.52	-63.73
累計	685.54	1,098.30	3,004.32	4,788.16

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 388.61	米国 52.26	ドイツ 17.26	フランス 13.15	英国 9.29	497.88	388.61
2018年	日本 270.82	米国 42.21	フランス 20.61	ドイツ 18.59	英国 11.89	377.40	270.82
2019年	日本 259.38	米国 45.62	ドイツ 35.97	英国 17.80	フランス 8.58	385.67	259.38
2020年	日本 220.55	米国 44.62	ドイツ 35.38	英国 14.82	フランス 9.08	344.09	220.55
2021年	日本 215.38	米国 67.70	ドイツ 21.11	フランス 16.41	英国 13.30	370.20	215.38

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 23.08	EU Institutions 13.84	UNHCR 9.28	GEF 3.45	WHO 1.65	4.49	55.77
2018年	GFATM 11.45	EU Institutions 10.30	UNHCR 4.41	GEF 3.50	WHO 3.31	4.81	37.77
2019年	GFATM 12.28	EU Institutions 9.44	WHO 2.41	UNHCR 1.80	ILO 1.42	4.78	32.12
2020年	GFATM 25.89	EU Institutions 12.47	GEF 6.35	UNHCR 5.55	WHO 3.19	4.72	58.17
2021年	GFATM 21.80	EU Institutions 8.27	UNHCR 6.01	WHO 2.69	GEF 2.40	7.05	48.22

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	500.00億円 (500.00)	6.77億円 (1件) (0.10) (2件) (0.71) (10件) (0.96) (5.00)	・固定資産評価能力向上プロジェクト [22.11～25.11] ・持続的なPM2.5予防・軽減のための大気管理プロジェクト [22.07～25.07]
	・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款	・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 ・日本NGO連携無償 ・草の根・人間の安全保障無償 ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] 東ティモール

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
134万人	1,980ドル	-20.5%	2.90億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対東ティモール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	16.40	10.62
2019年度	-	3.17	8.56
2020年度	-	8.18	5.24
2021年度	-	30.67	13.59
2022年度	-	28.57	10.78

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対東ティモール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	52.78	411.54	180.79

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対東ティモール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	2.43	13.74	7.96	24.13
2018年	3.11	20.29	8.16	31.56
2019年	11.49	29.83	7.79	49.10
2020年	4.50	8.47	6.20	19.17
2021年	3.94	10.80	6.96	21.70
累計	33.46	297.97	154.53	485.95

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 69.06	日本 24.13	米国 22.86	ポルトガル 15.44	韓国 11.77	163.54	24.13
2018年	オーストラリア 59.20	日本 31.56	米国 22.65	ポルトガル 15.95	ニュージーランド 13.10	157.86	31.56
2019年	オーストラリア 52.64	日本 49.10	米国 28.08	ポルトガル 14.75	ニュージーランド 13.45	181.27	49.10
2020年	オーストラリア 83.46	米国 37.73	日本 19.17	ポルトガル 14.59	ニュージーランド 13.80	191.15	19.17
2021年	オーストラリア 104.14	米国 29.84	日本 21.70	ポルトガル 17.17	韓国 14.61	209.17	21.70

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 27.86	AsDB 12.80	IDA 10.37	GFATM 5.53	GEF 4.33	7.43	68.31
2018年	AsDB 15.33	EU Institutions 14.86	GFATM 5.80	GEF 4.75	IDA 2.86	6.02	49.64
2019年	AsDB 16.41	EU Institutions 14.04	GFATM 4.73	IDA 4.17	GEF 2.17	8.29	49.82
2020年	EU Institutions 26.60	AsDB 14.65	GFATM 5.09	GCF 2.66	IDA 2.36	9.08	60.44
2021年	EU Institutions 16.08	AsDB 9.67	GFATM 7.91	IDA 4.07	WHO 3.11	9.44	50.28

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	28.57億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.36) ・日本NGO連携無償 (5件) (1.92) ・人材育成奨学計画 (4件) (1.55) ・洪水被害インフラ緊急復旧計画 (10.00) ・地域社会インフラ整備計画 (UNDP連携) (6.73) ・災害リスク軽減及び復旧のための機材整備計画 (8.01)	・重点流域における森林減少抑制及び気候変動強靱化のためのランドスケープ管理能力向上プロジェクト [22.04～27.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] フィリピン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.16億人	3,950ドル	7.6%	1,112.17億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィリピン援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	2,696.72	58.06	93.51
2019年度	44.09	9.78	86.71
2020年度	2,540.55	36.93	54.54
2021年度	2,533.07	44.92	59.84
2022年度	4,070.17	26.25	70.62

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィリピン援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	40,328.73	3,139.32	2,788.38

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィリピン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-256.89	63.17	52.01	-141.71
2018年	-134.19	106.84	95.84	68.49
2019年	378.37	26.27	93.83	498.47
2020年	530.54	46.23	72.63	649.41
2021年	645.50	32.22	55.19	732.91
累計	5,531.18	2981.56	2,796.81	11,309.55

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 352.30	米国 157.83	オーストラリア 53.93	ドイツ 41.71	韓国 40.92	708.31	352.30
2018年	日本 562.50	フランス 123.59	米国 122.19	韓国 64.92	オーストラリア 53.62	1,026.03	562.50
2019年	日本 1,000.40	米国 145.99	韓国 76.34	オーストラリア 50.99	ドイツ 38.96	1,373.93	1,000.40
2020年	日本 1,151.14	フランス 291.94	韓国 157.07	米国 153.38	オーストラリア 47.40	1,925.12	1,151.14
2021年	日本 1,175.06	フランス 342.57	韓国 182.92	米国 172.44	オーストラリア 65.23	2,040.49	1,175.06

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 53.10	EU Institutions 28.28	GEF 7.33	UNICEF 2.98	CERF 2.48	18.38	112.57
2018年	GFATM 40.41	EU Institutions 37.62	GEF 6.54	UNICEF 5.61	AsDB 5.17	26.17	121.52
2019年	GFATM 54.47	EU Institutions 36.48	AsDB 4.78	UNICEF 4.68	IFAD 4.44	22.98	127.83
2020年	GFATM 52.17	EU Institutions 26.63	AsDB 8.58	UNFPA 4.93	GEF 4.59	18.53	115.44
2021年	GFATM 64.90	EU Institutions 47.46	UNFPA 4.48	UNICEF 3.91	IFAD 3.64	17.87	142.23

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	4,070.17億円	26.25億円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(フェーズ2) (300.00) ・南北通勤鉄道計画(マロロスーツツバン)(第二期) (1,070.17) ・南北通勤鉄道延伸計画(第二期) (2,700.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.10) ・日本NGO連携無償 (3件) (1.36) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.55) ・草の根文化無償 (1件) (0.09) ・経済社会開発計画 (2件) (7.10) ・人材育成奨学計画 (5件) (3.25) ・バンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治地域における私有の小型武器及び軽兵器の管理・削減支援計画(UNDP連携) (5.79) ・台風により被害を受けた農家及び漁民の生計回復・強靱性強化計画(FAO連携) (2.51) ・バンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治地域における小規模農家及び漁民のための農業及び漁業バリューチェーン向上計画(WFP連携) (5.01) ・メトロセブ水道区汚泥管理計画 (0.49) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症検査ネットワーク強化プロジェクト [22.07~26.07] ・山岳地域における道路防災プロジェクト [22.06~27.01] ・公共交通指向型開発(TOD)能力開発プロジェクト [22.07~25.07] ・海岸災害対策及び海岸保全能力向上プロジェクト [22.04~27.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ベトナム

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9,819万人	4,010ドル	8.0%	1,465.89億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベトナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	13.63	64.81
2019年度	118.91	30.40	50.15
2020年度	-	49.60	42.90
2021年度	108.13	37.39	48.95
2022年度	188.71	16.61	46.75

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベトナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	28,030.54	1,684.50	1,830.61

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベトナム援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	832.20	19.59	76.17	927.96
2018年	136.77	13.47	53.51	203.75
2019年	75.43	16.44	56.76	148.63
2020年	1.09	30.44	43.66	75.18
2021年	-297.14	88.26	45.69	-163.19
累計	14,954.84	1,347.93	2,175.27	18,478.05

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 1,389.60	韓国 187.73	ドイツ 179.57	フランス 135.71	米国 124.66	2,185.83	1,389.60
2018年	日本 673.85	ドイツ 220.27	韓国 157.99	米国 119.31	フランス 119.22	1,476.90	673.85
2019年	日本 650.57	フランス 225.69	ドイツ 192.54	韓国 108.53	米国 101.00	1,434.58	650.57
2020年	日本 620.42	ドイツ 210.93	フランス 146.07	米国 137.48	韓国 137.25	1,388.66	620.42
2021年	日本 439.59	フランス 234.64	ドイツ 223.03	米国 147.76	韓国 107.02	1,356.62	439.59

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 744.34	AsDB 229.87	EU Institutions 77.07	GFATM 52.08	IFAD 18.49	53.87	1,175.72
2018年	IDA 733.76	AsDB 362.73	EU Institutions 83.59	GFATM 20.03	IFAD 15.29	39.25	1,254.65
2019年	IDA 622.93	AsDB 180.12	EU Institutions 38.14	GFATM 32.18	OPEC Fund 9.34	29.73	912.45
2020年	IDA 675.04	AsDB 261.01	EU Institutions 90.33	GFATM 47.59	OPEC Fund 17.06	62.56	1,153.58
2021年	IDA 697.44	AsDB 179.85	GFATM 47.87	EU Institutions 21.77	GCF 18.15	56.87	1,021.94

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	188.71億円 (188.71)	16.61億円	
	・衛星情報の活用による災害・気候変動対策計画(第二期)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (5件) (1.83) ・草の根・人間の安全保障無償 (14件) (1.94) ・草の根文化無償 (2件) (0.16) ・経済社会開発計画 (1件) (5.50) ・人材育成奨学計画 (5件) (7.18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動下のメコンデルタ地域における持続可能な発展に向けた産官学連携強化プロジェクト [22.04～27.03] ・北部地域における安全作物バリューチェーン強化プロジェクト [22.05～26.05] ・ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)・ビジネス人材育成、拠点機能強化プロジェクトフェーズ2 [23.01～25.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] マレーシア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,394万人	11,830ドル	8.7%	—	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マレーシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.04	9.43
2019年度	-	0.10	8.41
2020年度	-	5.47	5.70
2021年度	-	0.63	9.14
2022年度	-	0.43	9.47

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マレーシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	9,238.10	153.51	1,219.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マレーシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-109.31	6.36	13.32	-89.63
2018年	-108.43	0.03	10.14	-98.25
2019年	-81.74	0.04	9.45	-72.24
2020年	-90.82	2.29	7.55	-80.98
2021年	-89.67	11.84	8.47	-69.36
累計	293.56	126.91	1,586.73	2,007.21

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 34.39	英国 16.93	ドイツ 12.99	フランス 5.73	米国 3.81	77.09	34.39
2018年	日本 19.09	ドイツ 15.19	英国 12.69	フランス 10.02	米国 5.35	65.32	19.09
2019年	日本 41.68	英国 14.93	ドイツ 14.69	米国 10.35	フランス 4.37	93.22	41.68
2020年	ドイツ 14.62	英国 13.30	日本 9.84	米国 9.54	フランス 5.01	59.46	9.84
2021年	日本 20.31	米国 16.69	英国 15.15	ドイツ 13.31	フランス 5.12	78.09	20.31

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GEF 6.22	UNHCR 5.59	EU Institutions 1.38	UNICEF 1.06	WHO 0.74	1.92	16.90
2018年	UNHCR 5.64	GEF 2.99	EU Institutions 2.20	GFATM 1.04	UNICEF 0.95	2.60	15.42
2019年	UNHCR 3.09	EU Institutions 2.75	GEF 1.65	ILO 1.31	WHO 0.86	3.32	12.97
2020年	UNHCR 7.44	GEF 3.74	GFATM 1.94	EU Institutions 0.90	UNICEF 0.88	2.24	17.16
2021年	UNHCR 6.65	GEF 2.71	EU Institutions 2.09	SPRP 1.74	WHO 0.93	3.87	17.99

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.43億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.31) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.12)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ミャンマー

経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,418万人	1,270ドル	4.0%	125.30億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミャンマー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	190.68	104.09
2019年度	1,688.58	150.14	66.55
2020年度	727.79	185.38	48.79
2021年度	-	40.27	34.21
2022年度	-	48.35	12.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミャンマー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	13,784.72	3,653.80	1,146.56

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミャンマー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	151.96	135.96	91.15	379.07
2018年	312.06	136.56	88.28	536.90
2019年	496.57	179.85	80.51	756.93
2020年	943.13	103.29	47.10	1,093.52
2021年	253.56	113.84	37.03	404.43
累計	3,015.35	6,052.89	1,113.78	10,181.99

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 379.07	英国 155.71	米国 139.56	韓国 77.61	オーストラリア 68.24	1,075.91	379.07
2018年	日本 536.90	米国 143.96	英国 133.76	ドイツ 59.74	ポーランド 58.93	1,257.54	536.90
2019年	日本 756.93	米国 148.77	英国 144.25	韓国 90.64	ドイツ 74.20	1,515.77	756.93
2020年	日本 1,093.52	米国 177.07	英国 132.67	韓国 109.25	ドイツ 74.93	1,923.34	1,093.52
2021年	日本 404.63	米国 164.55	英国 91.62	オーストラリア 68.27	ドイツ 57.22	1,052.60	404.63

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 220.55	GFATM 105.50	EU Institutions 77.69	AsDB 29.63	GAVI 22.91	44.81	501.09
2018年	IDA 208.87	EU Institutions 81.28	GFATM 45.80	AsDB 43.49	GAVI 39.05	54.89	473.38
2019年	IDA 232.74	EU Institutions 120.24	GFATM 69.49	GAVI 35.30	AsDB 30.13	60.73	548.66
2020年	IDA 296.91	AsDB 185.16	EU Institutions 178.53	IMF-CTF 119.97	GFATM 79.82	129.59	989.98
2021年	AsDB 130.46	IMF-CTF 122.71	GFATM 87.32	EU Institutions 86.83	IDA 55.66	74.90	557.88

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	48.34億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (10件) (2.75) ・日本NGO連携無償 (5件) (5.35) ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09) ・人材育成奨学計画 (3件) (3.41) ・紛争の影響を受けた地域における国内避難民及び社会的弱者のための基礎社会サービスへのアクセス改善計画(UNICEF連携) (12.50) ・紛争の影響を受けた国内避難民のための保護及び人道支援計画(UNHCR連携) (13.00) ・日本ミャンマー・アウンサン職業訓練学校整備計画 (1.20) ・グローバルな食料安全保障への対応のための緊急無償資金協力(WFP連携) (1.08) ・ミャンマーでのクーデターの影響を受けた人々に対する人道支援のための緊急無償資金協力(UNICEF連携) (4.64) ・同上案件(WFP連携) (2.16) ・同上案件(UNHCR連携) (2.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] モンゴル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
340万人	4,260ドル	5.0%	337.65億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンゴル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	12.50	22.59
2019年度	-	15.71	22.27
2020年度	250.00	32.44	12.93
2021年度	-	15.40	23.38
2022年度	-	26.28	22.50

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンゴル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,829.44	1,280.62	579.79

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンゴル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	442.73	31.25	27.10	501.08
2018年	18.63	25.46	18.15	62.24
2019年	27.32	37.11	21.37	85.80
2020年	226.10	21.28	15.74	263.12
2021年	-22.04	28.35	12.73	19.05
累計	1,377.13	1,064.28	652.73	3,094.14

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 516.73	韓国 25.60	ドイツ 23.05	スイス 18.85	米国 13.50	624.82	516.73
2018年	日本 88.18	韓国 80.10	ドイツ 33.38	スイス 16.45	米国 13.61	263.47	88.18
2019年	日本 114.88	韓国 57.23	ドイツ 30.13	米国 15.87	スイス 14.97	272.75	114.88
2020年	日本 298.56	フランス 45.76	韓国 32.66	米国 31.49	ドイツ 24.87	486.68	298.56
2021年	日本 54.40	米国 39.62	韓国 33.19	ドイツ 26.74	スイス 15.17	198.20	54.40

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 139.80	AsDB 38.03	EU Institutions 13.84	GFATM 4.50	GEF 1.81	10.97	208.97
2018年	AsDB 65.17	EU Institutions 30.20	IDA 15.73	GFATM 4.29	IFAD 1.78	9.83	127.01
2019年	AsDB 54.57	IDA 25.66	EU Institutions 19.55	GFATM 3.01	WHO 1.99	10.21	114.99
2020年	IDA 145.76	AsDB 99.15	EU Institutions 43.87	GFATM 4.14	IFAD 2.75	14.38	310.04
2021年	IDA 80.04	AsDB 74.58	EU Institutions 22.80	GFATM 10.24	WHO 3.36	12.12	203.12

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	26.28億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (2件) (1.04) ・草の根・人間の安全保障無償 (12件) (2.59) ・人材育成奨学計画 (5件) (2.65) ・電力供給改善計画 (20.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバーセキュリティ人材育成プロジェクト [23.01～27.01] ・再生可能エネルギー導入拡大に向けた電力系統安定化プロジェクト [22.06～25.06] ・ウランバートル工場排水管理能力強化プロジェクト [22.07～25.07]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] ラオス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
753万人	2,310ドル	2.7%	187.01億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ラオス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	44.68	23.30
2019年度	-	25.93	28.57
2020年度	-	44.51	13.69
2021年度	-	40.79	29.74
2022年度	-	40.66	23.11

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ラオス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	484.36	1,776.51	871.83

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ラオス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	25.19	25.53	21.70	72.42
2018年	41.77	20.44	22.17	84.38
2019年	4.83	44.48	21.80	71.11
2020年	10.87	52.10	20.56	83.53
2021年	3.14	28.79	16.92	48.85
累計	217.68	1,453.54	849.49	2,520.82

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 77.39	韓国 56.20	米国 44.65	ドイツ 25.30	スイス 24.82	301.08	77.39
2018年	日本 89.57	韓国 72.53	米国 55.48	ドイツ 33.35	ルクセンブルク 28.99	385.84	89.57
2019年	日本 76.60	韓国 65.09	米国 54.32	ドイツ 34.23	オーストラリア 24.72	340.27	76.60
2020年	日本 89.37	米国 63.37	韓国 41.55	ドイツ 28.24	ルクセンブルク 22.26	321.21	89.37
2021年	米国 69.42	韓国 64.65	日本 54.53	オーストラリア 41.05	ドイツ 33.60	340.84	54.53

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 100.14	AsDB 58.92	EU Institutions 29.81	GFATM 7.04	CIF 4.29	21.48	221.66
2018年	AsDB 114.89	IDA 52.82	EU Institutions 32.55	GAVI 5.11	GFATM 5.05	33.05	243.46
2019年	AsDB 154.23	IDA 100.27	EU Institutions 48.37	GAVI 6.57	IFAD 4.37	29.45	343.25
2020年	AsDB 98.65	IDA 54.46	EU Institutions 33.62	CIF 22.25	Nordic Dev.Fund 8.38	37.07	254.42
2021年	EU Institutions 94.65	AsDB 80.05	IDA 71.50	GFATM 7.06	GAVI 5.07	28.69	287.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	40.66億円	
		・日本NGO連携無償 (7件) (2.40)	・ラオス日本センタービジネス人材育成・ネットワーキング強化プロジェクトフェーズ2 [22.09～26.08]
		・草の根・人間の安全保障無償 (12件) (1.15)	・ルアンパバーンにおける持続可能な都市開発・交通管理プロジェクト [23.02～26.02]
		・経済社会開発計画 (3件) (18.40)	
		・人材育成奨学計画 (5件) (3.16)	
		・ラオス国立大学工学部施設及び実験機材整備計画 (2件) (5.37)	
		・ルアンパバーン市上水道拡張計画 (1.78)	
		・教員養成校改善計画 (8.40)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

大洋州地域

大洋州地域

表-1 大洋州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	79.57 (2.4)	140.38 (4.2)	139.60 (4.2)	133.73 (3.5)	138.09 (3.4)	2,734.88
		技術協力	52.42 (2.4)	46.07 (2.4)	39.98 (2.0)	32.72 (2.0)	21.47 (1.3)	1,653.11
		贈与計	131.99 (2.4)	186.45 (3.5)	179.58 (3.4)	166.45 (3.0)	159.56 (2.8)	4,387.99
	政府貸付等 支出総額	189.24 (2.0)	32.75 (0.4)	41.46 (0.4)	162.14 (1.4)	458.92 (3.8)	1,635.40	
	<政府貸付等 支出純額>	<98.61>	<13.41>	<26.57>	<151.43>	<458.36>	<937.23>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		321.24 (2.1)	219.20 (1.7)	221.04 (1.5)	328.59 (1.9)	618.48 (3.5)	6,023.40	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<230.61>	<199.87>	<206.15>	<317.87>	<617.92>	<5,325.24>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める大洋州地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 大洋州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	オーストラリア 819.50	ニュージーランド 313.90	日本 221.04	米国 140.08	フランス 131.26	1,700.59	221.04
	2020	オーストラリア 786.46	日本 328.59	ニュージーランド 293.91	米国 258.32	フランス 128.58	1,892.43	328.59
	2021	オーストラリア 1,320.17	日本 618.48	ニュージーランド 436.43	米国 287.40	フランス 130.89	2,914.59	618.48
政府貸付等	2019	日本 41.46	カナダ 0.78	-	-	-	42.24	41.46
	2020	日本 162.14	カナダ 1.15	-	-	-	163.29	162.14
	2021	日本 458.92	フランス 1.42	-	-	-	460.34	458.92
無償資金協力	2019	オーストラリア 397.90	ニュージーランド 248.10	日本 139.60	米国 133.20	フランス 99.54	1,074.32	139.60
	2020	オーストラリア 419.41	米国 254.51	ニュージーランド 234.09	日本 133.73	フランス 90.27	1,204.31	133.73
	2021	オーストラリア 971.06	ニュージーランド 378.27	米国 284.51	日本 138.09	カナダ 61.46	1,925.94	138.09
技術協力	2019	オーストラリア 421.60	ニュージーランド 65.80	日本 39.98	フランス 31.72	米国 6.88	584.04	39.98
	2020	オーストラリア 367.05	ニュージーランド 59.82	フランス 38.31	日本 32.72	英国 8.74	524.83	32.72
	2021	オーストラリア 349.11	フランス 79.45	ニュージーランド 58.16	日本 21.47	ドイツ 7.19	528.31	21.47

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 大洋州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	IDA 166.33	EU Institutions 142.69	AsDB 111.30	GCF 86.04	GFATM 25.41	103.96	635.76
	2020	IMF-CTF 399.01	AsDB 303.13	IDA 236.70	EU Institutions 138.27	CIF 64.41	160.12	1,301.69
	2021	IDA 371.96	EU Institutions 160.99	AsDB 116.37	GCF 49.15	GFATM 45.85	100.62	844.90
政府貸付等	2019	IDA 78.29	AsDB 53.23	IFAD 8.85	OPEC Fund 2.32	-	-	142.71
	2020	IMF-CTF 398.82	AsDB 128.28	IDA 83.77	EU Institutions 13.56	IFAD 7.02	0.14	631.59
	2021	IDA 279.61	AsDB 55.08	EU Institutions 27.02	IMF-CTF 9.83	IFAD 3.61	-	375.13
無償資金協力	2019	EU Institutions 127.84	IDA 88.04	GCF 86.04	AsDB 58.07	GFATM 25.41	92.80	478.21
	2020	AsDB 174.87	IDA 152.93	EU Institutions 107.40	CIF 64.41	GCF 44.58	108.35	652.60
	2021	EU Institutions 112.45	IDA 92.36	AsDB 61.28	GCF 49.15	GFATM 45.85	87.19	448.24
技術協力	2019	EU Institutions 14.85	-	-	-	-	-	14.85
	2020	EU Institutions 17.31	IAEA 0.21	-	-	-	-	17.52
	2021	EU Institutions 21.52	-	-	-	-	-	21.52

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] キリバス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
13.1万人	2,810ドル	1.6%	-	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キリバス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	24.56	1.31
2019年度	-	8.31	1.27
2020年度	-	4.19	0.86
2021年度	-	3.00	0.36
2022年度	-	6.60	0.40

注) 1.年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キリバス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	271.32	50.82

注) 1.累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キリバス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年度	-	5.73	1.14	6.87
2018年度	-	20.46	1.20	21.66
2019年度	-	10.80	0.76	11.56
2020年度	-	12.10	0.40	12.50
2021年度	-	1.11	0.26	1.37
累計	-	224.31	64.82	289.13

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 20.67	ニュージーランド 12.60	日本 6.87	韓国 0.53	ドイツ 0.06	40.81	6.87
2018年	日本 21.66	オーストラリア 20.79	ニュージーランド 13.66	韓国 0.80	ドイツ 0.29	57.45	21.66
2019年	オーストラリア 20.50	日本 11.56	ニュージーランド 10.61	韓国 0.93	イタリア 0.69	44.43	11.56
2020年	オーストラリア 18.86	ニュージーランド 14.90	日本 12.50	韓国 0.93	米国 0.22	47.62	12.50
2021年	オーストラリア 30.20	ニュージーランド 23.73	韓国 3.67	日本 1.37	米国 0.22	59.33	1.37

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 19.09	IDA 13.45	EU Institutions 2.49	IFAD 0.64	WHO 0.38	0.40	36.44
2018年	IDA 10.98	AsDB 5.25	EU Institutions 3.96	IFAD 0.93	GEF 0.82	0.95	22.87
2019年	IDA 7.28	AsDB 2.77	EU Institutions 2.39	WHO 0.33	IFAD 0.15	0.17	13.08
2020年	EU Institutions 6.77	AsDB 1.57	IDA 1.00	IFAD 0.84	UNPBF 0.73	0.78	11.69
2021年	GCF 8.97	IDA 1.39	AsDB 1.20	EU Institutions 0.92	IFAD 0.91	1.60	14.97

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	6.60億円 ・経済社会開発計画 (2件) (6.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] クック

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.9万人	-	-	-	-	-

出典)アジア開発銀行等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対クック援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.54	0.08
2019年度	-	0.36	0.05
2020年度	-	1.19	0.01
2021年度	-	1.69	-
2022年度	-	0.24	0.02

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対クック援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	9.40	8.80

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対クック援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.42	0.09	0.51
2018年	-	2.07	0.04	2.11
2019年	-	0.39	0.07	0.46
2020年	-	0.49	0.02	0.51
2021年	-	1.08	0.00	1.08
累計	-	5.29	9.16	14.45

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ニュージーランド 11.41	オーストラリア 2.36	日本 0.51	ドイツ 0.06	韓国 0.01	14.35	0.51
2018年	ニュージーランド 26.67	オーストラリア 2.11	-	韓国 0.16	ドイツ 0.01	31.06	2.11
	-	日本 2.11	-	-	-	-	-
2019年	ニュージーランド 24.89	オーストラリア 3.18	日本 0.46	韓国 0.02	ドイツ 0.00	28.55	0.46
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注)1. 卒業国向け援助を除く。

2. 2020年にDACリストから卒業したため、同年からOECD/DACは援助額の集計を行っていない。

表-4 国際機関の対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GEF 4.31	EU Institutions 2.05	GCF 0.29	WHO 0.17	UNDP 0.07	-	6.89
2018年	Adaptation Fund 1.34	GEF 1.33	EU Institutions 1.12	WHO 0.16	ILO 0.05	0.05	4.10
	-	-	-	-	UNDP 0.05	-	-
2019年	GEF 0.80	GCF 0.74	ILO 0.25	-	UNDP 0.02	-	2.06
	-	-	WHO 0.25	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注)1. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

2. 2020年にDACリストから卒業したため、同年からOECD/DACは援助額の集計を行っていない。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.24億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.24)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] サモア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
22.2万人	3,660ドル	-5.3%	4.59億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サモア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	11.05	3.66
2019年度	-	34.48	3.68
2020年度	-	5.48	1.68
2021年度	-	2.80	2.26
2022年度	-	3.48	3.22

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サモア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.98	388.28	162.10

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サモア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	6.27	17.01	5.31	28.59
2018年	-1.80	24.72	3.32	26.24
2019年	-1.83	34.11	3.15	35.44
2020年	-0.93	7.55	1.97	8.59
2021年	-	6.89	1.66	8.55
累計	39.45	324.01	141.82	505.28

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 31.18	日本 29.48	ニュージーランド 15.50	米国 1.24	英国 0.23	77.77	29.48
2018年	日本 28.04	オーストラリア 25.28	ニュージーランド 20.24	米国 1.83	韓国 0.69	76.16	28.04
2019年	日本 37.26	オーストラリア 23.71	ニュージーランド 14.79	英国 2.39	米国 1.23	80.63	37.26
2020年	オーストラリア 24.95	ニュージーランド 20.06	日本 9.52	米国 0.92	韓国 0.74	57.00	9.52
2021年	オーストラリア 35.21	ニュージーランド 25.62	日本 8.55	韓国 1.48	英国 0.91	72.95	8.55

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 27.03	AsDB 18.83	EU Institutions 8.12	GEF 6.33	GCF 4.77	3.86	68.94
2018年	IDA 19.24	EU Institutions 16.40	AsDB 11.52	GCF 7.38	GEF 5.66	5.84	66.06
2019年	IDA 32.36	EU Institutions 6.55	GEF 4.28	AsDB 4.26	CERF 2.71	3.75	53.91
2020年	IDA 32.42	AsDB 27.06	CIF 26.68	IMF-CTF 22.56	GCF 11.82	4.28	124.83
2021年	AsDB 10.84	IDA 5.50	CIF 2.78	Joint SDG Fund 1.18	WHO 1.07	3.23	24.61

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	3.48億円 ・経済社会開発計画 (1件) (1.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (1.98)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] ソロモン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
72.4万人	2,210ドル	-4.1%	5.03億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソロモン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	8.25	6.85
2019年度	-	8.70	6.46
2020年度	25.00	27.91	3.80
2021年度	-	22.17	3.32
2022年度	-	29.44	3.32

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソロモン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	25.00	401.36	144.84

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソロモン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	7.88	4.81	12.69
2018年	-	18.67	5.51	24.18
2019年	-	1.84	6.31	8.15
2020年	-	9.90	3.61	13.51
2021年	22.78	25.11	3.29	51.17
累計	19.95	300.77	149.33	470.05

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 119.20	ニュージーランド 18.58	日本 12.69	韓国 4.45	米国 0.67	156.34	12.69
2018年	オーストラリア 113.40	日本 24.18	ニュージーランド 22.20	韓国 2.77	米国 1.60	166.09	24.18
2019年	オーストラリア 119.61	ニュージーランド 22.21	米国 21.40	日本 8.15	韓国 2.74	176.28	8.15
2020年	オーストラリア 87.03	ニュージーランド 21.26	日本 13.51	英国 1.15	米国 0.90	125.75	13.51
2021年	オーストラリア 137.83	日本 51.17	ニュージーランド 29.58	米国 1.96	英国 0.82	222.78	51.17

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 11.04	EU Institutions 9.58	IDA 4.18	IFAD 3.19	GEF 2.47	7.81	38.27
2018年	AsDB 9.72	EU Institutions 8.44	IDA 5.76	GAVI 2.89	GFATM 2.78	7.02	36.60
2019年	EU Institutions 11.89	IDA 11.06	GCF 8.00	AsDB 6.72	CIF 4.33	9.55	51.55
2020年	AsDB 36.39	IDA 30.94	IMF-CTF 9.84	EU Institutions 9.39	CIF 3.84	2.70	93.09
2021年	IDA 29.83	AsDB 3.77	EU Institutions 2.59	GFATM 2.47	UNPBF 1.69	5.66	46.01

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	29.44億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (0.85) ・経済社会開発計画 (3件) (6.00) ・第二次ククム幹線道路改善計画 (22.59)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] ツバル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.1万人	7,160ドル	0.7%	-	後発開発途上国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ツバル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	6.83	1.48
2019年度	-	1.22	0.14
2020年度	-	1.00	0.02
2021年度	-	2.33	0.01
2022年度	-	0.13	0.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ツバル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	113.50	31.35

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ツバル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.34	1.16	1.50
2018年	-	0.35	1.71	2.06
2019年	-	3.38	0.12	3.50
2020年	-	1.98	0.06	2.04
2021年	-	3.16	0.02	3.18
累計	-	104.36	29.22	133.58

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 6.47	ニュージーランド 5.17	日本 1.50	韓国 0.10	イタリア 0.05	13.30	1.50
2018年	オーストラリア 6.43	ニュージーランド 3.48	日本 2.06	韓国 0.16	英国 0.06	12.20	2.06
2019年	オーストラリア 9.41	ニュージーランド 6.41	日本 3.50	韓国 0.21	イタリア 0.13	19.83	3.50
2020年	オーストラリア 7.58	ニュージーランド 7.20	日本 2.04	韓国 0.38	カナダ 0.17	17.44	2.04
2021年	オーストラリア 11.38	ニュージーランド 5.51	日本 3.18	韓国 0.84	米国 0.15	21.21	3.18

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 8.21	AsDB 4.89	GCF 2.01	EU Institutions 0.26	ILO 0.20	0.06	15.64
2018年	IDA 10.52	EU Institutions 2.38	GEF 1.40	AsDB 1.17	UNDP 0.05	0.08	15.59
2019年	AsDB 7.97	GCF 4.69	IDA 2.53	EU Institutions 1.62	FAO 0.14	0.07	17.03
2020年	IDA 17.43	AsDB 7.43	UNPBF 0.70	FAO 0.13	EU Institutions 0.12	0.04	25.85
2021年	IDA 6.28	AsDB 5.23	EU Institutions 2.25	GCF 0.86	FAO 0.24	0.16	15.25
	-	-	-	-	ILO 0.24	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.13億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.13)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] トンガ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
10.7万人	4,930ドル	-2.7%	2.10億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トンガ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	29.14	2.34
2019年度	-	0.62	1.73
2020年度	-	3.02	0.89
2021年度	-	16.71	4.36
2022年度	-	15.10	4.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トンガ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	321.90	127.69

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トンガ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年度	-	19.44	3.48	22.92
2018年度	-	11.47	2.07	13.54
2019年度	-	15.23	1.55	16.78
2020年度	-	16.66	0.96	17.62
2021年度	-	12.85	0.87	13.72
累計	-	259.29	108.98	368.27

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 22.92	オーストラリア 22.74	ニュージーランド 8.46	ドイツ 1.79	米国 1.55	57.61	22.92
2018年	オーストラリア 25.75	ニュージーランド 22.56	日本 13.54	米国 1.60	韓国 0.16	63.72	13.54
2019年	オーストラリア 19.00	日本 16.78	ニュージーランド 9.67	米国 1.28	ドイツ 0.30	47.50	16.78
2020年	オーストラリア 22.16	日本 17.62	ニュージーランド 14.79	アイルランド 2.04	米国 0.67	58.07	17.62
2021年	オーストラリア 31.99	ニュージーランド 15.28	日本 13.72	米国 1.03	英国 0.19	62.69	13.72

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 12.12	AsDB 9.84	CIF 6.56	EU Institutions 3.69	IFAD 0.94	0.82	33.96
2018年	IDA 16.51	AsDB 9.45	EU Institutions 5.08	CIF 3.92	IFAD 0.67	0.86	36.49
2019年	GCF 24.32	IDA 15.92	AsDB 14.87	CIF 4.13	EU Institutions 1.97	1.70	62.91
2020年	IDA 50.77	AsDB 31.06	CIF 19.03	EU Institutions 2.83	IFAD 0.89	1.68	106.27
2021年	IDA 25.78	AsDB 14.01	IMF-CTF 9.83	GEF 1.40	IFAD 1.17	1.50	53.70

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	15.10億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.37) ・経済社会開発計画 (4件) (12.23) ・全国早期警報システム導入及び防災通信能力強化計画 (2.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] ナウル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.3万人	17,800ドル	1.6%	-	高中所得国	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナウル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	8.81	0.12
2019年度	-	2.19	0.06
2020年度	-	1.07	0.02
2021年度	-	2.00	0.01
2022年度	-	0.16	0.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナウル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	34.33	2.93

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナウル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.31	0.13	0.44
2018年	-	0.23	0.07	0.30
2019年	-	8.33	0.06	8.39
2020年	-	2.22	0.04	2.26
2021年	-	1.12	0.02	1.14
累計	-	34.53	6.46	40.99

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 21.35	ニュージーランド 1.61	日本 0.44	韓国 0.14	カナダ 0.01	23.54	0.44
2018年	オーストラリア 23.29	ニュージーランド 3.11	日本 0.30	イタリア 0.05	-	26.75	0.30
2019年	オーストラリア 17.84	日本 8.39	ニュージーランド 2.82	イタリア 0.28	スイス 0.11	29.59	8.39
2020年	オーストラリア 13.45	ニュージーランド 3.48	日本 2.26	韓国 0.20	スイス 0.15	19.63	2.26
2021年	オーストラリア 20.47	ニュージーランド 3.14	日本 1.14	スイス 0.16	カナダ 0.10	25.01	1.14

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 1.73	EU Institutions 0.27	WHO 0.07	UNDP 0.06	-	-	2.14
2018年	GCF 5.51	AsDB 3.01	EU Institutions 1.51	GEF 0.65	WHO 0.01	-	10.70
2019年	GCF 18.84	AsDB 5.15	EU Institutions 0.65	WHO 0.06	FAO 0.03	-	24.74
2020年	AsDB 8.41	EU Institutions 0.07	WHO 0.03	FAO 0.00	-	-	8.51
2021年	AsDB 6.16	GCF 2.69	WHO 0.07	-	-	-	8.92

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.16億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ニウエ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
0.17万人	-	-	-	高中所得国	-

出典)アジア開発銀行

表-1-1 我が国の対ニウエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.17	0.05
2019年度	-	0.13	0.13
2020年度	-	1.13	-
2021年度	-	1.20	-
2022年度	-	0.23	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニウエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	4.06	2.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニウエ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.10	0.10
2018年	-	0.91	0.05	0.96
2019年	-	0.16	0.10	0.26
2020年	-	0.14	0.03	0.17
2021年	-	1.03	0.00	1.03
累計	-	2.43	2.01	4.44

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ニュージーランド 11.96	オーストラリア 1.75	日本 0.10	カナダ 0.01	韓国 0.00	13.83	0.10
2018年	ニュージーランド 16.11	日本 0.96	オーストラリア 0.45	-	-	17.51	0.96
2019年	ニュージーランド 15.50	オーストラリア 2.44	日本 0.26	韓国 0.02	-	18.22	0.26
2020年	ニュージーランド 18.43	オーストラリア 2.03	日本 0.17	韓国 0.12	-	20.75	0.17
2021年	ニュージーランド 23.79	オーストラリア 2.40	日本 1.03	-	-	27.22	1.03

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 0.43	GEF 0.39	UNDP 0.07	WHO 0.05	-	-	0.94
2018年	GEF 0.83	GCF 0.29	EU Institutions 0.18	UNDP 0.06	WHO 0.02	0.01	1.40
2019年	EU Institutions 0.38	FAO 0.09	WHO 0.07	GEF 0.06	UNDP 0.03	-	0.62
2020年	GEF 1.02	AsDB 0.32	UNDP 0.06	FAO 0.02	-	-	1.45
	-	-	-	WHO 0.02	-	-	-
2021年	GEF 0.64	WHO 0.07	FAO 0.05	GCF 0.03	UNDP 0.02	0.02	0.83

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.23億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.23)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] バヌアツ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
32.7万人	3,650ドル	1.8%	4.84億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バヌアツ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.51	4.21
2019年度	-	8.07	5.29
2020年度	-	7.36	2.45
2021年度	-	6.61	1.86
2022年度	-	29.03	2.27

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バヌアツ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	95.43	189.17	102.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バヌアツ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	25.20	0.77	3.99	29.97
2018年	7.92	0.91	4.25	13.09
2019年	1.12	2.66	3.32	7.10
2020年	-0.02	6.74	3.23	9.95
2021年	-	3.51	1.70	5.21
累計	73.22	134.04	94.55	301.85

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 50.53	日本 29.97	ニュージーランド 16.42	米国 3.65	フランス 2.73	103.85	29.97
2018年	オーストラリア 42.94	ニュージーランド 17.08	日本 13.09	フランス 5.27	米国 3.63	83.31	13.09
2019年	オーストラリア 42.75	ニュージーランド 17.21	日本 7.10	フランス 3.74	米国 2.39	76.33	7.10
2020年	オーストラリア 54.15	ニュージーランド 20.52	日本 9.97	フランス 4.07	米国 1.81	92.13	9.97
2021年	オーストラリア 90.18	ニュージーランド 25.82	日本 5.21	フランス 5.06	米国 1.58	129.95	5.21

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 18.19	AsDB 9.51	WHO 1.25	GGGI 0.83	EU Institutions 0.57	0.88	31.23
2018年	IDA 28.44	AsDB 10.36	GEF 6.55	EU Institutions 3.55	WHO 0.78	1.98	51.67
2019年	IDA 39.14	AsDB 11.44	EU Institutions 2.64	GCF 2.11	GEF 1.30	1.65	58.28
2020年	AsDB 23.94	IDA 17.72	EU Institutions 14.84	GCF 2.85	CIF 2.72	4.06	66.13
2021年	IDA 16.09	EU Institutions 8.98	GCF 6.44	AsDB 6.11	CIF 2.93	2.40	42.94

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	29.03億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.59) ・経済社会開発計画 (2件) (3.96) ・サント島における水力発電施設建設計画 (2件) (11.05) ・テオウマ橋災害復興計画 (2件) (13.43)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] パプアニューギニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,014万人	2,700ドル	5.2%	187.00億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	17.33	13.68
2019年度	-	4.07	9.54
2020年度	300.00	29.27	5.74
2021年度	-	15.37	8.01
2022年度	-	4.18	8.62

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,357.28	510.85	393.68

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	6.99	2.16	12.04	21.19
2018年	8.39	22.32	13.39	44.10
2019年	24.17	20.91	7.91	52.99
2020年	88.00	23.30	6.76	118.06
2021年	318.15	22.08	5.43	345.67
累計	461.53	447.45	357.16	1,266.17

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 381.46	日本 37.37	ニュージーランド 22.54	米国 10.98	ドイツ 1.41	457.08	37.37
2018年	オーストラリア 418.60	日本 60.53	ニュージーランド 28.47	米国 8.75	ドイツ 2.82	525.57	60.53
2019年	オーストラリア 415.17	日本 64.94	ニュージーランド 28.72	米国 6.96	ドイツ 3.09	524.49	64.94
2020年	オーストラリア 363.52	日本 126.69	ニュージーランド 24.20	米国 10.96	ドイツ 3.11	532.18	126.69
2021年	オーストラリア 586.53	日本 345.67	ニュージーランド 23.75	米国 14.05	ドイツ 2.84	977.71	345.67

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 37.27	GFATM 21.77	IDA 20.20	EU Institutions 13.28	GEF 5.06	19.98	117.54
2018年	IDA 192.45	AsDB 38.15	EU Institutions 34.00	GFATM 15.06	CERF 9.19	28.67	317.53
2019年	EU Institutions 48.10	AsDB 41.95	IDA 32.13	GFATM 19.19	GAVI 13.26	29.75	184.40
2020年	IMF-CTF 366.61	AsDB 88.27	IDA 36.55	EU Institutions 24.05	GFATM 21.82	36.96	574.28
2021年	IDA 111.88	EU Institutions 65.58	GFATM 37.19	AsDB 26.96	IFAD 3.27	17.90	262.75

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	4.18億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.18) ・経済社会開発計画 (1件) (4.00)	・森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト [22.04～25.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] パラオ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.8万人	13,420ドル	-13.7%	-	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラオ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	18.59	1.73
2019年度	-	8.93	2.44
2020年度	-	12.79	1.03
2021年度	-	7.37	3.28
2022年度	-	26.25	10.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラオ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	310.59	92.30

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラオ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	8.31	4.66	12.97
2018年	-	12.83	1.99	14.82
2019年	4.22	11.84	2.34	18.40
2020年	15.48	16.40	1.23	33.10
2021年	0.92	11.51	1.52	13.95
累計	20.62	220.74	81.26	322.61

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 12.97	米国 2.92	オーストラリア 1.49	ニュージーランド 0.19	ベルギー 0.15	17.77	12.97
2018年	米国 66.40	日本 14.82	オーストラリア 1.20	韓国 0.61	ニュージーランド 0.25	83.51	14.82
2019年	日本 18.40	オーストラリア 2.20	米国 1.36	ニュージーランド 0.51	韓国 0.41	23.34	18.40
2020年	日本 33.10	オーストラリア 3.99	米国 2.52	ニュージーランド 1.18	韓国 0.69	41.66	33.10
2021年	日本 13.95	オーストラリア 4.63	米国 4.41	ニュージーランド 0.95	韓国 0.39	24.48	13.95

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 3.56	EU Institutions 0.13	WHO 0.09	IAEA 0.04	UNDP 0.02	-	3.84
2018年	AsDB 0.59	GEF 0.20	ILO 0.08	FAO 0.05	UNDP 0.04	0.06	1.03
2019年	EU Institutions 0.70	AsDB 0.66	ILO 0.16	IAEA 0.14	FAO 0.08	0.07	1.81
2020年	AsDB 21.07	GCF 0.35	IAEA 0.10	ILO 0.05	-	-	21.61
	-	-	-	WHO 0.05	-	-	-
2021年	AsDB 26.44	IAEA 0.16	WHO 0.07	ILO 0.04	-	-	26.72

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	26.25億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (1件) (0.80) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (1.05) ・経済社会開発計画 (2件) (3.00) ・送電網整備計画 (21.40) 	<ul style="list-style-type: none"> ・島嶼国型ブルーエコノミー [22.04～25.09]の優良事例形成プロジェクト

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] フィジー

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
93.0万人	5,390ドル	20.0%	25.37億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィジー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	4.08	8.10
2019年度	50.00	9.84	6.96
2020年度	100.00	8.65	4.01
2021年度	100.00	6.07	5.07
2022年度	-	7.42	6.09

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィジー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	272.87	245.57	319.58

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィジー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.08	12.86	6.70	18.48
2018年	-1.10	1.81	5.45	6.16
2019年	-1.11	4.42	7.19	10.49
2020年	19.00	15.44	5.73	40.17
2021年	116.51	2.12	2.62	121.25
累計	135.88	207.66	298.86	642.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	オーストラリア 46.89	日本 19.56	ニュージーランド 16.77	韓国 3.72	米国 2.49	96.39	19.56
2018年	オーストラリア 47.07	ニュージーランド 17.00	韓国 7.44	日本 7.26	ドイツ 2.68	85.84	7.26
2019年	オーストラリア 41.54	ニュージーランド 14.81	日本 11.61	韓国 6.35	英国 4.72	84.52	11.61
2020年	オーストラリア 48.11	日本 41.31	ニュージーランド 16.51	韓国 8.16	英国 3.54	122.91	41.31
2021年	オーストラリア 194.02	日本 121.81	ニュージーランド 80.60	韓国 5.57	米国 2.58	409.09	121.81

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 33.52	GEF 10.66	UNDP 1.64	WHO 1.25	AsDB 0.73	2.54	50.33
2018年	EU Institutions 11.84	UNICEF 8.84	GEF 5.23	GCF 4.50	GGGI 1.43	4.28	36.11
2019年	GCF 17.14	EU Institutions 11.66	UNICEF 9.94	GEF 2.05	UNDP 1.27	3.77	45.83
2020年	IDA 28.83	EU Institutions 17.55	UNICEF 9.91	GEF 9.56	UNDP 1.59	4.06	71.50
2021年	IDA 155.80	UNICEF 11.05	GCF 10.37	EU Institutions 9.43	GEF 5.34	9.61	201.59

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	7.42億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (1.47) ・タマプア・イ・ワイ橋架け替え計画 (5.95)	・生活習慣病対策プロジェクトフェーズ2 [22.04～26.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] マーシャル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4.2万人	7,270ドル	-0.7%	-	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マーシャル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	10.18	1.15
2019年度	-	8.66	1.11
2020年度	-	5.05	0.92
2021年度	-	32.04	0.98
2022年度	-	15.05	0.73

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マーシャル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	236.46	56.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マーシャル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.77	3.92	4.69
2018年	-	3.00	1.07	4.07
2019年	-	9.38	1.03	10.41
2020年	-	11.57	0.99	12.56
2021年	-	0.68	0.41	1.09
累計	-	129.69	63.67	193.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 56.53	オーストラリア 9.58	日本 4.69	ドイツ 0.37	英国 0.31	72.05	4.69
2018年	米国 42.13	日本 4.07	ドイツ 1.32	オーストラリア 0.81	ニュージーランド 0.80	49.33	4.07
2019年	米国 42.08	日本 10.41	オーストラリア 2.05	ドイツ 0.82	ニュージーランド 0.70	56.64	10.41
2020年	米国 104.50	日本 12.56	オーストラリア 2.08	ドイツ 1.96	ニュージーランド 0.56	122.37	12.56
2021年	米国 88.24	オーストラリア 3.24	ドイツ 1.56	ニュージーランド 1.23	日本 1.09	96.52	1.09

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 1.53	IDA 1.03	ILO 0.18	WHO 0.15	IAEA 0.07	-	2.95
2018年	IDA 2.52	AsDB 2.46	EU Institutions 1.77	GCF 0.40	GEF 0.23	0.41	7.80
2019年	IDA 5.85	EU Institutions 3.56	AsDB 2.50	ILO 0.26	WHO 0.24	0.22	12.63
2020年	GCF 27.72	AsDB 24.29	IDA 7.52	UNPBF 0.81	EU Institutions 0.40	0.27	61.02
2021年	IDA 8.36	EU Institutions 3.04	AsDB 2.70	FAO 0.22	WHO 0.17	0.22	14.72

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	15.05億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.28) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・マジュロ環礁における貯水池整備計画 (7.03) ・マジュロ環礁における貯水池整備計画【追加贈与】 (4.10) ・イバイ島太陽光発電システム整備計画【追加贈与】 (0.64)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] ミクロネシア連邦

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11.4万人	4,140ドル	-0.8%	-	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.65	2.42
2019年度	-	6.44	2.14
2020年度	-	5.35	1.79
2021年度	-	12.17	0.66
2022年度	-	11.17	0.72

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	271.66	98.78

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.77	2.38	5.15
2018年	-	12.34	2.15	14.49
2019年	-	9.29	2.12	11.41
2020年	-	5.58	1.95	7.53
2021年	-	1.97	0.70	2.67
累計	15.57	193.26	108.16	316.99

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 69.73	オーストラリア 13.63	日本 5.15	韓国 0.66	ニュージーランド 0.35	89.55	5.15
2018年	米国 55.43	日本 14.49	オーストラリア 2.80	ニュージーランド 0.91	韓国 0.73	74.47	14.49
2019年	米国 57.78	日本 11.41	オーストラリア 4.17	ニュージーランド 1.04	韓国 0.57	75.49	11.41
2020年	米国 122.47	日本 7.53	オーストラリア 3.58	韓国 0.57	ニュージーランド 0.40	134.76	7.53
2021年	米国 110.49	オーストラリア 3.94	日本 2.67	ニュージーランド 1.00	韓国 0.69	118.89	2.67

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 5.20	EU Institutions 2.06	AsDB 1.55	Adaptation Fund 1.25	WHO 0.51	0.13	10.69
2018年	IDA 25.45	Adaptation Fund 0.48	WHO 0.42	AsDB 0.30	FAO 0.20	0.09	26.95
2019年	IDA 18.01	GCF 0.60	WHO 0.47	AsDB 0.32	FAO 0.29	-	19.70
2020年	AsDB 21.30	IDA 10.86	EU Institutions 4.60	Adaptation Fund 2.30	WHO 0.45	-	39.50
2021年	IDA 8.48	Adaptation Fund 2.66	AsDB 2.31	GCF 1.04	WHO 0.40	0.13	15.02

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	11.17億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.80) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.37) ・経済社会開発計画 (3件) (10.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

南西アジア地域

南西アジア地域

表-1 南西アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	188.58 (5.8)	191.05 (5.7)	217.67 (6.6)	174.78 (4.6)	267.10 (6.7)	12,832.13
		技術協力	299.36 (13.5)	186.67 (9.7)	202.11 (10.1)	154.79 (9.4)	133.29 (8.0)	5,060.20
		贈与計	487.94 (8.9)	377.72 (7.2)	419.78 (8.0)	329.57 (6.0)	400.39 (7.0)	17,892.33
	政府貸付等 支出総額	3,844.06 (40.1)	3,618.47 (45.2)	4,076.16 (43.4)	4,134.76 (36.2)	5,443.54 (44.9)	68,734.68	
	<政府貸付等 支出純額>	<2,469.01>	<2,176.37>	<2,582.03>	<2,649.74>	<4,127.90>	<37,645.62>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		4,332.01 (28.7)	3,996.20 (30.1)	4,495.94 (30.6)	4,464.34 (26.4)	5,843.93 (32.8)	86,627.04	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<2,956.94>	<2,554.08>	<3,001.81>	<2,979.30>	<4,528.28>	<55,553.63>	

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める南西アジア地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 南西アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	日本 4,495.94	ドイツ 1,263.13	米国 1,068.50	英国 1,022.59	フランス 516.48	9,324.58	4,495.94
	2020	日本 4,464.34	ドイツ 1,572.27	米国 896.10	英国 820.41	フランス 527.13	9,116.92	4,464.34
	2021	日本 5,843.93	ドイツ 1,710.18	米国 1,094.57	英国 555.67	フランス 388.68	10,753.21	5,843.93
政府貸付等	2019	日本 4,076.16	ドイツ 679.55	フランス 476.17	韓国 208.82	英国 32.67	5,476.91	4,076.16
	2020	日本 4,134.76	ドイツ 878.13	フランス 479.01	韓国 105.42	英国 32.86	5,631.44	4,134.76
	2021	日本 5,443.54	ドイツ 960.42	フランス 307.41	韓国 229.77	英国 50.45	6,995.68	5,443.54
無償資金協力	2019	米国 1,050.70	英国 834.80	日本 217.67	ドイツ 160.98	スイス 100.00	2,848.46	217.67
	2020	米国 880.80	英国 693.68	ドイツ 211.72	日本 174.78	オーストラリア 97.27	2,497.40	174.78
	2021	米国 1,085.03	英国 433.78	日本 267.10	ドイツ 164.99	オーストラリア 123.10	2,712.60	267.10
技術協力	2019	ドイツ 422.59	日本 202.11	英国 155.12	カナダ 40.71	オーストラリア 30.71	999.21	202.11
	2020	ドイツ 482.41	日本 154.79	英国 93.88	フランス 75.02	カナダ 51.44	988.06	154.79
	2021	ドイツ 584.77	日本 133.29	英国 71.44	オーストラリア 53.18	カナダ 44.98	1,044.93	133.29

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 南西アジアに対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	IDA 4,061.09	AsDB 1,793.85	EU Institutions 569.06	GAVI 380.23	GFATM 258.38	606.39	7,669.01
	2020	IDA 4,601.72	AsDB 2,152.13	EU Institutions 850.01	IMF-CTF 504.62	GAVI 448.55	1,005.32	9,562.40
	2021	IDA 4,658.06	AsDB 2,077.87	EU Institutions 761.84	GFATM 358.87	GAVI 332.20	836.26	9,025.07
政府貸付等	2019	IDA 3,998.14	AsDB 1,679.70	EU Institutions 248.33	IFAD 141.41	OPEC Fund 38.58	12.53	6,118.70
	2020	IDA 4,492.63	AsDB 2,015.75	IMF-CTF 495.68	EU Institutions 336.38	IFAD 100.82	189.70	7,630.97
	2021	IDA 4,512.06	AsDB 1,974.28	OPEC Fund 259.28	EU Institutions 197.03	IFAD 138.44	10.12	7,091.20
無償資金協力	2019	GAVI 380.23	GFATM 258.38	EU Institutions 212.69	UNICEF 144.35	AsDB 114.19	332.45	1,442.28
	2020	GAVI 448.55	EU Institutions 421.90	GFATM 311.72	AsDB 136.39	UNICEF 122.66	398.06	1,839.32
	2021	EU Institutions 447.87	GFATM 358.87	GAVI 332.20	IDA 146.01	UNICEF 116.68	415.33	1,816.95
技術協力	2019	EU Institutions 108.04	-	-	-	-	-	108.04
	2020	EU Institutions 91.73	IAEA 0.37	-	-	-	-	92.10
	2021	EU Institutions 116.92	-	-	-	-	-	116.92

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] インド

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
14.17億人	2,390ドル	7.2%	6,168.63億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インド援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	4,219.55	17.57	106.62
2019年度	3,744.40	14.62	87.00
2020年度	3,562.96	51.20	73.14
2021年度	3,122.58	46.74	85.65
2022年度	5,674.87	0.08	57.49

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インド援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	74,458.77	1,069.69	1,143.08

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インド援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1,390.52	1.35	162.76	1,554.63
2018年	1,280.92	8.34	86.15	1,375.40
2019年	1,681.14	7.48	106.15	1,794.77
2020年	597.77	12.55	81.51	691.82
2021年	2,266.95	57.86	62.46	2,387.27
累計	21,881.72	703.13	1,250.79	23,851.27

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 2,376.10	ドイツ 1,181.84	フランス 214.78	米国 137.21	英国 118.33	4,112.90	2,376.10
2018年	日本 2,231.91	ドイツ 876.49	フランス 351.61	英国 133.91	米国 133.66	3,812.70	2,231.91
2019年	日本 2,699.94	ドイツ 947.84	フランス 272.70	英国 153.15	米国 99.02	4,271.36	2,699.94
2020年	日本 1,807.74	ドイツ 1,189.76	フランス 422.58	英国 134.51	米国 93.67	3,738.52	1,807.74
2021年	日本 3,382.48	ドイツ 1,313.40	米国 141.71	英国 134.29	フランス 126.36	5,239.87	3,382.48

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 1,279.87	EU Institutions 466.37	GAVI 144.20	CIF 67.25	UNICEF 64.83	75.47	2,097.99
2018年	IDA 1,031.68	EU Institutions 402.73	GAVI 106.22	GFATM 103.21	CIF 70.71	138.60	1,853.14
2019年	IDA 1,024.02	EU Institutions 196.28	GFATM 130.83	GAVI 120.87	UNICEF 63.15	111.97	1,647.10
2020年	IDA 837.44	EU Institutions 314.54	GFATM 147.44	GAVI 84.39	CIF 54.64	131.98	1,570.43
2021年	IDA 673.07	GFATM 187.43	EU Institutions 182.08	UNICEF 48.92	IFAD 32.39	90.56	1,214.45

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	5674.87億円	0.08億円	
	・ムンバイ・アーメダバード間 高速鉄道建設計画(第三期) (1,000.00)	・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.08)	・タミル・ナド州非感染性病 患対策プロジェクト [22.04~ 26.04]
	・ムンバイ湾横断道路建設計 画(第三期) (307.55)		・北東部地域における竹資 源利活用推進プロジェクト [23.01~ 26.01]
	・ミゾラム州立高度専門がん 研究センター設立計画 (99.18)		・ムンバイ・アーメダバード間 高速鉄道駅周辺開発支援プ ロジェクト [23.02~ 26.12]
	・ムンバイ・アーメダバード間 高速鉄道建設計画(第四期) (3,000.00)		・下水汚泥管理能力向上プ ロジェクト [22.11~ 26.02]
	・パトナ・メトロ建設計画(第一 期) (986.12)		
	・西ベンガル州における気候 変動対策のための森林・生物 多様性保全計画 (93.08)		
	・ラジャスタン州水資源セク ター生計向上計画(第二期) (188.94)		

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] スリランカ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,218万人	3,610ドル	-7.8%	587.13億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スリランカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	300.40	14.04	18.18
2019年度	-	34.33	10.34
2020年度	-	23.85	9.93
2021年度	-	6.30	15.72
2022年度	-	72.53	15.15

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スリランカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	11,267.07	2,309.26	897.52

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スリランカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-20.64	26.28	25.93	31.58
2018年	-29.47	18.06	19.72	8.31
2019年	2.81	18.15	11.71	32.68
2020年	39.94	32.44	11.41	83.79
2021年	-51.21	15.07	7.42	-28.73
累計	2,899.49	1,649.91	897.89	5,447.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 224.02	米国 33.83	オーストラリア 21.53	ドイツ 20.21	韓国 19.45	371.55	224.02
2018年	日本 200.63	米国 55.55	韓国 30.47	フランス 20.19	ドイツ 18.01	383.78	200.63
2019年	日本 225.85	フランス 50.00	韓国 43.23	米国 36.77	ドイツ 22.66	434.27	225.85
2020年	日本 297.36	米国 39.65	韓国 23.67	ドイツ 22.40	フランス 18.79	459.58	297.36
2021年	日本 177.32	米国 74.33	フランス 33.26	韓国 26.04	オーストラリア 20.67	397.44	177.32

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 199.74	AsDB 102.64	EU Institutions 36.27	IFAD 12.32	OPEC Fund 10.13	34.60	395.70
2018年	IDA 124.83	AsDB 93.41	EU Institutions 27.34	OPEC Fund 22.32	GFATM 11.35	28.97	308.22
2019年	AsDB 126.27	IDA 114.04	EU Institutions 14.44	IFAD 12.17	GCF 10.00	27.42	304.35
2020年	IDA 171.51	AsDB 128.03	EU Institutions 26.26	OPEC Fund 16.49	IFAD 8.72	17.25	368.27
2021年	IDA 183.96	AsDB 90.03	EU Institutions 72.16	OPEC Fund 19.27	IFAD 7.27	23.86	396.56

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	72.53億円	
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.51)	・起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進プロジェクト [23.03～27.03]
		・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (2.36)	
		・人材育成奨学計画 (5件) (2.64)	・ジャフナ大学農学部による乾燥地域農業の教育・研究能力向上プロジェクト [22.06～27.06]
		・経済社会開発計画 (3件) (60.00)	
		・スリランカにおける人道状況の悪化を受けた緊急無償資金協力(WFP連携) (1.62)	・海洋災害対策及び海洋環境保全に係る油防除対応能力向上プロジェクト [22.07～25.06]
		・同上案件(UNICEF連携) (1.62)	・気象レーダー活用による気象観測及び予警報能力強化プロジェクト [22.10～26.10]
		・同上案件(IFRC連携) (1.08)	
		・同上案件(UNICEF連携) (0.54)	
		・同上案件(WFP連携) (2.16)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] ネパール

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,055万人	1,340ドル	5.6%	91.40億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ネパール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	48.16	24.70
2019年度	-	31.34	21.10
2020年度	-	33.49	11.92
2021年度	100.00	21.58	19.81
2022年度	159.01	16.22	16.90

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ネパール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,472.03	2,263.67	856.12

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ネパール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	39.20	28.25	29.96	97.41
2018年	52.02	34.54	20.51	107.07
2019年	60.31	48.62	17.59	126.52
2020年	42.83	22.99	16.87	82.69
2021年	45.76	33.50	11.88	91.14
累計	272.97	1,937.93	805.72	3,016.64

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 189.09	英国 134.17	日本 105.91	ドイツ 44.64	スイス 39.31	651.03	105.91
2018年	米国 174.52	英国 127.74	日本 115.72	ドイツ 51.64	ノルウェー 34.85	622.11	115.72
2019年	米国 151.14	日本 137.23	英国 115.51	ドイツ 45.85	スイス 38.44	589.30	137.23
2020年	米国 136.37	英国 108.29	日本 87.60	ドイツ 57.49	スイス 39.13	525.36	87.60
2021年	米国 160.88	日本 91.14	英国 81.63	ドイツ 54.33	スイス 46.87	565.00	91.14

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 296.39	AsDB 279.09	EU Institutions 94.88	GFATM 23.68	OPEC Fund 16.29	72.82	783.14
2018年	IDA 597.67	AsDB 250.70	EU Institutions 54.35	GFATM 18.55	GAVI 15.07	67.09	1,003.42
2019年	IDA 485.34	AsDB 310.47	EU Institutions 49.35	GAVI 24.77	IFAD 15.65	62.46	948.07
2020年	IDA 533.24	AsDB 513.41	IMF-CTF 227.48	EU Institutions 33.88	CIF 30.73	75.47	1,414.22
2021年	IDA 687.89	AsDB 272.52	EU Institutions 116.04	GAVI 30.34	GFATM 23.53	78.47	1,208.79

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表－5 我が国年度別・形態別実績詳細(表－1－1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	159.01億円 ・都市送配電網整備事業 (159.01)	16.22億円 ・日本NGO連携無償 (14件) (9.11) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.48) ・人材育成奨学計画 (4件) (3.63) ・タライ東部地域における灌漑施設改修計画 (1.47) ・ピラトナガルにおける上水道改善計画 (1.53)	・トリブバン国際空港における飛行処理能力強化のための航空管制業務改善プロジェクト [23.01～26.02] ・持続的森林管理を通じた気候変動適応策プロジェクト [22.10～27.10]

注) 1. 表－1－1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] パキスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.36億人	1,560ドル	4.7%	1,269.42億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	23.78	21.31
2019年度	-	59.58	18.50
2020年度	-	48.91	13.56
2021年度	-	48.17	22.33
2022年度	-	81.77	16.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,174.75	3,075.87	670.47

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-165.84	71.48	21.01	-73.36
2018年	-207.35	52.34	17.56	-137.45
2019年	-208.95	57.75	16.71	-134.49
2020年	-12.36	27.00	9.88	24.52
2021年	16.37	40.59	18.99	75.95
累計	4,054.98	2605.31	631.45	7,291.72

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 538.12	英国 518.42	ドイツ 214.12	日本 168.28	フランス 134.81	1,710.53	168.28
2018年	米国 470.68	英国 444.34	ドイツ 132.58	日本 126.71	フランス 73.69	1,367.73	126.71
2019年	英国 389.95	米国 363.92	日本 132.11	フランス 100.90	ドイツ 99.30	1,255.29	132.11
2020年	米国 304.95	英国 261.71	ドイツ 114.06	日本 52.98	フランス 51.73	876.77	52.98
2021年	米国 247.81	英国 180.51	ドイツ 150.26	日本 75.98	フランス 46.17	806.15	75.98

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 722.57	AsDB 430.24	EU Institutions 133.45	GAVI 123.64	GFATM 98.86	88.00	1,596.76
2018年	IDA 487.71	GAVI 165.76	EU Institutions 136.03	GFATM 64.06	AsDB 62.93	97.26	1,013.73
2019年	AsDB 848.09	IDA 581.20	GAVI 141.60	EU Institutions 111.87	GFATM 58.98	110.72	1,852.44
2020年	IDA 1,431.08	AsDB 625.69	GAVI 270.76	EU Institutions 134.55	GFATM 65.53	129.32	2,656.95
2021年	IDA 1,719.66	AsDB 821.05	GAVI 221.64	EU Institutions 117.26	GFATM 80.23	186.57	3,146.38

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	81.78億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (8件) (2.60)	・ハイバル・パフトウンハー州新併合地域の地方行政官能力強化プロジェクト [22.12~26.12]
		・日本NGO連携無償 (3件) (1.98)	・プライマリーヘルスケアにおける母子保健の継続ケア強化プロジェクト [23.01~27.01]
		・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.29)	・パンジャブ州における道路アセットマネジメントシステム能力向上プロジェクト [22.11~25.11]
		・人材育成奨学計画 (5件) (3.09)	・2022年洪水を踏まえた効果的な堤防管理のための能力向上プロジェクト [23.03~24.10]
		・社会的結束、地方行政及び生計機会を通じた安定化・経済回復計画(UNDP連携) (5.62)	
		・ポリオ感染拡大防止・撲滅計画(UNICEF連携) (5.36)	
		・ムルタン市気象レーダー整備計画 (7.60)	
		・タキシラ博物館展示及び保存のための機材整備計画 (0.49)	
		・ムルタンにおける下水・排水サービス改善計画 (12.36)	
		・シンド州農村部における女子前期中等学校拡充計画 (2.59)	
		・サッカル市における気象レーダー設置計画 (5.31)	
		・ファイサラバードにおける浄水場及び送配水管網改善計画 (19.71)	
		・シンド州における母子保健医療施設拡充計画 (7.22)	
		・パキスタンにおける洪水被害に対する緊急無償資金協力(UNICEF連携) (1.08)	
		・同上案件(IFRC連携) (1.08)	
		・同上案件(IOM連携) (1.62)	
		・同上案件(UNHCR連携) (1.08)	
		・同上案件(WFP連携) (2.70)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] バングラデシュ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.71億人	2,820ドル	7.1%	970.12億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	2,003.71	54.21	41.89
2019年度	2,757.86	34.74	32.58
2020年度	3,732.47	41.34	26.24
2021年度	3,105.64	39.63	41.43
2022年度	3,311.80	67.22	43.08

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	30,375.73	5,122.85	1,042.53

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1,227.67	40.32	44.67	1,312.66
2018年	1,082.25	65.62	31.41	1,179.28
2019年	1,046.06	55.15	37.98	1,139.18
2020年	1,935.50	50.05	24.66	2,010.21
2021年	1,850.90	79.09	22.93	1,952.92
累計	8,413.87	5,250.88	1,146.78	14,811.52

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 1,421.65	米国 279.45	英国 226.44	ドイツ 88.40	スウェーデン 53.53	2,370.69	1,421.65
2018年	日本 1,297.71	米国 327.50	英国 255.38	ドイツ 118.82	カナダ 89.28	2,497.06	1,297.71
2019年	日本 1,255.59	米国 409.08	英国 334.07	ドイツ 133.88	韓国 108.49	2,667.73	1,255.59
2020年	日本 2,130.83	米国 312.73	英国 261.02	ドイツ 170.67	韓国 112.66	3,340.71	2,130.83
2021年	日本 2,065.66	米国 445.46	韓国 236.30	フランス 181.30	ドイツ 149.43	3,588.56	2,065.66

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 1,332.21	AsDB 361.62	EU Institutions 141.44	GAVI 76.87	GFATM 60.32	152.06	2,124.53
2018年	IDA 1,564.58	AsDB 490.19	EU Institutions 168.62	GAVI 61.75	GFATM 34.50	145.54	2,465.19
2019年	IDA 1,794.45	AsDB 395.43	EU Institutions 160.71	GAVI 92.21	GFATM 47.87	167.39	2,658.05
2020年	IDA 1,536.73	AsDB 723.52	EU Institutions 279.47	IMF-CTF 247.61	GAVI 84.37	230.85	3,102.57
2021年	IDA 1,325.20	AsDB 801.63	EU Institutions 234.53	OPEC Fund 89.61	GAVI 64.62	214.61	2,730.20

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	3,311.80億円	67.22億円	
	・南部チョットグラム地域開発計画 (324.62)	・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (5件) (1.37)	・ベンガル湾沿岸地域漁村振興プロジェクト [22.05~27.05]
	・ダッカ都市交通整備計画(5号線北路線)(第二期) (1,333.99)	・日本NGO連携無償 (7件) (2.65)	・経済特区管理・投資促進能力強化プロジェクト [22.05~27.05]
	・チョットグラム-コックスバザール幹線道路整備計画(第一期) (557.29)	・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.58)	・気象気候分析に関する能力向上プロジェクト [22.09~26.03]
	・ジョイデプルーイシュルディ間鉄道複線化計画(調査・設計のための役務) (42.28)	・草の根文化無償 (1件) (0.07)	・デルタプラン2100実施能力向上プロジェクト [22.08~25.09]
	・マタバリ港開発計画(第二期) (1,053.62)	・人材育成奨学計画 (5件) (4.45)	
		・行政運営研究・人材育成施設整備計画 (8.62)	
		・バシヤンチャール島におけるミャンマーからの避難民のための医療・保護支援及びコックスバザール県における治安対策強化計画(UNHCR連携) (5.05)	
		・バシヤンチャール島におけるミャンマーからの避難民に対する食糧・栄養支援及びコックスバザール県におけるホストコミュニティのための農業インフラ改善計画(WFP連携) (5.96)	
		・バシヤンチャール島におけるミャンマーからの避難民及びノアカリ県におけるホストコミュニティに対するジェンダーに基づく暴力への対応及び母子保健支援計画(UNFPA連携) (5.22)	
		・バシヤンチャール島及びコックスバザール県におけるシェルター改善及びコミュニティ構築推進計画(IOM連携) (8.00)	
		・バシヤンチャール島及びコックスバザール県におけるミャンマーからの避難民及びホストコミュニティのための総合生活支援計画(UNICEF連携) (8.00)	
		・バシヤンチャール島及びコックスバザール県におけるミャンマーからの避難民のための人道支援計画(UNHCR連携) (6.00)	
		・技術教育のための機材整備計画 (9.97)	
		・ダッカ及びラングプール気象レーダー整備計画【追加贈与】 (1.28)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ブータン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
78.2万人	3,290ドル	4.4%	29.60億ドル	後発開発途上国	iii/低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブータン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	5.16	12.80
2019年度	-	15.28	8.65
2020年度	-	7.35	7.98
2021年度	-	9.76	11.72
2022年度	33.00	10.41	12.60

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブータン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	90.63	438.95	264.91

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブータン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.83	16.42	11.95	27.54
2018年	-0.91	9.18	9.57	17.84
2019年	1.76	17.99	9.50	29.25
2020年	-0.21	13.34	8.55	21.68
2021年	-0.87	2.24	7.94	9.31
累計	50.97	362.62	233.13	646.73

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 28.49	オーストラリア 8.60	オーストリア 3.15	スイス 1.19	ドイツ 0.63	44.31	28.49
	-	-	-	-	韓国 0.63	-	-
2018年	日本 18.80	オーストラリア 4.40	オーストリア 2.45	スイス 1.42	米国 0.71	30.12	18.80
2019年	日本 30.22	オーストラリア 3.40	オーストリア 3.05	韓国 2.53	ドイツ 1.07	42.98	30.22
2020年	日本 22.68	オーストラリア 3.44	韓国 1.77	ドイツ 1.57	オーストリア 1.29	33.09	22.68
2021年	日本 10.93	韓国 2.96	オーストラリア 2.83	ドイツ 2.66	オーストリア 2.04	24.67	10.93

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 36.08	IDA 32.18	EU Institutions 5.73	GEF 5.14	WHO 1.83	5.26	86.22
2018年	IDA 34.44	AsDB 29.55	EU Institutions 15.04	GEF 5.26	IFAD 2.54	4.62	91.45
2019年	AsDB 83.94	IDA 33.14	EU Institutions 16.34	GCF 6.25	WHO 2.98	7.48	150.13
2020年	AsDB 87.79	IDA 57.96	EU Institutions 24.06	GCF 3.49	GEF 3.40	9.58	186.29
2021年	AsDB 63.21	IDA 34.94	EU Institutions 6.67	GCF 5.69	IFAD 3.60	11.23	125.35

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	33.00億円 (33.00)	10.41億円	
	・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款	・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.09) ・人材育成奨学計画 (5件) (1.76) ・デジタル地形図整備計画 (0.84) ・東部地域における保健医療 サービス強化計画 (5.35) ・国立感染症センター建設計画 (2.37)	・政府のデジタル技術及び データ利活用能力強化プロ ジェクト [23.02~ 27.02] ・遠隔医療の体制構築を通 じた母子保健強化プロジェク ト [23.03~ 26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] モルディブ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
52.4万人	10,880ドル	13.9%	40.39億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルディブ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	6.19	0.81
2019年度	-	10.62	2.78
2020年度	50.00	23.89	1.43
2021年度	-	8.18	2.59
2022年度	-	18.32	2.31

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルディブ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	77.33	389.46	87.72

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルディブ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.07	3.14	2.41	4.47
2018年	-1.09	2.97	1.14	3.02
2019年	-1.10	12.53	2.15	13.58
2020年	46.27	12.78	1.48	60.53
2021年	-	25.09	1.13	26.22
累計	71.62	299.11	78.44	449.15

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 5.55	イタリア 1.22	オーストラリア 1.17	フランス 0.44	英国 0.30	9.00	5.55
2018年	日本 4.11	オーストラリア 1.62	イタリア 0.93	英国 0.38	韓国 0.15	7.45	4.11
2019年	日本 14.68	オーストラリア 1.53	-	英国 0.81	イタリア 0.56	19.90	14.68
	-	米国 1.53	-	-	-	-	-
2020年	日本 61.09	米国 1.21	オーストラリア 0.88	英国 0.76	ドイツ 0.54	65.62	61.09
2021年	日本 26.22	米国 5.87	英国 2.34	オーストラリア 1.76	カナダ 1.21	38.03	26.22

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 12.38	IDA 8.10	OPEC Fund 7.59	Isl.Dev Bank 4.81	GCF 3.23	7.46	43.58
2018年	OPEC Fund 15.71	GCF 12.11	CIF 8.23	AsDB 7.47	IDA 4.72	5.77	54.01
2019年	IDA 28.90	AsDB 13.31	OPEC Fund 4.04	WHO 2.74	CIF 1.16	3.21	53.39
2020年	AsDB 59.09	OPEC Fund 33.68	IDA 30.76	IMF-CTF 29.53	EU Institutions 25.80	32.82	211.67
2021年	OPEC Fund 72.08	IDA 30.41	AsDB 12.33	WHO 2.70	GCF 2.45	6.97	126.93

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	18.32億円 ・人材育成奨学計画 (3件) (1.03) ・経済社会開発計画 (2件) (13.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.32) ・海上保安能力向上計画(UN連携/UNODC実施) (3.47)	・ブルーエコノミー推進に向けた持続的資源利用推進プロジェクト [22.06~25.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中央アジア・コーカサス地域

中央アジア・コーカサス地域

表-1 中央アジア・コーカサス地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	46.95 (1.4)	58.55 (1.7)	63.30 (1.9)	66.52 (1.7)	57.49 (1.4)	1,265.05
		技術協力	34.93 (1.6)	22.95 (1.2)	26.84 (1.3)	22.50 (1.4)	25.30 (1.5)	862.70
		贈与計	81.88 (1.5)	81.50 (1.5)	90.14 (1.7)	89.02 (1.6)	82.79 (1.5)	2,127.75
	政府貸付等 支出総額	326.41 (3.4)	253.30 (3.2)	426.00 (4.5)	311.46 (2.7)	381.89 (3.1)	5,267.32	
	<政府貸付等 支出純額>	<223.21>	<144.01>	<295.34>	<162.68>	<245.45>	<3,806.40>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		408.28 (2.7)	334.80 (2.5)	516.14 (3.5)	400.47 (2.4)	464.68 (2.6)	7,395.05	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<305.09>	<225.51>	<385.48>	<251.71>	<328.25>	<5,934.22>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める中央アジア・コーカサス地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 中央アジア・コーカサス地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	日本 516.14	ドイツ 423.93	フランス 402.88	米国 298.71	韓国 110.90	1,966.88	516.14
	2020	フランス 600.85	ドイツ 588.25	日本 400.47	米国 276.94	韓国 91.88	2,185.78	400.47
	2021	ドイツ 587.89	日本 464.68	米国 337.75	フランス 306.94	スイス 79.13	2,000.17	464.68
政府貸付等	2019	日本 426.00	フランス 377.54	ドイツ 192.41	韓国 58.02	オーストリア 0.55	1,054.51	426.00
	2020	フランス 571.16	ドイツ 387.25	日本 311.46	韓国 42.57	オーストリア 2.26	1,314.72	311.46
	2021	日本 381.89	ドイツ 321.30	フランス 269.50	韓国 10.54	オーストリア 0.99	984.24	381.89
無償資金協力	2019	米国 284.13	ドイツ 88.27	日本 63.30	スイス 51.67	英国 34.54	623.94	63.30
	2020	米国 271.93	スイス 77.89	日本 66.52	ドイツ 48.01	韓国 31.02	566.22	66.52
	2021	米国 332.52	ドイツ 113.17	スイス 76.51	日本 57.49	韓国 34.89	706.56	57.49
技術協力	2019	ドイツ 143.25	日本 26.84	韓国 23.50	フランス 18.83	米国 14.58	288.42	26.84
	2020	ドイツ 152.99	フランス 54.83	日本 22.50	韓国 18.28	ハンガリー 13.61	304.82	22.50
	2021	ドイツ 153.43	フランス 35.39	韓国 25.38	日本 25.30	オーストリア 18.47	309.37	25.30

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 中央アジア・コーカサス地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	EU Institutions 429.14	AsDB 424.06	IMF-CTF 399.77	IDA 299.56	GFATM 57.17	209.69	1,819.42
	2020	EU Institutions 840.82	IDA 539.01	AsDB 494.62	IMF-CTF 422.73	GFATM 54.73	289.93	2,641.89
	2021	EU Institutions 750.04	IDA 621.88	AsDB 471.80	GFATM 82.72	IFAD 38.95	193.14	2,158.45
政府貸付等	2019	IMF-CTF 399.77	AsDB 255.33	IDA 224.62	EU Institutions 120.72	IFAD 25.74	34.23	1,060.42
	2020	IDA 431.51	IMF-CTF 404.56	EU Institutions 303.65	AsDB 278.56	Isl.Dev Bank 40.91	61.53	1,520.72
	2021	IDA 492.94	EU Institutions 322.88	AsDB 277.98	IFAD 32.23	OPEC Fund 12.11	1.48	1,139.62
無償資金協力	2019	AsDB 168.74	EU Institutions 164.41	IDA 74.94	GFATM 57.17	GAVI 31.60	118.13	614.98
	2020	EU Institutions 420.49	AsDB 216.06	IDA 107.50	GFATM 54.73	GAVI 39.43	166.08	1,004.32
	2021	EU Institutions 247.47	AsDB 193.81	IDA 128.94	GFATM 82.72	GAVI 27.99	158.29	839.16
技術協力	2019	EU Institutions 144.02	-	-	-	-	-	144.02
	2020	EU Institutions 116.69	IAEA 0.15	-	-	-	-	116.84
	2021	EU Institutions 179.67	-	-	-	-	-	179.67

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] ウズベキスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,565万人	2,190ドル	5.7%	490.99億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	11.17	5.26
2019年度	1,878.90	6.78	8.83
2020年度	150.00	8.16	4.71
2021年度	210.60	11.30	10.19
2022年度	216.00	4.37	8.91

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	5,280.16	296.90	214.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	235.51	3.65	5.86	245.01
2018年	179.85	3.36	6.17	189.38
2019年	366.83	11.24	6.09	384.16
2020年	255.37	7.97	7.83	271.17
2021年	335.31	6.69	6.37	348.37
累計	2,146.31	244.21	232.63	2,623.16

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 272.74	韓国 58.80	ドイツ 21.00	米国 10.62	スイス 8.11	378.61	272.74
2018年	日本 217.55	韓国 37.40	ドイツ 21.48	米国 10.94	フランス 4.11	299.25	217.55
2019年	日本 412.69	フランス 176.06	韓国 69.39	ドイツ 21.40	米国 18.95	710.94	412.69
2020年	日本 312.83	フランス 231.29	韓国 58.46	ドイツ 34.82	米国 22.51	677.71	312.83
2021年	日本 388.90	韓国 42.61	米国 39.74	ドイツ 25.86	フランス 17.42	530.71	388.90

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 174.52	IDA 72.06	EU Institutions 19.82	GFATM 17.93	GAVI 4.73	22.75	311.80
2018年	IDA 665.86	AsDB 60.77	EU Institutions 27.79	GFATM 10.08	GAVI 7.63	18.25	790.37
2019年	AsDB 195.35	IDA 168.79	EU Institutions 27.32	GAVI 19.22	GFATM 15.49	26.74	452.90
2020年	IDA 383.36	AsDB 202.36	IMF-CTF 128.21	EU Institutions 52.13	GAVI 24.37	60.51	850.95
2021年	IDA 428.72	AsDB 127.41	EU Institutions 61.99	IFAD 26.56	GAVI 19.91	36.07	700.63

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	216.00億円	4.38億円	なし
	・園芸作物バリューチェーン強化計画(フェーズ2) (216.00)	・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.49) ・人材育成奨学計画 (5件) (2.85) ・デジタルアーカイブを通じたシルクロード文化遺産保存計画 (0.56) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.48)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] カザフスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,962万人	9,620ドル	3.2%	1,617.21億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カザフスタン援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.38	0.61
2019年度	-	0.33	1.13
2020年度	-	4.10	0.86
2021年度	-	0.32	1.00
2022年度	-	0.54	1.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カザフスタン援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	951.49	69.10	139.15

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カザフスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-40.62	0.28	1.35	-38.98
2018年	-41.26	0.39	0.76	-40.10
2019年	-41.78	0.35	1.05	-40.38
2020年	-42.68	0.31	1.15	-41.22
2021年	-37.98	3.71	1.05	-33.22
累計	298.49	56.50	156.85	511.87

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 20.18	ドイツ 18.04	フランス 4.29	オーストリア 2.60	韓国 1.88	53.74	1.63
2018年	米国 18.95	ドイツ 17.87	フランス 4.18	オーストリア 3.12	英国 2.43	54.36	1.15
2019年	ドイツ 17.90	米国 15.94	ハンガリー 3.97	英国 3.59	フランス 3.35	54.60	1.40
2020年	ドイツ 21.02	米国 14.19	ハンガリー 4.43	フランス 3.76	英国 3.62	57.80	1.46
2021年	ドイツ 19.20	米国 15.64	ハンガリー 4.90	日本 4.76	フランス 3.53	59.65	4.76

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 12.07	GFATM 7.86	GEF 5.73	OSCE 2.18	UNHCR 1.39	5.36	34.60
2018年	GFATM 6.25	EU Institutions 4.26	GEF 3.97	OSCE 2.37	AsDB 1.75	3.86	22.44
2019年	GFATM 7.24	GEF 3.98	AsDB 3.34	GCF 3.00	EU Institutions 2.56	6.87	27.00
2020年	GFATM 5.85	GEF 3.85	AsDB 2.45	OSCE 2.10	UNHCR 1.59	5.82	21.65
2021年	GFATM 7.98	AsDB 4.11	OSCE 2.35	EU Institutions 1.67	UNICEF 1.45	7.84	25.38

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.54億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (4件) (0.54)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] キルギス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
698万人	1,440ドル	6.3%	95.25億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キルギス援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	17.06	12.61
2019年度	-	17.47	10.36
2020年度	-	14.83	5.80
2021年度	-	12.99	10.47
2022年度	-	21.86	8.77

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キルギス援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	375.80	367.91	226.99

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キルギス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.51	17.31	11.64	28.44
2018年	-3.82	16.97	8.20	21.35
2019年	-9.02	16.88	10.47	18.33
2020年	-9.53	15.64	6.75	12.86
2021年	-4.00	9.71	6.91	12.62
累計	224.01	273.79	225.15	722.95

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 52.50	ドイツ 35.08	日本 28.95	スイス 26.17	韓国 12.02	163.33	28.95
2018年	米国 47.10	ドイツ 36.68	日本 26.34	スイス 20.18	韓国 5.83	145.41	26.34
2019年	米国 48.10	ドイツ 32.63	日本 27.91	スイス 22.54	韓国 9.37	152.11	27.91
2020年	米国 45.08	ドイツ 24.66	スイス 24.09	日本 22.72	韓国 12.56	141.62	22.72
2021年	米国 48.70	ドイツ 41.44	スイス 27.36	日本 17.44	韓国 10.83	160.35	17.44

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 79.46	IDA 40.74	EU Institutions 31.87	IMF-CTF 26.38	Isl.Dev Bank 13.20	38.80	230.45
2018年	AsDB 59.88	IDA 57.33	EU Institutions 42.63	GFATM 12.84	IFAD 12.58	31.16	216.43
2019年	AsDB 87.60	IDA 48.13	EU Institutions 37.07	Isl.Dev Bank 16.03	IFAD 12.29	32.06	233.20
2020年	AsDB 93.22	IMF-CTF 82.46	EU Institutions 76.45	IDA 40.37	Isl.Dev Bank 22.01	32.61	347.14
2021年	AsDB 167.33	EU Institutions 75.80	IDA 46.59	GFATM 18.81	IMF-CTF 8.56	26.96	344.03

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	21.86億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (0.80)	・キルギス共和国日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト [22.04~26.03]
		・人材育成奨学計画 (5件) (2.99)	
		・ビシュケク市及びチュイ州における医療機材整備計画 (9.99)	
		・バトケン州における道路維持管理機材及び舗装機材整備計画 (7.00)	
		・キルギス共和国における人道状況の悪化を受けた緊急無償資金協力(UNHCR連携) (0.54)	
		・同上案件(WFP連携) (0.54)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] タジキスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
995万人	1,210ドル	8.0%	67.45億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

表-1-1 我が国の対タジキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	8.11	5.99
2019年度	-	35.59	5.40
2020年度	-	25.09	7.28
2021年度	-	19.97	9.13
2022年度	-	10.60	8.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タジキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	451.29	115.23

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タジキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.86	7.23	24.09
2018年	-	33.94	3.95	37.89
2019年	-	16.75	5.60	22.35
2020年	-	22.40	4.26	26.66
2021年	-	21.98	8.30	30.28
累計	-	360.20	102.34	462.54

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 36.33	ドイツ 24.31	日本 24.09	スイス 19.84	英国 2.96	113.49	24.09
2018年	日本 37.89	米国 36.43	ドイツ 33.02	スイス 24.04	英国 6.84	142.29	37.89
2019年	米国 33.57	ドイツ 27.19	日本 22.35	スイス 19.15	韓国 3.49	112.25	22.35
2020年	米国 32.41	日本 26.66	スイス 20.68	ドイツ 19.09	英国 5.72	116.27	26.66
2021年	米国 49.39	日本 30.28	スイス 21.22	ドイツ 17.52	韓国 6.26	134.42	30.28

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AsDB 111.95	IDA 34.78	EU Institutions 22.94	GFATM 19.08	CIF 12.86	42.95	244.55
2018年	IDA 85.37	AsDB 71.68	EU Institutions 43.50	Isl.Dev Bank 15.01	IFAD 7.57	40.63	263.73
2019年	AsDB 92.50	IDA 71.02	EU Institutions 34.19	GFATM 8.06	OSCE 7.40	43.49	256.66
2020年	IMF-CTF 212.06	AsDB 170.49	IDA 96.16	EU Institutions 26.13	CIF 21.55	89.82	616.23
2021年	AsDB 134.15	IDA 128.82	EU Institutions 102.59	GFATM 14.09	IFAD 9.97	43.17	432.78

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	10.60億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.30) ・草の根・人間の安全保障無償 (12件) (1.56) ・人材育成奨学計画 (5件) (2.54) ・アフガニスタンとの国境地域コミュニティのための人間の安全保障アプローチを適用した効果的な国境管理促進計画(UNDP連携) ・タジキスタン国立文書館書籍の保存、デジタル化及び利用のための機材整備計画 (0.84)	・プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト [22.12~26.03] ・SHEPアプローチを通じた農業普及サービス改善プロジェクト [22.04~26.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] トルクメニスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
643万人	-	1.7%	45.09億ドル	高中所得国	iv / -

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	1.05
2019年度	-	-	0.72
2020年度	-	2.98	0.37
2021年度	-	0.10	0.27
2022年度	-	-	0.47

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.05	9.51	14.08

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.95	-	1.93	-0.02
2018年	-1.98	0.15	0.40	-1.43
2019年	-2.00	-	1.52	-0.48
2020年	-2.05	-	0.27	-1.78
2021年	-1.99	2.71	0.49	1.21
累計	5.76	8.32	16.81	30.91

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 2.99	日本 1.93	ドイツ 1.26	韓国 0.41	英国 0.29	7.39	1.93
2018年	米国 3.11	ドイツ 1.60	韓国 1.32	フランス 0.70	日本 0.55	8.01	0.55
2019年	米国 4.41	韓国 3.97	ドイツ 1.58	日本 1.52	英国 0.79	13.55	1.52
2020年	米国 3.68	ドイツ 1.75	韓国 1.45	英国 0.70	ハンガリー 0.41	9.09	0.27
2021年	米国 4.57	日本 3.20	ドイツ 1.42	韓国 1.25	英国 0.51	12.25	3.20

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 3.78	GEF 3.07	GFATM 2.28	OSCE 1.69	UNICEF 0.96	1.27	13.05
2018年	EU Institutions 6.32	GEF 2.57	GFATM 1.81	OSCE 1.77	UNICEF 0.83	1.65	14.95
2019年	EU Institutions 4.06	GFATM 2.25	OSCE 1.69	UNICEF 1.14	UNFPA 0.74	1.57	11.47
2020年	OPEC Fund 10.00	GFATM 2.84	EU Institutions 2.64	GEF 1.58	UNICEF 1.06	1.73	19.85
2021年	GFATM 3.84	EU Institutions 3.46	OSCE 1.78	Joint SDG Fund 1.04	GEF 0.96	3.48	14.57

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] アゼルバイジャン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,014万人	5,660ドル	4.6%	152.77億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.31	0.33
2019年度	-	0.89	0.38
2020年度	-	2.66	0.20
2021年度	-	1.01	0.71
2022年度	-	0.67	0.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,011.62	106.81	37.54

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	28.56	1.15	0.43	30.14
2018年	21.17	1.17	0.43	22.77
2019年	-3.65	1.63	0.36	-1.66
2020年	-21.05	0.53	0.28	-20.24
2021年	-27.75	3.68	0.25	-23.81
累計	699.73	93.60	40.15	833.47

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 49.97	ドイツ 28.64	韓国 14.67	米国 14.14	フランス 3.06	119.66	49.97
2018年	ドイツ 48.61	日本 42.91	フランス 25.84	韓国 21.79	米国 12.77	167.93	42.91
2019年	フランス 58.40	ドイツ 45.34	日本 31.53	韓国 20.63	米国 12.84	186.40	31.53
2020年	フランス 118.62	ドイツ 38.10	日本 13.65	米国 12.14	韓国 8.85	214.17	13.65
2021年	フランス 47.88	ドイツ 15.90	米国 13.27	日本 9.16	韓国 4.84	110.54	9.16

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 61.92	EU Institutions 24.73	GFATM 9.38	GEF 3.39	AsDB 1.13	4.99	105.54
2018年	EU Institutions 23.73	IDA 7.72	GFATM 4.85	GEF 3.26	AsDB 2.30	5.79	47.65
2019年	EU Institutions 19.16	GFATM 5.33	IFAD 2.39	UNHCR 1.82	OPEC Fund 1.77	7.23	37.72
2020年	EU Institutions 26.26	GFATM 5.10	UNHCR 3.11	AsDB 2.67	GEF 1.61	4.21	42.96
2021年	EU Institutions 26.66	GFATM 7.18	CERF 2.00	UNICEF 1.29	GEF 1.07	5.61	43.80

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.67億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (7件) (0.67)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] アルメニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
278万人	5,960ドル	12.6%	147.15億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルメニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.73	0.48
2019年度	-	0.78	1.84
2020年度	-	4.52	0.37
2021年度	-	0.75	0.65
2022年度	-	1.05	0.75

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルメニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	318.08	98.34	48.63

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルメニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-10.01	0.34	3.87	-5.80
2018年	-10.16	1.77	0.55	-7.85
2019年	-10.29	15.47	1.09	6.27
2020年	-10.51	0.98	0.93	-8.60
2021年	-10.23	8.08	0.44	-1.71
累計	228.60	91.50	44.93	365.03

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 95.65	フランス 40.71	米国 27.19	オーストリア 4.62	日本 4.21	182.39	4.21
2018年	ドイツ 100.08	米国 28.36	フランス 23.18	オーストリア 2.98	スイス 2.68	167.42	2.32
2019年	ドイツ 85.55	米国 28.33	日本 16.56	フランス 13.35	スイス 4.73	161.67	16.56
2020年	ドイツ 35.78	米国 32.40	フランス 24.74	スイス 5.13	スウェーデン 4.68	114.20	1.91
2021年	ドイツ 85.79	米国 39.59	フランス 39.10	日本 8.52	英国 5.79	201.87	8.52

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 101.35	OPEC Fund 29.51	AsDB 16.70	IDA 10.07	GFATM 2.73	9.12	169.48
2018年	EU Institutions 62.49	IDA 11.25	AsDB 9.50	GFATM 5.17	OPEC Fund 2.31	10.03	100.75
2019年	IMF-CTF 368.21	EU Institutions 38.77	AsDB 7.57	IDA 5.19	GFATM 4.08	13.65	437.45
2020年	EU Institutions 137.80	IDA 9.45	CIF 6.30	AsDB 4.89	GFATM 3.70	12.43	174.58
2021年	EU Institutions 107.05	AsDB 20.17	GFATM 7.67	GCF 6.36	IDA 3.24	14.00	158.50

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	1.05億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.95) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ジョージア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
371万人	5,600ドル	10.4%	239.82億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジョージア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	387.35	0.59	0.83
2019年度	-	1.05	0.62
2020年度	-	3.71	0.40
2021年度	-	1.10	2.36
2022年度	-	5.92	1.45

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジョージア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	661.99	127.75	29.09

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジョージア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.23	0.89	0.96	14.08
2018年	0.21	0.80	1.92	2.93
2019年	-4.75	0.98	0.41	-3.36
2020年	-6.87	3.34	0.45	-3.07
2021年	-7.91	0.93	1.03	-5.95
累計	203.50	104.59	28.87	336.98

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 96.55	ドイツ 48.71	日本 16.63	スウェーデン 14.37	オーストリア 8.67	224.47	16.63
2018年	ドイツ 110.41	フランス 104.43	米国 100.94	スウェーデン 14.81	デンマーク 12.28	391.20	5.52
2019年	フランス 150.26	ドイツ 113.80	米国 95.87	スペイン 16.87	スウェーデン 14.83	432.40	1.93
2020年	ドイツ 356.92	フランス 221.27	米国 71.79	スウェーデン 16.18	スイス 8.93	720.58	5.04
2021年	ドイツ 283.77	フランス 196.54	米国 73.30	スウェーデン 18.87	スイス 10.08	622.20	1.96

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 269.07	AsDB 38.78	GFATM 10.22	IDA 9.07	OPEC Fund 6.00	7.74	340.88
2018年	EU Institutions 289.88	AsDB 31.10	GFATM 8.15	IDA 7.89	UNHCR 2.65	7.91	347.57
2019年	EU Institutions 207.65	IMF-CTF 31.56	AsDB 27.69	GFATM 8.86	IFAD 3.83	10.74	290.31
2020年	EU Institutions 481.40	AsDB 13.23	GCF 8.18	IDA 5.81	GFATM 4.14	9.43	522.19
2021年	EU Institutions 305.16	GFATM 10.54	AsDB 10.00	IDA 9.57	UNHCR 2.05	10.58	347.89

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.92億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.84) ・経済社会開発計画 (1件) (5.00) ・草の根文化無償 (1件) (0.08)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中南米地域

中南米地域

表－1 中南米地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	84.95 (2.6)	131.61 (3.9)	119.52 (3.6)	127.00 (3.3)	135.58 (3.4)	7,352.01
		技術協力	155.99 (7.0)	120.43 (6.3)	115.04 (5.8)	89.24 (5.4)	108.57 (6.5)	8,526.75
		贈与計	240.94 (4.4)	252.04 (4.8)	234.56 (4.4)	216.24 (4.0)	244.15 (4.3)	15,878.76
	政府貸付等 支出総額	128.26 (1.3)	196.67 (2.5)	174.30 (1.9)	417.52 (3.7)	463.70 (3.8)	13,612.24	
	<政府貸付等 支出純額>	<- 588.09>	<- 64.11>	<- 77.08>	<164.22>	<233.60>	<583.43>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		369.19 (2.4)	448.71 (3.4)	408.87 (2.8)	633.77 (3.8)	707.86 (4.0)	29,491.02	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<- 347.19>	<187.92>	<157.50>	<380.46>	<477.79>	<16,457.25>	

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める中南米地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中南米地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	米国 2,089.95	ドイツ 1,610.93	フランス 957.58	カナダ 471.76	日本 408.87	7,204.58	408.87
	2020	米国 2,207.75	ドイツ 1,956.60	フランス 1,856.80	日本 633.77	カナダ 566.01	8,980.55	633.77
	2021	米国 2,868.68	フランス 2,226.08	ドイツ 1,425.95	カナダ 779.51	日本 707.86	9,987.55	707.86
政府貸付等	2019	ドイツ 760.82	フランス 748.96	日本 174.30	カナダ 96.83	韓国 94.85	1,909.87	174.30
	2020	フランス 1,621.06	ドイツ 1,164.26	日本 417.52	カナダ 143.38	イタリア 119.80	3,574.37	417.52
	2021	フランス 1,970.70	ドイツ 504.81	日本 463.70	韓国 205.12	カナダ 198.66	3,502.09	463.70
無償資金協力	2019	米国 2,027.80	ドイツ 354.71	スペイン 301.12	カナダ 235.46	英国 225.60	4,049.81	119.52
	2020	米国 2,157.20	スペイン 354.18	カナダ 288.99	ドイツ 281.29	英国 280.43	4,248.45	127.00
	2021	米国 2,825.19	カナダ 479.26	ドイツ 378.20	スペイン 371.28	スイス 223.46	5,175.12	135.58
技術協力	2019	ドイツ 495.38	フランス 140.92	カナダ 139.47	日本 115.04	英国 91.05	1,244.89	115.04
	2020	ドイツ 511.05	フランス 170.40	カナダ 133.64	日本 89.24	英国 76.46	1,157.71	89.24
	2021	ドイツ 542.92	フランス 260.31	日本 108.57	カナダ 101.61	英国 89.85	1,310.34	108.57

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 中南米地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	EU Institutions 933.92	IDB 825.87	IDA 307.18	IMF-CTF 286.05	CDB 180.48	720.65	3,254.06
	2020	EU Institutions 1,439.04	IDB 1,042.48	IDA 497.30	CABEI 476.97	IMF-CTF 427.83	1,164.11	5,047.69
	2021	EU Institutions 1,228.02	IDB 967.30	IDA 570.87	CABEI 401.16	GFATM 158.82	993.83	4,319.99
政府貸付等	2019	IDB 759.85	IMF-CTF 286.05	IDA 202.43	EU Institutions 165.57	OPEC Fund 60.75	13.24	1,487.89
	2020	IDB 934.88	EU Institutions 535.17	CABEI 476.97	IMF-CTF 416.59	IDA 356.81	151.82	2,872.24
	2021	IDB 690.02	IDA 408.99	CABEI 384.07	EU Institutions 368.31	OPEC Fund 122.31	104.45	2,078.18
無償資金協力	2019	EU Institutions 607.25	CDB 180.48	GFATM 114.74	IDA 104.74	GEF 59.15	531.51	1,597.81
	2020	EU Institutions 727.73	GCF 205.94	CDB 158.74	IDA 140.49	GFATM 133.05	631.49	1,997.39
	2021	EU Institutions 676.65	IDB 277.28	IDA 161.88	GFATM 158.82	GCF 141.30	642.83	2,058.76
技術協力	2019	EU Institutions 161.11	IDB 7.27	-	-	-	-	168.37
	2020	EU Institutions 176.14	IAEA 1.90	-	-	-	-	178.09
	2021	EU Institutions 183.04	-	-	-	-	-	183.04

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アルゼンチン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,624万人	11,590ドル	5.0%	2,476.81億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.28	4.57
2019年度	-	0.30	4.70
2020年度	-	5.16	3.43
2021年度	-	0.24	4.25
2022年度	-	0.19	3.97

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	81.50	69.34	512.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルゼンチン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-10.26	0.81	6.24	-3.21
2018年	-15.61	0.26	3.85	-11.50
2019年	-16.19	0.30	4.26	-11.62
2020年	-1.17	0.22	2.91	1.96
2021年	-1.87	4.72	4.11	6.96
累計	-13.29	52.31	515.69	548.91

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	イタリア 99.22	ドイツ 20.59	フランス 11.20	日本 7.05	英国 3.42	149.19	7.05
2018年	ドイツ 26.77	フランス 22.21	米国 4.54	日本 4.11	英国 3.17	68.09	4.11
2019年	ドイツ 24.59	フランス 10.56	英国 5.75	日本 4.56	米国 4.26	56.89	4.56
2020年	ドイツ 23.24	フランス 11.90	米国 6.03	英国 4.67	日本 3.13	56.71	3.13
2021年	スペイン 16.03	フランス 13.53	ドイツ 11.92	日本 8.83	米国 5.49	70.56	8.83

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	OPEC Fund 5.40	IDB 4.84	EU Institutions 4.06	UNHCR 3.80	GEF 2.36	5.20	25.66
2018年	EU Institutions 75.85	IDB 3.17	ILO 2.14	GEF 1.99	Adaptation Fund 1.58	3.75	88.47
2019年	IMF-CTF 183.54	EU Institutions 21.39	GCF 4.14	OPEC Fund 3.59	IDB 2.54	9.21	224.42
2020年	EU Institutions 24.32	OPEC Fund 18.00	IDB 3.50	UNHCR 2.94	Adaptation Fund 2.80	6.58	58.12
2021年	EU Institutions 34.28	OPEC Fund 30.25	CABEI 21.59	GEF 3.78	UNHCR 2.18	10.35	102.42

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.19億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.19)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] アンティグア・バーブーダ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9.4万人	19,050ドル	9.5%	-	(2022年卒業)	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.08	0.12
2019年度	-	0.10	0.06
2020年度	-	2.00	0.05
2021年度	-	-	0.03
2022年度	-	-	0.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	67.57	9.81

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.79	0.43	2.22
2018年	-	1.99	0.18	2.17
2019年	-	1.91	0.02	1.93
2020年	-	0.10	0.05	0.15
2021年	-	1.82	0.04	1.86
累計	-	61.76	9.43	71.19

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 2.22	オーストラリア 0.37	スイス 0.11	カナダ 0.07	韓国 0.05	2.95	2.22
2018年	日本 2.17	カナダ 0.16	英国 0.13	韓国 0.09	オーストラリア 0.05	2.64	2.17
2019年	日本 1.93	イタリア 0.50	英国 0.33	カナダ 0.04	オーストラリア 0.02	2.85	1.93
	-	-	-	-	フランス 0.02	-	-
2020年	カナダ 0.52	イタリア 0.47	アイルランド 0.34	英国 0.25	日本 0.15	1.89	0.15
2021年	日本 1.86	カナダ 0.16	スペイン 0.13	-	オーストラリア 0.06	2.37	1.86
	-	-	英国 0.13	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 2.48	CERF 2.15	Adaptation Fund 1.57	GCF 0.38	ILO 0.09	0.20	6.87
2018年	CDB 9.08	GCF 0.81	EU Institutions 0.79	ILO 0.08	IAEA 0.05	0.02	10.88
	-	-	-	-	GEF 0.05	-	-
2019年	CDB 8.30	Adaptation Fund 5.72	EU Institutions 4.43	GCF 1.57	ILO 0.44	0.52	20.97
2020年	CDB 14.44	CIF 5.04	EU Institutions 2.88	GEF 0.27	FAO 0.11	0.09	22.84
2021年	UN COVID-19 MPTF 0.73	EU Institutions 0.67	ILO 0.14	FAO 0.06	ITC 0.01	0.00	1.61

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協カプロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] ウルグアイ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
342万人	18,000ドル	4.9%	-	(2018年卒業)	iv/ 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.42	0.99
2019年度	-	0.19	0.56
2020年度	-	0.23	0.16
2021年度	-	1.03	0.32
2022年度	-	0.21	0.46

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	71.66	24.83	157.19

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウルグアイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.58	1.29	1.87
2018年	-	0.30	0.93	1.23
2019年	-	0.39	0.59	0.98
2020年	-	0.08	0.13	0.21
2021年	-	1.01	0.22	1.23
累計	-2.97	22.64	137.64	157.34

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 28.17	フランス 2.27	日本 1.87	スペイン 1.12	イタリア 0.89	36.48	1.87
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 3.85	EU Institutions 1.14	ILO 1.00	-	GEF 0.89	1.52	9.40
	-	-	UNICEF 1.00	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.21億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (3件) (0.21)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] エクアドル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,800万人	6,300ドル	2.9%	606.85億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エクアドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	77.98	4.92	13.20
2019年度	-	5.44	5.46
2020年度	-	9.16	2.51
2021年度	-	1.99	6.35
2022年度	230.00	2.93	3.25

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エクアドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	944.16	389.36	291.00

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エクアドル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.86	6.82	4.96	2.91
2018年	-6.74	2.65	4.46	0.37
2019年	-4.54	7.85	10.95	14.26
2020年	-4.63	2.02	4.05	1.44
2021年	1.30	8.21	2.55	12.07
累計	-79.17	331.84	258.11	510.79

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 40.94	韓国 34.73	ドイツ 31.40	米国 19.19	日本 11.78	167.99	11.78
2018年	フランス 102.82	ドイツ 50.41	韓国 24.49	米国 18.45	スペイン 14.18	246.10	7.11
2019年	フランス 237.36	ドイツ 44.84	米国 32.46	韓国 24.12	日本 18.80	416.15	18.80
2020年	フランス 142.44	米国 58.80	ドイツ 34.41	スペイン 19.20	韓国 9.93	290.69	6.07
2021年	米国 73.24	フランス 63.37	ドイツ 43.87	スペイン 32.29	日本 15.99	269.96	15.99

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 65.01	UNHCR 11.18	GCF 7.90	IDB 6.98	GEF 4.47	5.71	101.24
2018年	EU Institutions 179.87	IDB 7.38	UNHCR 6.66	GEF 5.07	WFP 2.17	8.37	209.53
2019年	EU Institutions 77.50	IMF-CTF 43.59	GCF 11.42	GEF 6.91	UNHCR 5.02	15.19	159.64
2020年	EU Institutions 58.20	GCF 30.16	GEF 7.20	IDB 3.07	GFATM 2.86	9.45	110.93
2021年	EU Institutions 64.22	GCF 9.10	UNHCR 6.02	GFATM 4.02	IDB 3.40	13.75	100.50

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	230.00億円	2.92億円	
	・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款 (230.00)	・草の根・人間の安全 保障無償 (17件) (1.60) ・マナビ県における博物館免震 機材整備計画 (1.23) ・草の根文化無償 (1件) (0.09)	・無収水対策能力強化プロ ジェクト [22.10~ 26.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] エルサルバドル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
634万人	4,720ドル	2.6%	212.99億ドル	低中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.19	9.72
2019年度	-	6.34	7.86
2020年度	-	4.10	5.51
2021年度	55.48	2.20	9.72
2022年度	-	2.84	5.58

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	637.08	392.24	292.37

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-13.83	0.46	6.40	-6.97
2018年	-14.00	5.09	8.23	-0.68
2019年	-12.35	1.74	6.99	-3.62
2020年	32.88	5.13	3.70	41.71
2021年	2.65	4.77	6.87	14.29
累計	88.97	344.04	259.09	692.09

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 83.00	スペイン 27.29	ドイツ 23.35	日本 9.18	韓国 7.39	176.70	9.18
2018年	米国 137.50	スペイン 42.21	日本 15.73	ドイツ 14.17	フランス 13.57	254.87	15.73
2019年	米国 196.82	スペイン 42.02	フランス 19.85	ドイツ 13.64	日本 13.00	303.93	13.00
2020年	米国 191.01	日本 62.76	スペイン 46.01	フランス 20.69	ドイツ 9.46	355.60	62.76
2021年	米国 105.37	日本 38.71	スペイン 37.90	フランス 28.23	韓国 23.61	260.34	38.71

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 17.80	GFATM 10.79	IDB 4.41	OPEC Fund 1.83	UNICEF 1.05	4.50	40.38
2018年	EU Institutions 41.10	GFATM 8.44	IDB 3.94	WFP 3.75	UNPBF 2.11	6.63	65.95
2019年	EU Institutions 32.04	GFATM 6.61	GCF 5.64	WFP 3.05	UNPBF 2.23	9.94	59.52
2020年	EU Institutions 15.52	GFATM 9.55	IDB 4.40	WFP 3.40	CERF 3.00	10.33	46.20
2021年	UNPBF 5.45	GFATM 5.37	EU Institutions 5.16	WFP 4.19	IDB 2.19	9.05	31.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.84億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (1.29) ・人材育成奨学計画 (3件) (1.45) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ガイアナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
80.9万人	14,920ドル	63.4%	23.87億ドル	高中所得国	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガイアナ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	18.48	1.48
2019年度	-	0.10	0.31
2020年度	-	-	0.03
2021年度	-	-	0.07
2022年度	-	-	0.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガイアナ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	160.01	20.27

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガイアナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	1.13	1.13
2018年	-	0.26	1.40	1.66
2019年	-	2.70	0.13	2.83
2020年	-	9.71	0.19	9.90
2021年	-	0.76	0.06	0.82
累計	-0.39	119.74	19.25	138.60

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 6.07	ノルウェー 5.04	英国 1.77	日本 1.13	カナダ 0.74	15.54	1.13
2018年	米国 5.26	ノルウェー 3.46	日本 1.66	英国 1.50	カナダ 1.48	14.05	1.66
2019年	ノルウェー 47.70	米国 3.78	日本 2.83	英国 2.58	カナダ 1.56	59.32	2.83
2020年	日本 9.90	ノルウェー 2.93	米国 2.57	カナダ 2.21	英国 2.15	20.70	9.90
2021年	米国 6.41	カナダ 4.83	ノルウェー 4.24	英国 1.99	日本 0.82	20.99	0.82

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 18.86	EU Institutions 10.62	IDA 9.05	CDB 8.76	GFATM 2.75	4.99	55.03
2018年	IDA 41.45	EU Institutions 28.78	IDB 28.31	CDB 3.95	UNICEF 1.97	5.70	110.15
2019年	IDB 34.41	CDB 12.99	IDA 8.56	EU Institutions 3.83	UNICEF 2.35	6.13	68.27
2020年	IDB 21.24	EU Institutions 11.24	CDB 6.71	IDA 4.82	UNICEF 1.94	2.88	48.81
2021年	IDB 110.23	EU Institutions 10.09	IDA 6.72	CDB 3.93	GFATM 3.21	4.78	138.96

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] キューバ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,121万人	-	1.8%	-	高中所得国	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キューバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	35.03	7.25
2019年度	-	0.38	5.55
2020年度	-	5.00	1.88
2021年度	-	3.26	4.41
2022年度	-	0.28	3.39

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キューバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	115.03	90.51

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キューバ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	32.35	3.37	35.72
2018年	-	41.02	6.46	47.48
2019年	-	10.72	3.50	14.22
2020年	-	6.75	3.57	10.32
2021年	-	8.13	2.03	10.16
累計	-	135.50	88.06	223.56

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 101.82	イタリア 96.21	日本 35.72	スイス 14.61	オーストリア 10.21	314.38	35.72
2018年	フランス 134.23	日本 47.48	オーストリア 13.23	ベルギー 12.55	スイス 11.77	270.41	47.48
2019年	日本 14.22	フランス 13.76	米国 13.63	スイス 13.41	イタリア 11.99	97.06	14.22
2020年	フランス 21.28	オーストリア 14.76	スイス 14.75	日本 10.32	米国 10.01	111.18	10.32
2021年	フランス 16.83	イタリア 15.80	スイス 13.32	日本 10.16	米国 8.04	89.70	10.16

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	OPEC Fund 13.65	EU Institutions 11.17	CERF 8.00	GFATM 5.05	GEF 3.17	3.33	44.38
2018年	OPEC Fund 15.15	EU Institutions 12.47	GFATM 6.02	GEF 1.78	UNICEF 1.31	3.07	39.79
2019年	EU Institutions 20.15	GFATM 5.48	OPEC Fund 4.27	CERF 2.00	GEF 1.62	5.22	38.74
2020年	EU Institutions 25.54	GCF 8.32	GEF 5.50	GFATM 3.31	UNICEF 1.02	2.39	46.07
2021年	EU Institutions 25.39	GFATM 13.53	GCF 2.27	GEF 1.94	UNICEF 0.86	3.62	47.61

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.28億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (3件) (0.28)	・画像診断における病院の デジタル化促進プロジェクト [22.04～ 25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] グアテマラ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,736万人	5,350ドル	4.1%	249.92億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グアテマラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	1.14	3.22
2019年度	-	0.62	5.93
2020年度	-	8.86	4.01
2021年度	-	4.02	8.48
2022年度	-	0.85	6.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グアテマラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	367.75	451.87	338.81

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グアテマラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-9.23	0.52	6.45	-2.27
2018年	6.38	0.96	3.69	11.03
2019年	4.06	1.39	4.85	10.31
2020年	21.29	2.89	3.24	27.42
2021年	0.66	6.44	4.80	11.90
累計	161.03	393.79	290.05	844.87

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 211.37	スウェーデン 28.30	ドイツ 21.20	スペイン 18.91	カナダ 9.36	326.26	7.92
2018年	米国 200.97	スペイン 34.58	ドイツ 32.83	スウェーデン 32.24	日本 21.38	368.61	21.38
2019年	米国 187.75	ドイツ 26.96	スウェーデン 26.83	日本 23.33	スペイン 23.31	348.22	23.33
2020年	米国 151.04	日本 42.00	スウェーデン 30.01	スペイン 28.28	ドイツ 23.81	312.77	42.00
2021年	米国 257.50	スウェーデン 38.97	スペイン 35.52	ドイツ 27.23	日本 24.70	436.94	24.70

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 42.74	IDB 34.46	GFATM 9.86	GEF 7.18	WFP 3.13	11.70	109.07
2018年	EU Institutions 21.42	IDB 19.36	GFATM 11.75	UNPBF 5.79	GEF 2.85	11.08	72.25
2019年	EU Institutions 43.10	IDB 16.78	GFATM 6.51	UNPBF 3.29	WFP 3.10	13.63	86.39
2020年	IDB 284.22	EU Institutions 32.34	GFATM 13.19	CERF 7.52	WFP 3.60	15.74	356.61
2021年	EU Institutions 41.31	CABEI 35.59	GFATM 12.61	UNHCR 5.79	UNPBF 5.49	22.01	122.78

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.85億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.68) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.17)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] グレナダ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
12.5万人	9,070ドル	6.4%	6.70億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グレナダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.08	0.06
2019年度	-	2.00	0.05
2020年度	-	2.00	0.01
2021年度	-	-	0.02
2022年度	-	-	0.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グレナダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	65.79	11.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グレナダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.09	0.12	0.21
2018年	-	0.08	0.05	0.13
2019年	-	0.07	0.05	0.12
2020年	-	1.87	0.01	1.88
2021年	-	1.82	0.01	1.83
累計	-	60.59	10.36	70.95

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 1.18	フランス 0.23	日本 0.21	カナダ [※] 0.11	-	2.07	0.21
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-
2018年	ドイツ 0.89	英国 0.24	カナダ [※] 0.15	日本 0.13	ニュージーランド 0.07	1.53	0.13
2019年	ドイツ 0.61	イタリア 0.50	カナダ [※] 0.34	韓国 0.18	英国 0.15	1.98	0.12
2020年	日本 1.88	カナダ [※] 0.86	ドイツ 0.42	ニュージーランド 0.07	-	3.33	1.88
	-	-	-	英国 0.07	-	-	-
2021年	日本 1.83	ドイツ 0.73	カナダ [※] 0.48	英国 0.13	ニュージーランド 0.06	3.30	1.83

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 9.32	IMF-CTF 2.77	EU Institutions 1.54	CDB 1.42	GEF 1.01	0.71	16.78
2018年	IDA 33.28	CIF 2.86	CDB 1.16	GEF 0.63	EU Institutions 0.51	0.60	39.04
2019年	IMF-CTF 13.65	CDB 5.96	IDA 3.01	OPEC Fund 2.58	EU Institutions 1.82	2.21	29.23
2020年	IDA 26.76	IMF-CTF 22.84	CDB 11.32	OPEC Fund 5.15	GCF 4.84	2.16	73.07
2021年	IDA 31.59	GCF 16.79	CIF 14.33	CDB 8.32	IFAD 1.38	1.26	73.67

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] コスタリカ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
518万人	12,920ドル	4.6%	389.46億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コスタリカ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.38	3.30
2019年度	-	0.24	3.25
2020年度	-	3.38	1.54
2021年度	-	0.15	0.61
2022年度	-	0.21	1.12

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コスタリカ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,021.56	67.45	243.08

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コスタリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	34.25	0.35	4.37	38.97
2018年	25.95	3.15	2.99	32.09
2019年	14.93	0.52	3.24	18.69
2020年	-4.31	0.05	1.92	-2.34
2021年	-10.22	3.40	0.88	-5.93
累計	180.98	63.36	218.98	463.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 55.74	米国 9.92	ドイツ 9.36	フランス 4.45	韓国 1.84	86.52	55.74
2018年	日本 48.74	ドイツ 11.66	米国 10.53	フランス 4.38	カナダ 1.09	81.05	48.74
2019年	日本 35.16	米国 11.15	ドイツ 10.57	フランス 4.23	韓国 2.71	68.08	35.16
2020年	フランス 151.02	米国 24.20	日本 14.48	ドイツ 12.84	韓国 2.45	208.42	14.48
2021年	米国 33.75	日本 16.99	ドイツ 9.75	スペイン 8.54	フランス 5.59	84.45	16.99

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 15.80	GEF 5.47	IDB 4.08	GFATM 1.16	UNICEF 0.93	2.56	30.00
2018年	EU Institutions 29.61	GEF 4.54	IDB 2.78	Adaptation Fund 2.39	UNICEF 1.46	4.32	45.12
2019年	EU Institutions 3.20	GEF 2.59	IDB 2.03	UNHCR 1.40	ILO 0.95	3.26	13.43
2020年	EU Institutions 4.68	OPEC Fund 3.50	GEF 3.11	IDB 3.02	UNHCR 2.53	8.10	24.93
2021年	GCF 54.12	EU Institutions 4.83	IDB 3.34	GEF 2.44	GFATM 2.35	10.82	77.89

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.21億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (3件) (0.21)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] コロンビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,187万人	6,500ドル	7.3%	1,841.18億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コロンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.34	7.47
2019年度	-	6.58	5.11
2020年度	-	6.13	1.74
2021年度	-	1.47	1.62
2022年度	-	1.13	2.97

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コロンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	466.33	161.43	353.47

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コロンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.19	6.88	18.07
2018年	-	2.75	6.63	9.38
2019年	-	6.56	4.87	11.43
2020年	-	5.59	2.74	8.33
2021年	-	1.13	1.52	2.65
累計	-63.84	128.50	314.00	378.66

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 307.57	ドイツ 171.82	ノルウェー 62.56	カナダ 45.07	スイス 38.62	810.72	18.07
2018年	ドイツ 558.04	フランス 508.53	米国 339.60	韓国 61.67	ノルウェー 50.64	1,758.53	9.38
2019年	米国 433.71	ドイツ 114.56	ノルウェー 76.23	英国 66.75	スペイン 55.41	957.37	11.43
2020年	ドイツ 714.54	米国 558.93	フランス 270.18	英国 97.72	スペイン 75.94	1,937.15	8.33
2021年	米国 682.50	フランス 455.73	ドイツ 400.41	韓国 126.48	スペイン 86.05	2,037.87	2.65

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 72.22	GEF 10.30	IDB 10.07	CIF 4.81	UNHCR 3.82	9.68	110.91
2018年	EU Institutions 84.27	UNPBF 9.94	UNHCR 9.67	GCF 8.77	IDB 8.01	33.29	153.97
2019年	EU Institutions 67.51	UNPBF 8.46	CERF 7.99	GEF 7.81	WFP 6.54	24.54	122.85
2020年	EU Institutions 110.90	CIF 12.70	IDB 5.79	GFATM 5.09	CERF 5.00	20.46	159.95
2021年	EU Institutions 77.10	GCF 41.01	GFATM 9.56	IDB 8.62	GEF 4.71	21.48	162.46

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	1.12億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (14件) (1.05) ・草の根文化無償 (1件) (0.07)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ジャマイカ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
283万人	5,760ドル	5.2%	175.60億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.47	3.17
2019年度	-	4.22	2.30
2020年度	-	2.09	1.07
2021年度	-	0.46	1.02
2022年度	-	0.16	1.73

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	551.26	42.90	109.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジャマイカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-9.94	1.28	4.50	-4.16
2018年	-10.09	1.04	3.05	-6.01
2019年	-4.18	0.48	2.11	-1.59
2020年	-4.75	5.69	1.28	2.22
2021年	-3.41	0.08	0.68	-2.65
累計	-107.18	25.08	99.71	17.58

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 32.39	英国 10.10	日本 5.78	カナダ 3.14	オーストラリア 0.63	53.93	5.78
2018年	米国 34.87	フランス 15.74	英国 10.73	カナダ 4.39	日本 4.09	71.36	4.09
2019年	フランス 33.53	米国 24.48	英国 12.72	日本 3.06	カナダ 2.83	77.88	3.06
2020年	米国 19.47	英国 11.09	日本 6.97	カナダ 2.37	韓国 0.77	41.98	6.97
2021年	米国 29.47	英国 8.46	カナダ 6.48	日本 1.97	韓国 0.79	48.77	1.97

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 19.17	GFATM 5.20	IDB 4.96	CIF 2.62	CDB 1.70	5.85	39.51
2018年	EU Institutions 43.70	CIF 5.43	GFATM 3.91	IDB 3.25	CDB 1.68	4.84	62.81
2019年	IMF-CTF 23.78	CDB 15.19	EU Institutions 12.59	GFATM 4.28	OPEC Fund 2.97	12.17	70.99
2020年	EU Institutions 28.22	CIF 6.41	GFATM 4.21	IDB 1.73	UNICEF 0.89	3.00	44.47
2021年	EU Institutions 14.35	CIF 2.70	IDB 1.90	GFATM 1.63	WHO 0.90	3.46	24.95

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.16億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] スリナム

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
61.8万人	4,970ドル	2.4%	42.09億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スリナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	4.09	0.09
2019年度	-	0.10	0.03
2020年度	-	0.13	-
2021年度	-	0.28	-
2022年度	-	4.25	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スリナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	60.85	7.67

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スリナム援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.11	0.11
2018年	-	1.90	0.07	1.97
2019年	-	3.76	0.00	3.76
2020年	-	-	0.03	0.03
2021年	-	0.12	-	0.12
累計	-2.70	44.75	8.59	50.63

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 3.31	ベルギー 1.51	オランダ 0.75	カナダ 0.34	オーストラリア 0.28	6.58	0.11
2018年	オランダ 3.12	日本 1.97	ベルギー 1.12	フランス 1.11	カナダ 0.59	8.11	1.97
2019年	オランダ 4.31	日本 3.76	フランス 1.30	ベルギー 1.03	カナダ 0.67	11.42	3.76
2020年	オランダ 4.62	フランス 0.89	カナダ 0.70	ベルギー 0.37	米国 0.20	7.09	0.03
2021年	オランダ 2.60	カナダ 0.93	フランス 0.66	スペイン 0.44	イタリア 0.35	5.92	0.12

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 9.83	GFATM 2.46	IDB 1.99	Isl.Dev Bank 0.91	OPEC Fund 0.60	1.68	17.47
2018年	EU Institutions 5.43	IDB 2.81	GFATM 1.61	GEF 1.12	Isl.Dev Bank 0.29	0.67	11.93
2019年	CDB 13.15	EU Institutions 3.60	OPEC Fund 1.84	GFATM 1.52	Isl.Dev Bank 0.90	1.82	22.83
2020年	CDB 9.55	EU Institutions 5.45	OPEC Fund 3.13	GFATM 1.33	Isl.Dev Bank 1.28	2.45	23.21
2021年	CDB 8.08	OPEC Fund 7.85	EU Institutions 2.92	GFATM 1.70	IDB 1.27	2.24	24.04

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	4.25億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.25) ・経済社会開発計画 (1件) (4.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] セントクリストファー・ネービス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4.8万人	20,020ドル	8.8%	-	(2014年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.09
2019年度	-	2.18	0.08
2020年度	-	0.07	-
2021年度	-	-	-
2022年度	-	-	0.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	33.14	5.31

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.18	0.09	2.27
2018年	-	-	0.09	0.09
2019年	-	0.16	0.02	0.19
2020年	-	1.87	0.05	1.92
2021年	-	0.07	-	0.07
累計	-	13.51	4.76	18.27

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[15] セントビンセント及びグレナディーン諸島

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
10.4万人	9,110ドル	4.9%	5.81億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	4.04	0.40
2019年度	-	-	0.32
2020年度	-	-	0.44
2021年度	-	3.71	0.59
2022年度	-	-	0.68

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	72.55	20.38

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.78	0.45	2.23
2018年	-	-	0.31	0.31
2019年	-	3.70	0.33	4.03
2020年	-	-	0.45	0.45
2021年	-	3.38	0.11	3.49
累計	-	64.07	18.20	82.27

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントビンセント及びグレナディーン諸島経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 2.23	オーストラリア 2.12	英国 0.21	ニュージーランド 0.10	オーストリア 0.06	4.85	2.23
	-	-	-	-	米国 0.06	-	-
2018年	カナダ 0.69	日本 0.31	韓国 0.11	英国 0.09	-	1.46	0.31
	-	-	-	米国 0.09	-	-	-
2019年	日本 4.03	カナダ 0.74	イタリア 0.15	韓国 0.11	-	5.39	4.03
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-
2020年	カナダ 0.92	日本 0.45	英国 0.08	-	オーストリア 0.03	1.61	0.45
	-	-	米国 0.08	-	-	-	-
2021年	日本 3.49	米国 1.33	英国 1.12	カナダ 0.92	スペイン 0.41	8.55	3.49

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントビンセント及びグレナディーン諸島経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	CIF 4.39	EU Institutions 3.10	IDA 0.86	GEF 0.59	GCF 0.12	0.17	9.24
2018年	EU Institutions 6.30	CDB 5.45	CIF 3.00	IDA 1.24	GEF 0.63	0.23	16.85
2019年	IDA 38.80	CDB 35.62	EU Institutions 3.10	FAO 0.16	WHO 0.05	0.08	77.81
2020年	IDA 46.77	IMF-CTF 16.30	CDB 9.86	EU Institutions 0.70	WHO 0.14	0.14	74.05
	-	-	-	-	GEF 0.14	-	-
2021年	IDA 87.76	CDB 16.28	IMF-CTF 11.64	CERF 1.00	OPEC Fund 0.84	2.22	119.75

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[16] セントルシア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
18.0万人	12,400ドル	15.9%	9.09億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントルシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	8.38	1.68
2019年度	-	6.49	2.36
2020年度	-	0.04	1.07
2021年度	-	2.00	1.05
2022年度	-	1.20	1.40

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントルシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	95.69	40.95

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントルシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.95	2.24	4.19
2018年	-	0.28	1.55	1.83
2019年	-	1.83	1.70	3.53
2020年	-	0.14	1.10	1.24
2021年	-	5.37	1.02	6.39
累計	-	71.90	35.54	107.44

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 4.19	フランス 0.63	カナダ 0.28	ニュージーランド 0.15	-	5.58	4.19
	-	-	-	英国 0.15	-		
2018年	日本 1.83	フランス 0.63	カナダ 0.34	ニュージーランド 0.21	イタリア 0.16	3.37	1.83
2019年	日本 3.53	フランス 0.98	英国 0.72	カナダ 0.65	イタリア 0.37	6.61	3.53
2020年	フランス 1.40	日本 1.24	カナダ 0.84	英国 0.51	ニュージーランド 0.21	4.47	1.24
2021年	日本 6.39	カナダ 0.97	フランス 0.95	英国 0.42	ニュージーランド 0.17	9.06	6.39

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 8.43	IDA 4.90	CIF 2.76	ILO 0.09	UNDP 0.07	0.02	16.28
2018年	IDA 4.98	EU Institutions 4.07	CIF 2.31	CDB 1.92	GCF 0.06	0.03	13.37
2019年	CDB 22.02	IDA 4.16	EU Institutions 2.40	GCF 0.25	UNDP 0.19	0.30	29.33
2020年	CDB 44.16	IMF-CTF 29.81	IDA 20.40	CIF 2.17	EU Institutions 0.52	0.79	97.86
2021年	IDA 47.19	CDB 29.10	CIF 8.08	Adaptation Fund 4.31	EU Institutions 3.65	1.63	93.96

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	1.20億円 ・シヨゼール漁港改善計画 (1.20)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[17] チリ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,960万人	15,360ドル	2.4%	-	(2018年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.59	2.54
2019年度	-	0.43	3.78
2020年度	-	5.39	1.55
2021年度	-	0.43	4.03
2022年度	-	0.43	2.35

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	243.70	111.92	448.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チリ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.90	0.43	3.26	2.79
2018年	-0.91	0.24	1.88	1.20
2019年	-0.93	0.46	2.31	1.84
2020年	-	5.09	3.26	8.35
2021年	-0.92	0.36	1.76	1.20
累計	-3.58	83.08	402.04	481.52

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 60.91	フランス 9.81	デンマーク 4.58	日本 3.69	カナダ 3.14	89.67	3.69
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 5.12	IDB 5.01	GEF 1.88	ILO 1.22	UNICEF 0.98	1.83	16.03
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.43億円 (5件) (0.43)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ケアのための地域モデル形成支援:ケアするコミュニティプロジェクト [23.01~25.07] ・中南米カリブ地域における災害に強靱で持続可能な社会の構築プロジェクト (KIZUNA II) [23.02~26.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[18] ドミニカ国

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
7.3万人	8,430ドル	5.6%	4.01億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.15	0.42
2019年度	-	10.72	0.57
2020年度	-	0.20	-
2021年度	-	-	-
2022年度	-	-	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	83.81	16.80

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.16	0.16
2018年	-	2.06	0.27	2.33
2019年	-	0.06	0.48	0.54
2020年	-	0.47	0.17	0.64
2021年	-	2.71	-	2.71
累計	3.40	70.08	19.94	93.42

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	カナダ 0.91	オーストラリア 0.53	米国 0.51	スイス 0.35	フランス 0.33	3.69	0.16
2018年	米国 4.76	カナダ 4.45	日本 2.33	オーストラリア 0.74	英国 0.53	13.32	2.33
2019年	米国 3.75	英国 1.35	カナダ 1.18	日本 0.54	フランス 0.52	7.95	0.54
2020年	カナダ 1.83	英国 1.26	日本 0.64	フランス 0.34	米国 0.29	4.76	0.64
2021年	日本 2.71	カナダ 1.40	米国 1.20	英国 0.98	フランス 0.26	6.83	2.71

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 9.44	IDA 8.12	CERF 3.01	CDB 1.74	UNAIDS 0.35	1.11	23.77
2018年	EU Institutions 16.07	IDA 4.58	CDB 0.94	GEF 0.38	FAO 0.20	0.11	22.27
2019年	IMF-CTF 21.49	CDB 18.21	EU Institutions 13.11	IDA 11.48	GCF 0.41	0.42	65.13
2020年	CDB 24.30	IDA 20.54	IMF-CTF 14.32	CIF 5.44	EU Institutions 2.50	3.22	70.30
2021年	IDA 57.17	OPEC Fund 5.25	IDB 3.80	CDB 3.07	EU Institutions 1.27	2.90	73.47

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[19] ドミニカ共和国

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,123万人	9,050ドル	4.9%	482.43億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.71	4.96
2019年度	-	0.92	5.20
2020年度	-	3.58	4.21
2021年度	254.88	0.87	9.14
2022年度	-	0.60	7.77

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	575.78	275.37	378.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-5.98	0.60	6.22	0.84
2018年	-3.97	0.57	4.70	1.30
2019年	-3.95	1.12	4.63	1.80
2020年	-4.03	3.30	4.72	4.00
2021年	-3.91	0.51	3.76	0.36
累計	-42.40	223.24	320.33	501.20

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 68.18	フランス 37.22	日本 6.82	スペイン 6.47	韓国 4.36	128.58	6.82
2018年	米国 58.98	スペイン 7.27	ドイツ 7.19	日本 5.27	韓国 4.68	89.38	5.27
2019年	米国 51.03	フランス 28.19	ドイツ 14.56	スペイン 8.85	韓国 8.31	118.87	5.75
2020年	フランス 311.45	米国 53.95	スペイン 8.64	日本 8.02	ドイツ 7.17	395.85	8.02
2021年	フランス 314.79	米国 73.54	韓国 53.29	スペイン 8.22	ドイツ 4.34	461.08	4.27

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 40.51	GFATM 7.98	IDB 3.85	UNICEF 1.12	WHO 0.70	1.94	56.10
2018年	EU Institutions 29.03	OPEC Fund 21.79	GFATM 7.73	IDB 3.06	UNHCR 1.86	6.36	69.83
2019年	EU Institutions 50.38	OPEC Fund 8.01	GFATM 7.95	IDB 2.10	UNHCR 1.86	7.12	77.40
2020年	EU Institutions 33.75	GFATM 5.86	IDB 3.12	Adaptation Fund 2.99	GEF 1.43	3.75	50.91
2021年	EU Institutions 24.16	OPEC Fund 20.73	GFATM 9.35	Adaptation Fund 3.98	UNFPA 1.11	4.42	63.79

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.60億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (5件) (0.60)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[20] トリニダード・トバゴ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
153万人	16,190ドル	1.5%	-	(2011年卒業)	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	0.04
2020年度	-	-	0.02
2021年度	-	-	0.73
2022年度	-	-	0.96

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	2.35	34.72

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.04	0.04
2018年	-	0.21	0.02	0.23
2019年	-	-	0.03	0.03
2020年	-	-	0.02	0.02
2021年	-	-	0.01	0.01
累計	-	1.12	29.86	30.98

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[21] ニカラグア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
695万人	2,090ドル	3.8%	148.67億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニカラグア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	13.20	5.38
2019年度	-	0.60	6.71
2020年度	-	3.65	1.71
2021年度	-	17.84	4.72
2022年度	-	5.69	3.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニカラグア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	275.15	849.85	282.61

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニカラグア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	技術協力	合計
2017年	3.36	0.96	11.00
2018年	2.04	4.84	5.67
2019年	4.67	5.72	5.93
2020年	0.45	2.08	3.24
2021年	0.71	13.44	3.03
累計	1.34	825.54	260.57
			1,087.44

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 51.17	韓国 36.60	スイス 22.01	日本 15.31	スペイン 14.75	186.88	15.31
2018年	韓国 46.71	米国 45.16	スペイン 16.20	ドイツ 13.12	スイス 13.05	189.30	12.54
2019年	韓国 46.12	米国 31.40	スペイン 18.23	スイス 17.46	日本 16.33	166.86	16.33
2020年	米国 31.07	韓国 20.72	スイス 20.45	スペイン 17.77	ドイツ 10.90	131.03	5.77
2021年	米国 40.53	スペイン 31.24	韓国 23.69	スイス 18.60	日本 17.18	173.16	17.18

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 286.62	IDA 74.79	EU Institutions 23.53	OPEC Fund 21.33	IFAD 10.21	20.01	436.49
2018年	IDB 104.13	IDA 69.24	EU Institutions 40.75	GFATM 6.60	IFAD 5.83	11.74	238.28
2019年	IDB 121.45	IDA 94.04	EU Institutions 42.74	IFAD 6.15	GFATM 5.41	13.50	283.29
2020年	IDB 145.47	EU Institutions 73.53	IDA 64.04	IMF-CTF 60.35	OPEC Fund 21.03	27.37	391.79
2021年	CABEI 243.46	IDB 191.37	IDA 112.53	EU Institutions 55.65	OPEC Fund 19.14	19.29	641.45

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.69億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.69) ・経済社会開発計画 (1件) (5.00)	・初等教育における算数に親しむ学習プロジェクト [23.01～26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[22] ハイチ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,159万人	1,610ドル	-1.7%	25.60億円	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ハイチ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	18.66	1.92
2019年度	-	8.97	0.81
2020年度	-	10.76	1.90
2021年度	-	4.40	0.51
2022年度	-	13.62	0.16

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ハイチ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	609.06	43.81

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ハイチ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.70	3.68	15.38
2018年	-	41.56	1.77	43.33
2019年	-	21.99	0.82	22.81
2020年	-	23.94	1.77	25.71
2021年	-	6.29	0.43	6.72
累計	-	481.06	41.35	522.41

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 426.40	カナダ 90.37	フランス 37.42	スイス 22.50	ドイツ 16.94	651.10	15.38
2018年	米国 339.20	カナダ 89.09	日本 43.33	フランス 41.81	スイス 19.66	590.79	43.33
2019年	米国 225.77	カナダ 64.53	フランス 41.05	日本 22.81	スイス 22.78	416.01	22.81
2020年	米国 273.10	カナダ 57.13	フランス 33.66	日本 25.71	スイス 22.54	452.97	25.71
2021年	米国 265.32	フランス 71.53	カナダ 56.70	スイス 35.29	スペイン 11.76	484.50	6.72

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 127.79	EU Institutions 73.76	IDA 65.25	GFATM 47.23	UNICEF 10.35	31.97	356.34
2018年	EU Institutions 134.70	IDB 119.23	IDA 112.84	GFATM 28.93	CERF 12.14	40.56	448.40
2019年	IDA 81.90	IDB 66.68	EU Institutions 57.08	GFATM 30.09	GAVI 12.16	45.06	292.97
2020年	IDA 129.38	IMF-CTF 125.32	EU Institutions 103.32	GFATM 36.12	CIF 14.53	53.60	462.24
2021年	IDB 168.83	IDA 141.30	EU Institutions 96.30	GFATM 36.04	CDB 16.74	65.71	524.91

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	13.62億円 ・南西部における保健医療施設 再建計画(UNDP連携) (3.96) ・ミラゴアンヌ市におけるハイチ 国家警察支援計画(UNDP連 携) (4.42) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・ハイチにおけるコレラの感染拡 大に対する緊急無償資金協力(I FRC連携) (0.54) ・同上案件(UNICEF連携) (1.62) ・同上案件(WFP連携) (1.08)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[23] パナマ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
441万人	16,960ドル	10.8%	—	高中所得国	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パナマ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.61	8.21
2019年度	-	0.45	14.41
2020年度	-	6.09	2.12
2021年度	-	0.18	6.28
2022年度	-	0.16	9.51

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パナマ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,538.96	45.66	348.41

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パナマ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-12.45	0.52	5.93	-6.00
2018年	-9.48	0.20	7.24	-2.03
2019年	-9.60	0.80	2.53	-6.27
2020年	-9.80	5.80	13.46	9.46
2021年	63.08	0.08	2.85	66.01
累計	204.69	39.52	295.83	540.01

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 17.48	日本 6.45	ドイツ 1.40	英国 1.36	スペイン 0.63	29.03	6.45
2018年	米国 9.97	日本 7.44	スペイン 1.20	英国 1.18	カナダ 0.94	23.80	7.44
2019年	フランス 40.78	米国 10.25	日本 3.33	英国 2.18	スペイン 1.06	60.08	3.33
2020年	日本 19.26	米国 7.32	英国 1.79	韓国 1.67	フランス 1.07	34.54	19.26
2021年	日本 75.55	米国 36.42	フランス 2.10	英国 1.19	スペイン 1.12	119.01	75.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	UNHCR 10.88	Adaptation Fund 5.53	EU Institutions 5.11	OPEC Fund 3.97	IDB 3.52	7.44	36.43
2018年	EU Institutions 23.00	IDB 3.88	GFATM 2.78	UNICEF 0.86	ILO 0.84	1.99	33.35
2019年	EU Institutions 14.63	OPEC Fund 4.68	WFP 3.23	IDB 1.39	GFATM 1.22	3.77	28.91
2020年	CABEI 149.85	UNHCR 5.74	Adaptation Fund 3.83	IDB 3.48	EU Institutions 2.65	7.21	172.76
2021年	EU Institutions 17.28	IDB 4.26	UNHCR 3.39	WHO 1.19	GFATM 1.17	5.65	32.93

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.16億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[24] バハマ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
41.0万人	31,520ドル	14.4%	-	(1996年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バハマ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	-
2020年度	-	-	0.02
2021年度	-	-	-
2022年度	-	-	-

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バハマ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	2.06	0.84

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バハマ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.02	0.02
2018年	-	-	0.05	0.05
2019年	-	-	-	-
2020年	-	-	0.01	0.01
2021年	-	-	0.01	0.01
累計	-	0.05	0.37	0.42

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[25] パラグアイ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
678万人	5,920ドル	0.1%	245.15億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラグアイ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	12.82	7.45
2019年度	-	13.98	8.08
2020年度	91.30	10.65	4.25
2021年度	92.94	2.11	6.87
2022年度	-	10.52	4.72

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラグアイ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,732.13	413.73	913.30

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラグアイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-24.71	4.06	9.29	-11.36
2018年	1.89	1.62	7.07	10.58
2019年	13.91	6.03	6.77	26.71
2020年	7.26	0.11	4.59	11.96
2021年	2.32	4.33	5.22	11.87
累計	67.45	291.67	730.45	1,092.65

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 23.29	米国 22.36	韓国 12.35	スペイン 10.90	ドイツ 5.35	80.49	23.29
2018年	日本 39.50	米国 18.51	韓国 14.05	スペイン 11.67	ドイツ 6.34	96.61	39.50
2019年	日本 56.00	米国 16.32	韓国 14.23	スペイン 10.56	ドイツ 5.05	109.37	56.00
2020年	韓国 65.44	日本 53.44	フランス 43.01	米国 26.71	スペイン 7.89	206.69	53.44
2021年	日本 44.93	韓国 30.83	フランス 30.64	米国 22.47	スペイン 21.92	160.88	44.93

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 53.89	IDB 39.96	OPEC Fund 18.55	GFATM 3.86	GEF 2.49	4.87	123.63
2018年	IDB 52.39	EU Institutions 46.80	OPEC Fund 13.38	GFATM 4.71	GEF 2.40	5.31	124.99
2019年	IDB 44.28	EU Institutions 24.08	OPEC Fund 4.80	GCF 3.27	ILO 3.09	8.02	87.52
2020年	EU Institutions 56.07	GCF 52.87	IDB 32.45	OPEC Fund 12.88	GEF 3.51	9.97	167.75
2021年	IDB 31.99	EU Institutions 27.73	OPEC Fund 13.27	GFATM 5.96	ILO 1.92	7.79	88.65

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	10.52億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (0.99)	・ミシオネス県及びイタプア県における地域共生力強化プロジェクト [22.06~27.05]
		・パラグアイ川浚渫機材整備計画【追加贈与】 (5.03)	
		・ビジャ・アジェス市における給水システム改善計画 (4.50)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[26] バルバドス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
28.2万人	19,490ドル	11.3%	-	(2011年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バルバドス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.05
2019年度	-	-	0.05
2020年度	-	-	0.01
2021年度	-	-	0.12
2022年度	-	-	0.18

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バルバドス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1.10	13.30

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バルバドス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.89	0.04	0.93
2018年	-	-	0.03	0.03
2019年	-	-	0.04	0.04
2020年	-	-	0.00	0.00
2021年	-	-	0.10	0.10
累計	-	1.14	6.62	7.76

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[27] ブラジル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.15億人	8,140ドル	2.9%	5,785.99億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブラジル援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.85	13.77
2019年度	-	5.52	11.33
2020年度	-	5.84	8.28
2021年度	-	0.63	39.61
2022年度	-	0.60	0.19

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブラジル援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,312.94	56.72	1,258.46

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブラジル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-58.68	1.15	19.35	-38.19
2018年	-30.31	1.14	16.11	-13.06
2019年	-46.48	5.04	12.57	-28.88
2020年	58.19	6.25	8.29	72.73
2021年	215.93	0.76	30.30	247.00
累計	631.72	61.02	1,361.02	2,051.56

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 182.75	フランス 170.21	ノルウェー 54.80	日本 48.12	英国 28.57	530.89	48.12
2018年	ドイツ 228.94	フランス 116.94	ノルウェー 84.31	日本 67.73	英国 33.44	588.70	67.73
2019年	ドイツ 233.79	フランス 141.06	日本 61.78	英国 44.06	米国 39.08	572.86	61.78
2020年	ドイツ 158.42	日本 157.36	フランス 92.38	米国 53.46	英国 46.98	564.65	157.36
2021年	フランス 597.55	日本 312.93	ドイツ 142.91	米国 48.23	英国 41.50	1,217.06	312.93

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 306.14	IDB 14.31	GEF 13.35	CIF 6.80	UNICEF 2.50	7.68	350.79
2018年	EU Institutions 85.56	GEF 13.54	IDB 11.39	CIF 8.57	WHO 2.59	9.70	131.33
2019年	GEF 11.40	EU Institutions 10.31	IDB 4.91	UNFPA 2.37	ILO 2.36	6.76	38.10
2020年	EU Institutions 274.83	GCF 97.85	CIF 18.19	IDB 5.86	GEF 5.67	8.59	410.98
2021年	EU Institutions 223.76	CIF 10.43	GEF 10.19	IDB 4.11	UNFPA 2.57	11.54	262.61

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.59億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.42) ・草の根文化無償 (2件) (0.17)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[28] ベネズエラ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,830万人	-	-	-	高中所得国	iii/-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.18	0.11
2019年度	-	0.29	0.14
2020年度	-	5.26	0.09
2021年度	-	0.75	0.16
2022年度	-	5.31	0.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	25.82	108.23

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベネズエラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.10	0.82	0.92
2018年	-	0.25	0.49	0.74
2019年	-	0.26	0.23	0.49
2020年	-	0.18	0.13	0.31
2021年	-	4.71	0.27	4.98
累計	-0.53	18.24	113.89	131.60

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	スペイン 44.71	米国 12.31	ドイツ 7.11	フランス 6.83	英国 1.76	76.60	0.92
2018年	スペイン 63.68	米国 15.14	ドイツ 8.83	フランス 8.75	ノルウェー 3.85	110.84	0.74
2019年	スペイン 69.10	米国 43.37	英国 11.18	ドイツ 11.06	スウェーデン 10.83	178.14	0.49
2020年	米国 90.96	スペイン 50.62	英国 26.36	スウェーデン 11.74	スイス 10.95	233.72	0.31
2021年	米国 104.94	ドイツ 24.10	スイス 15.22	スウェーデン 14.19	カナダ 13.39	214.42	4.98

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	UNHCR 3.37	EU Institutions 2.61	UNICEF 1.95	GEF 1.19	WHO 1.12	1.68	11.92
2018年	EU Institutions 18.77	CERF 9.20	UNHCR 2.50	UNICEF 1.96	GEF 1.88	3.38	37.70
2019年	EU Institutions 54.98	UNICEF 11.90	CERF 10.02	UNHCR 1.05	UNFPA 0.80	1.74	81.28
	-	-	-	-	WHO 0.80	-	-
2020年	EU Institutions 56.33	GFATM 12.72	UNICEF 2.05	UNFPA 1.42	IDB 1.01	1.70	75.25
2021年	EU Institutions 31.30	GFATM 12.52	CERF 8.00	UNICEF 3.21	UNFPA 1.75	4.85	61.63

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.31億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.17) ・水・衛生分野の活動を通じた 学校及び周辺コミュニティにお ける安全で清潔な環境支援計 画(UNICEF連携) (5.14)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[29] ベリーズ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
40.5万人	6,630ドル	8.7%	14.65億ドル	低中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベリーズ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.22	0.94
2019年度	-	0.44	0.90
2020年度	-	0.22	0.67
2021年度	-	0.31	0.49
2022年度	-	0.29	5.39

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベリーズ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	10.85	27.36

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベリーズ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.28	1.25	1.53
2018年	-	-	0.85	0.85
2019年	-	0.40	0.78	1.18
2020年	-	0.21	0.70	0.91
2021年	-	0.20	0.46	0.66
累計	-	10.43	25.01	35.44

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 3.39	日本 1.53	英国 0.96	カナダ 0.27	オーストラリア 0.19	6.68	1.53
2018年	米国 2.96	英国 1.03	日本 0.85	カナダ 0.54	韓国 0.10	5.60	0.85
2019年	米国 2.86	英国 2.19	イタリア 1.34	日本 1.18	カナダ 0.72	8.64	1.18
2020年	米国 3.56	英国 2.00	カナダ 1.38	日本 0.91	韓国 0.24	8.35	0.91
2021年	米国 5.55	英国 1.58	カナダ 1.05	日本 0.66	ドイツ 0.11	9.05	0.66

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 12.00	OPEC Fund 7.58	CDB 6.61	IDB 2.23	UNHCR 1.07	2.38	31.87
2018年	EU Institutions 10.81	CDB 3.42	OPEC Fund 2.81	IDB 1.44	GFATM 1.05	2.86	22.39
2019年	CDB 26.38	EU Institutions 4.31	OPEC Fund 2.97	UNICEF 1.25	Adaptation Fund 0.54	2.12	37.56
2020年	CDB 26.10	OPEC Fund 22.42	EU Institutions 5.63	GCF 3.09	IDB 1.44	2.88	61.55
2021年	CDB 31.99	OPEC Fund 21.85	EU Institutions 9.22	IDB 2.09	GFATM 1.41	4.86	71.42

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.29億円 ・草の根・人間の安 全保障無償 (1件) (0.29)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[30] ペルー

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,405万人	6,740ドル	2.7%	880.84億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ペルー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.76	6.92
2019年度	-	1.52	10.49
2020年度	-	13.94	4.40
2021年度	48.60	1.11	11.58
2022年度	-	0.66	8.00

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ペルー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,273.34	689.68	606.46

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ペルー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-473.57	1.59	8.55	-463.43
2018年	-11.37	1.53	6.94	-2.89
2019年	-23.01	1.32	8.20	-13.49
2020年	-35.18	0.38	6.65	-28.16
2021年	-45.46	11.55	9.04	-24.87
累計	-215.69	567.26	552.95	904.51

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 146.46	米国 105.37	日本 37.23	スイス 26.41	カナダ 23.95	425.38	37.23
2018年	ドイツ 107.15	フランス 100.41	米国 87.55	日本 58.89	スイス 25.15	484.56	58.89
2019年	ドイツ 213.44	米国 111.01	フランス 50.17	日本 32.50	スイス 28.83	540.92	32.50
2020年	ドイツ 209.48	米国 142.89	フランス 92.40	スペイン 32.35	スイス 23.04	587.83	21.07
2021年	米国 173.48	ドイツ 63.43	スペイン 30.83	スイス 23.26	日本 22.10	394.35	22.10

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 116.96	GEF 7.79	IDB 7.70	CERF 5.17	GFATM 4.24	9.79	151.65
2018年	EU Institutions 70.37	GEF 7.12	IDB 5.92	GFATM 3.27	CERF 1.98	7.19	95.85
2019年	EU Institutions 16.21	GFATM 13.25	GEF 4.15	IDB 3.39	GCF 2.22	7.85	47.07
2020年	EU Institutions 24.66	GEF 8.55	GFATM 5.33	IDB 2.61	UNFPA 2.57	8.00	51.72
2021年	EU Institutions 26.55	GEF 8.03	CIF 6.99	GFATM 6.19	Adaptation Fund 4.12	14.44	66.32

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.67億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.30) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.37)	・ペルーアマゾンにおける気候変動緩和のための森林湿地生態系の自然資源管理能力強化プロジェクト [22.07~27.07]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[31] ボリビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,222万人	3,490ドル	3.6%	159.30億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボリビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	—	4.67	8.40
2019年度	—	20.69	6.52
2020年度	—	29.13	6.06
2021年度	—	10.25	11.48
2022年度	150.00	1.14	5.83

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボリビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,260.06	990.33	777.89

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボリビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	0.22	1.61	8.92	10.75
2018年	0.21	0.96	8.03	9.20
2019年	0.76	13.68	7.85	22.29
2020年	1.82	8.90	4.13	14.85
2021年	0.31	13.01	10.25	23.58
累計	-157.67	1374.57	646.50	1,863.38

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 120.16	ドイツ 44.71	デンマーク 41.41	スイス 27.68	スウェーデン 25.92	349.10	10.75
2018年	ドイツ 49.17	フランス 40.18	スウェーデン 30.13	スペイン 29.79	スイス 28.46	269.63	9.20
2019年	フランス 164.60	ドイツ 38.30	スウェーデン 26.93	韓国 23.45	日本 22.29	348.92	22.29
2020年	ドイツ 32.54	スイス 27.24	フランス 24.93	スウェーデン 23.96	スペイン 20.91	197.67	14.85
2021年	フランス 151.20	スペイン 43.41	ドイツ 39.79	スウェーデン 31.84	スイス 25.25	366.25	23.58

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 508.23	EU Institutions 71.52	IDA 31.94	OPEC Fund 12.17	IFAD 12.03	24.65	660.57
2018年	IDB 377.55	EU Institutions 43.17	OPEC Fund 41.29	IDA 38.89	CIF 13.79	24.63	539.33
2019年	IDB 303.75	EU Institutions 66.56	IDA 44.86	CIF 14.83	GFATM 6.03	23.10	459.14
2020年	IDB 88.35	CIF 53.68	EU Institutions 44.42	IDA 38.12	GFATM 6.44	20.75	251.79
2021年	IDB 190.81	EU Institutions 40.28	IDA 17.62	GFATM 9.86	CIF 7.44	20.37	286.39

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	150.00億円 (150.00)	1.14億円 (12件) (1.14)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健ネットワークシステム強化を通じた母子保健サービス改善プロジェクト [22.04~27.03] ・サンタクルス都市圏 BRT整備と一体となった持続可能な都市開発促進プロジェクト [23.01~27.02]
	・新型コロナウイルス感染症対応緊急支援借款	・草の根・人間の安全保障無償	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[32] ホンジュラス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,043万人	2,750ドル	4.0%	126.09億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	—	5.74	5.77
2019年度	—	18.75	5.04
2020年度	—	14.44	3.71
2021年度	110.11	5.54	4.33
2022年度	—	25.79	9.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	617.85	858.67	467.68

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ホンジュラス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	0.77	1.81	6.90	9.48
2018年	0.73	10.25	5.45	16.42
2019年	0.53	19.50	4.21	24.24
2020年	0.69	11.50	3.23	15.42
2021年	0.45	12.32	3.24	16.01
累計	-83.54	1,257.89	404.64	1,578.99

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 120.46	韓国 24.66	スペイン 21.84	カナダ 17.70	スイス 16.46	239.10	9.48
2018年	米国 161.78	フランス 37.93	スペイン 24.59	カナダ 23.12	スイス 18.33	319.68	16.42
2019年	米国 126.43	韓国 35.09	日本 24.24	スイス 22.26	スペイン 18.54	273.77	24.24
2020年	米国 85.87	ドイツ 27.12	スペイン 25.67	スイス 24.07	カナダ 19.67	216.25	15.42
2021年	米国 187.32	カナダ 22.84	ドイツ 20.64	スイス 19.80	スペイン 17.78	307.90	16.01

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDB 175.86	EU Institutions 67.99	IDA 23.88	GFATM 7.09	WFP 4.67	12.77	292.27
2018年	IDB 317.40	EU Institutions 93.72	IDA 8.60	GFATM 6.28	IFAD 4.00	13.14	443.15
2019年	IDB 168.24	EU Institutions 67.19	IDA 20.37	GFATM 8.13	CIF 4.29	23.35	291.55
2020年	IDB 366.43	CABEI 316.15	IMF-CTF 158.89	IDA 144.72	EU Institutions 60.48	47.39	1,094.07
2021年	IDB 177.91	CABEI 93.89	IDA 66.17	EU Institutions 51.12	IMF-CTF 41.52	40.68	471.30

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	25.79億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (1件) (0.38) ・草の根・人間の安全保障無償 (14件) (1.21) ・感染性廃棄物管理改善計画 (10.13) ・国道一号線橋梁架け替え計画 (7.85) ・保健サーベイランス国立研究所建設計画 (6.22) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト [22.10~27.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[33] メキシコ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.28億人	10,820ドル	3.9%	6,004.23億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対メキシコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	8.03
2019年度	-	2.05	7.25
2020年度	-	5.98	4.30
2021年度	-	0.02	7.39
2022年度	-	0.27	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対メキシコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,054.41	71.00	801.75

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対メキシコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-3.25	0.17	11.90	8.82
2018年	-	0.13	7.33	7.46
2019年	-	0.07	8.65	8.72
2020年	100.00	7.61	5.17	112.78
2021年	-	0.04	5.06	5.10
累計	-14.34	52.82	768.25	806.72

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 317.46	フランス 224.42	米国 189.37	英国 17.12	日本 12.07	779.75	12.07
2018年	ドイツ 274.31	米国 235.98	フランス 61.32	英国 21.98	日本 7.46	619.66	7.46
2019年	ドイツ 371.75	米国 161.02	フランス 102.51	英国 31.37	カナダ 12.39	701.29	8.72
2020年	フランス 306.10	米国 175.43	日本 112.78	ドイツ 101.40	英国 44.92	770.90	112.78
2021年	フランス 413.48	米国 157.70	ドイツ 120.89	英国 30.02	日本 5.10	748.81	5.10

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 103.08	IDB 16.23	CIF 15.11	GEF 7.17	ILO 2.06	4.91	148.55
2018年	CIF 14.84	EU Institutions 10.57	IDB 8.51	GEF 8.26	UNHCR 2.46	6.84	51.48
2019年	GEF 6.86	EU Institutions 6.83	IDB 3.97	ILO 2.89	UNFPA 1.97	5.12	27.63
2020年	EU Institutions 153.88	GEF 3.94	IDB 3.80	ILO 2.14	UNFPA 1.91	5.69	171.36
2021年	EU Institutions 10.01	GEF 7.29	IDB 3.04	UNHCR 2.68	ILO 2.25	13.61	38.87

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.27億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.25) ・草の根文化無償 (1件) (0.02)	・災害リスク管理ガバナンス能力強化プロジェクト [22.06～25.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中東・北アフリカ地域

中東・北アフリカ地域

表－1 中東・北アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	631.53 (19.3)	475.14 (14.1)	445.46 (13.6)	500.43 (13.1)	649.41 (16.2)	20,437.19
		技術協力	130.47 (5.9)	82.49 (4.3)	88.73 (4.5)	57.59 (3.5)	53.54 (3.2)	4,634.88
		贈与計	762.00 (13.9)	557.63 (10.6)	534.19 (10.1)	558.02 (10.2)	702.95 (12.4)	25,072.07
	政府貸付等 支出総額	972.39 (10.2)	1,124.44 (14.0)	979.32 (10.4)	1,377.30 (12.1)	1,248.49 (10.3)	27,670.79	
	<政府貸付等 支出純額>	<316.56>	<376.06>	<246.10>	<592.83>	<507.66>	<10,294.25>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		1,734.39 (11.5)	1,682.05 (12.7)	1,513.51 (10.3)	1,935.30 (11.5)	1,951.44 (11.0)	52,742.82	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,078.58>	<933.70>	<780.29>	<1,150.84>	<1,210.63>	<35,366.44>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める中東・北アフリカ地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中東・北アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	米国 5,234.90	ドイツ 4,716.20	英国 1,821.10	フランス 1,519.21	日本 1,513.51	18,363.78	1,513.51
	2020	ドイツ 5,131.24	米国 4,917.29	フランス 1,969.62	日本 1,935.30	英国 1,386.15	18,677.82	1,935.30
	2021	米国 6,129.68	ドイツ 5,054.45	フランス 2,045.95	日本 1,951.44	英国 999.55	20,093.72	1,951.44
政府貸付等	2019	ドイツ 1,091.32	日本 979.32	フランス 782.74	韓国 76.96	イタリア 64.13	2,999.89	979.32
	2020	日本 1,377.30	フランス 1,174.35	ドイツ 1,157.06	イタリア 101.48	オーストリア 8.33	3,822.37	1,377.30
	2021	日本 1,248.49	フランス 1,137.53	ドイツ 962.90	イタリア 88.62	韓国 72.26	3,561.70	1,248.49
無償資金協力	2019	米国 5,190.04	ドイツ 2,291.74	英国 1,744.48	ノルウェー 492.04	カナダ 456.81	13,005.97	445.46
	2020	米国 4,870.62	ドイツ 2,417.14	英国 1,329.14	日本 500.43	ノルウェー 418.79	12,222.00	500.43
	2021	米国 6,074.39	ドイツ 2,516.99	英国 946.87	日本 649.41	カナダ 538.39	13,907.23	649.41
技術協力	2019	ドイツ 1,333.13	フランス 441.81	日本 88.73	英国 76.62	カナダ 63.10	2,357.95	88.73
	2020	ドイツ 1,557.03	フランス 496.68	カナダ 133.43	日本 57.59	英国 57.01	2,633.43	57.59
	2021	ドイツ 1,574.56	フランス 508.15	カナダ 70.60	イタリア 61.38	オーストリア 56.96	2,624.80	53.54

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 中東・北アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	EU Institutions 5,146.91	IDA 971.44	UNRWA 765.02	AFESD 502.76	AsDB 203.59	1,022.89	8,612.64
	2020	EU Institutions 6,305.28	IDA 843.19	UNRWA 774.58	AFESD 522.48	IMF-CTF 380.33	1,269.94	10,095.78
	2021	EU Institutions 8,087.30	IDA 792.50	UNRWA 727.36	IMF-CTF 171.95	CERF 163.71	1,084.92	11,027.68
政府貸付等	2019	EU Institutions 1,430.69	AFESD 485.03	IMF-CTF 180.11	CEB 67.17	OPEC Fund 63.39	44.98	2,271.38
	2020	EU Institutions 2,168.74	AFESD 493.78	IMF-CTF 338.26	OPEC Fund 105.97	IDA 92.27	30.70	3,229.72
	2021	EU Institutions 3,484.07	OPEC Fund 156.32	AFESD 148.97	IMF-CTF 147.62	IDA 40.42	13.43	3,990.82
無償資金協力	2019	EU Institutions 3,309.23	IDA 953.16	UNRWA 765.02	AsDB 203.59	Isl.Dev Bank 94.86	608.40	5,934.26
	2020	EU Institutions 3,748.44	UNRWA 774.58	IDA 750.92	AsDB 338.73	CERF 195.16	669.18	6,476.97
	2021	EU Institutions 3,951.87	IDA 752.08	UNRWA 727.36	CERF 163.71	GFATM 104.77	685.75	6,385.50
技術協力	2019	EU Institutions 407.01	-	-	-	-	-	407.01
	2020	EU Institutions 388.11	IAEA 0.99	-	-	-	-	389.10
	2021	EU Institutions 651.36	-	-	-	-	-	651.36

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アフガニスタン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,113万人	380ドル	-20.7%	33.93億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	181.48	17.43
2019年度	-	46.34	14.48
2020年度	-	43.18	9.05
2021年度	-	8.89	13.17
2022年度	-	98.76	15.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7.20	6,108.83	680.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アフガニスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年度	-	208.58	25.11	233.69
2018年度	-	173.48	14.55	188.03
2019年度	-	116.46	14.98	131.44
2020年度	-	116.97	9.26	126.23
2021年度	-	201.66	10.87	212.53
累計	-0.17	5518.11	662.94	6,180.93

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 1,218.64	ドイツ 478.43	英国 292.29	日本 233.69	スウェーデン 118.74	2,839.27	233.69
2018年	米国 922.05	ドイツ 438.05	英国 332.95	日本 188.03	スウェーデン 146.32	2,677.56	188.03
2019年	米国 1,443.16	ドイツ 409.23	英国 400.06	スウェーデン 137.94	日本 131.44	3,071.58	131.44
2020年	米国 1,015.64	ドイツ 373.13	英国 291.39	日本 126.23	スウェーデン 119.24	2,368.82	126.23
2021年	米国 1,490.76	ドイツ 619.12	英国 258.89	日本 212.53	スウェーデン 115.86	3,398.35	212.53

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 414.86	AsDB 193.02	IDA 161.62	UNICEF 45.70	GAVI 28.28	97.92	941.40
2018年	EU Institutions 460.75	IDA 240.89	AsDB 219.30	GAVI 62.38	UNICEF 44.81	94.25	1,122.37
2019年	EU Institutions 415.51	IDA 379.93	AsDB 203.59	IMF-CTF 89.15	GAVI 48.78	114.99	1,251.94
2020年	IDA 609.49	EU Institutions 368.86	IMF-CTF 344.95	AsDB 338.73	UNICEF 38.01	121.35	1,821.39
2021年	EU Institutions 350.23	IDA 301.29	IMF-CTF 150.02	CERF 92.72	AsDB 57.47	167.28	1,119.02

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	98.76億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (20件) (8.23) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.91) ・アフガニスタン東部における地震被害に対する緊急無償資金協力(IFRC連携) (3.24) ・小児感染症予防計画(UNICEF連携) (37.03) ・食料生産能力向上計画(FAO連携) (18.79) ・コールドチェーンの機材整備を通じた保健システム強化計画(UNICEF連携) (7.49) ・アフガニスタン南部の国内避難民及び帰還民受入れ地域における生活環境改善計画(UNHCR連携) (17.97) ・第二次学校における水・衛生環境改善計画(UNICEF連携) (5.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] アルジェリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,490万人	3,920ドル	3.2%	71.29億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.06	0.25
2019年度	-	-	0.30
2020年度	-	0.05	0.15
2021年度	-	-	0.58
2022年度	-	0.22	0.52

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	139.43	14.23	79.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルジェリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.72	0.24	0.61	0.14
2018年	-0.73	-	1.11	0.39
2019年	-0.74	0.23	0.23	-0.28
2020年	-0.75	1.50	0.15	0.90
2021年	-0.73	1.00	0.23	0.50
累計	-30.19	12.49	76.33	58.68

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 120.48	米国 13.87	オランダ 11.84	ドイツ 9.48	英国 8.64	183.07	0.85
2018年	フランス 140.52	ドイツ 11.84	英国 8.82	スペイン 6.12	ベルギー 5.30	188.41	1.11
2019年	フランス 127.18	ドイツ 14.85	英国 10.83	スペイン 8.77	ベルギー 8.57	185.50	0.46
2020年	フランス 127.22	ドイツ 16.94	英国 8.87	スペイン 8.03	米国 4.93	180.00	1.65
2021年	フランス 132.72	ドイツ 31.83	英国 8.51	スペイン 4.93	イタリア 3.72	199.89	1.23

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 66.27	AfDB 2.99	UNICEF 1.17	WHO 1.11	GEF 0.91	3.68	76.13
2018年	EU Institutions 50.47	UNHCR 3.19	WFP 2.52	GFATM 2.22	AfDB 1.88	5.08	65.36
2019年	EU Institutions 52.00	UNHCR 2.72	GFATM 2.49	WFP 2.24	UNICEF 1.85	4.59	65.91
2020年	EU Institutions 85.46	UNHCR 2.75	AFESD 1.63	UNICEF 1.31	UNFPA 0.95	3.92	96.02
2021年	EU Institutions 36.88	UNHCR 4.11	WFP 2.77	UNICEF 1.69	GFATM 1.68	5.79	52.92

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.22億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.12) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] イエメン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,370万人	-	-	73.51億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イエメン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	39.41	0.28
2019年度	-	1.07	0.60
2020年度	-	28.97	0.06
2021年度	-	8.29	0.19
2022年度	-	18.57	0.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イエメン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	493.19	843.85	111.69

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イエメン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.07	50.58	0.06	50.57
2018年	-	33.81	0.30	34.11
2019年	-	59.97	0.45	60.42
2020年	-	47.54	0.21	47.75
2021年	-	66.54	0.23	66.77
累計	107.87	1010.98	97.41	1,216.28

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

表-3 主要ドナーの対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 440.44	英国 263.90	ドイツ 248.96	日本 50.64	オランダ 42.88	1,274.30	50.64
2018年	米国 599.34	ドイツ 233.28	英国 221.92	オランダ 48.41	スウェーデン 42.41	1,354.82	34.11
2019年	米国 638.24	英国 332.38	ドイツ 241.83	日本 60.42	デンマーク 41.19	1,534.43	60.42
2020年	米国 704.72	ドイツ 305.35	英国 283.62	スウェーデン 50.65	日本 47.75	1,609.05	47.75
2021年	米国 901.82	ドイツ 397.67	英国 157.38	日本 66.77	カナダ 64.59	1,818.77	66.77

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 547.90	EU Institutions 163.42	CERF 25.55	GAVI 21.86	WFP 17.89	33.85	810.48
2018年	IDA 366.08	EU Institutions 160.66	CERF 49.91	GAVI 29.45	AFESD 14.45	26.67	647.20
2019年	IDA 573.23	EU Institutions 208.29	CERF 31.67	AFESD 13.91	GAVI 11.30	36.99	875.37
2020年	EU Institutions 201.15	IDA 141.43	CERF 65.00	IMF-CTF 35.38	AFESD 23.94	58.15	525.05
2021年	IDA 450.79	EU Institutions 195.38	CERF 39.99	GAVI 22.37	IMF-CTF 21.93	61.04	791.51

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	18.57億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (6件) (2.42) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.51) ・アデン港における効率性改善計画(UNDP連携) (4.84) ・イエメンにおける食料危機に対する緊急無償資金協力(WFP連携) (10.80)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] イラク

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,450万人	5,270ドル	7.0%	225.88億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イラク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	373.43	9.77	6.71
2019年度	1,100.00	7.81	6.72
2020年度	-	2.19	2.22
2021年度	327.00	4.82	6.49
2022年度	1,200.00	2.13	13.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イラク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	9,830.22	1,938.66	242.59

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イラク援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	286.73	53.26	13.14	353.13
2018年	411.18	56.31	6.69	474.17
2019年	154.22	51.09	7.11	212.43
2020年	644.29	50.63	3.89	698.81
2021年	231.90	51.60	4.63	288.13
累計	4,290.40	8211.70	209.12	12,711.20

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 534.28	フランス 446.22	米国 413.76	日本 370.00	イタリア 128.15	2,297.91	370.00
2018年	米国 556.70	日本 555.01	ドイツ 502.49	英国 101.71	カナダ 76.44	2,046.85	555.01
2019年	米国 598.78	ドイツ 507.66	日本 304.40	英国 104.51	カナダ 66.05	1,815.95	304.40
2020年	日本 820.63	米国 534.71	ドイツ 407.29	カナダ 71.21	英国 61.17	2,145.79	820.63
2021年	米国 462.93	日本 459.38	ドイツ 366.58	カナダ 74.23	英国 69.74	1,672.38	459.38

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 188.24	WFP 10.63	CERF 10.00	UNICEF 4.13	WHO 2.82	6.38	222.18
2018年	EU Institutions 273.76	WFP 11.31	UNICEF 4.04	WHO 3.07	GFATM 2.76	5.13	300.09
2019年	EU Institutions 232.12	IMF-CTF 86.85	WFP 7.07	WHO 3.19	UNICEF 2.90	5.23	337.37
2020年	EU Institutions 272.27	WFP 10.19	UNHCR 5.40	UNFPA 3.45	UNICEF 2.93	3.37	297.61
2021年	EU Institutions 195.45	UNHCR 17.58	UNFPA 3.66	GEF 3.47	WHO 2.94	10.99	234.09

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	1200.00億円 (1,200.00)	2.13億円 (3件) (1.41) (1件) (0.62) (1件) (0.10)	・クルディスタン農業試験センター運営強化プロジェクト [22.11~26.09]
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援	
		・日本NGO連携無償	
		・草の根・人間の安全保障無償	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] イラン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,855万人	3,980ドル	3.8%	99.50億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イラン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.62	9.92
2019年度	-	2.75	8.28
2020年度	-	6.76	3.12
2021年度	-	8.75	6.13
2022年度	-	15.86	2.77

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イラン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.08	134.79	318.75

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イラン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-23.08	16.67	12.84	6.43
2018年	-11.98	9.60	6.83	4.46
2019年	-4.81	6.37	11.14	12.70
2020年	-3.79	11.12	4.09	11.42
2021年	-1.84	41.55	2.81	42.52
累計	-112.61	176.82	336.40	400.60

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 70.67	日本 29.51	オーストリア 11.11	フランス 10.28	ノルウェー 2.54	132.00	29.51
2018年	ドイツ 83.54	日本 16.43	オーストリア 12.06	フランス 11.24	米国 5.49	142.99	16.43
2019年	ドイツ 93.33	日本 17.51	フランス 12.20	オーストリア 10.90	韓国 5.64	158.38	17.51
2020年	ドイツ 104.76	日本 15.21	フランス 13.56	オーストリア 11.21	韓国 8.82	174.98	15.21
2021年	ドイツ 111.14	日本 44.36	オーストリア 18.46	フランス 13.31	韓国 9.96	225.46	44.36

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 15.96	GFATM 5.23	WHO 1.63	UNICEF 1.25	GEF 1.18	2.02	27.28
2018年	EU Institutions 16.61	UNHCR 9.29	GFATM 4.11	UNICEF 1.35	UNFPA 0.90	2.57	34.85
2019年	EU Institutions 21.54	UNHCR 9.96	WHO 2.36	GFATM 2.10	CERF 1.97	8.21	46.16
2020年	EU Institutions 32.35	GFATM 5.27	UNHCR 4.38	UNFPA 1.55	UNICEF 1.25	2.41	47.20
2021年	EU Institutions 32.49	GFATM 12.14	GEF 2.30	UNFPA 2.17	WHO 1.87	3.63	54.59

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	15.86億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.82) ・チャーバハール地域における淡水化システムの供与及び効果的な農業水利を通じた脆弱な地域コミュニティの水不足に対する強靱性強化計画(UNDP連携) (3.82) ・チャーバハール港への貨物検査装置供与計画(UNOPS連携) (11.22)	・災害強靱性を高めるためのテヘラン市及び地方防災計画策定能力向上プロジェクト [22.05~25.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] エジプト

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.11億人	4,100ドル	6.6%	1,631.04億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エジプト援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.39	25.74
2019年度	-	0.37	20.75
2020年度	250.00	14.07	11.43
2021年度	-	5.28	21.28
2022年度	850.00	5.35	14.69

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エジプト援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,236.33	1,603.92	911.63

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エジプト援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-83.10	7.62	32.24	-43.24
2018年	82.16	3.76	18.33	104.25
2019年	122.37	13.99	24.77	161.13
2020年	57.39	18.93	15.74	92.06
2021年	139.09	25.83	13.04	177.96
累計	1,449.33	1462.12	873.68	3,785.13

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 280.06	ドイツ 201.37	日本 139.97	米国 96.60	英国 29.82	804.76	139.97
2018年	ドイツ 504.43	日本 294.58	フランス 168.59	米国 158.53	韓国 77.90	1,290.23	294.58
2019年	ドイツ 423.66	日本 357.89	米国 223.79	フランス 175.10	韓国 63.91	1,345.67	357.89
2020年	日本 311.17	フランス 247.38	米国 183.55	ドイツ 173.95	イタリア 25.19	1,022.28	311.17
2021年	日本 369.16	フランス 284.46	米国 203.05	ドイツ 180.23	韓国 74.85	1,281.22	369.16

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 262.93	AFESD 118.29	IFAD 27.98	UNHCR 5.23	OPEC Fund 5.02	19.88	439.32
2018年	EU Institutions 381.78	AFESD 142.92	OPEC Fund 31.74	IFAD 18.60	CIF 17.74	40.43	633.17
2019年	EU Institutions 690.13	AFESD 230.85	OPEC Fund 29.39	Isl.Dev Bank 12.14	WFP 10.33	26.63	999.47
2020年	EU Institutions 899.92	AFESD 227.52	OPEC Fund 38.39	WFP 10.39	GEF 6.74	27.07	1,210.03
2021年	EU Institutions 2,214.45	AFESD 80.43	OPEC Fund 32.96	GCF 12.94	UNHCR 9.06	31.19	2,381.02

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	850.00億円	5.35億円	
	・カイロ地下鉄四号線第一期整備計画(II) (410.00)	・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.15)	・就学前の教育と保育の質向上プロジェクトフェーズ2 [22.09～26.08]
	・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジのための開発政策借款 (440.00)	・農業生産性向上計画(FAO連携) (5.20)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] シリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,213万人	560ドル	1.3%	48.48億ドル	低所得国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	24.86	3.37
2019年度	-	39.50	4.91
2020年度	-	34.88	3.97
2021年度	-	31.30	2.26
2022年度	-	35.23	3.75

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,386.11	562.43	322.02

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	52.44	2.51	54.95
2018年	-	55.72	1.98	57.70
2019年	-	65.33	3.74	69.07
2020年	-	72.17	3.98	76.15
2021年	-	84.02	3.63	87.65
累計	302.09	705.84	302.57	1,310.54

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 879.79	米国 631.44	英国 410.63	ノルウェー 129.56	カナダ 107.91	2,578.76	54.95
2018年	ドイツ 768.77	米国 696.85	英国 319.88	ノルウェー 123.56	カナダ 109.15	2,520.63	57.70
2019年	ドイツ 765.12	米国 577.92	英国 289.99	ノルウェー 135.77	カナダ 93.93	2,337.14	69.07
2020年	ドイツ 890.45	米国 691.06	英国 233.73	ノルウェー 101.00	日本 76.15	2,436.73	76.15
2021年	米国 804.97	ドイツ 670.39	英国 125.27	ノルウェー 104.48	日本 87.65	2,270.76	87.65

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 354.22	UNRWA 39.97	WFP 7.52	UNHCR 6.33	UNICEF 2.75	4.79	415.57
2018年	EU Institutions 569.81	UNRWA 46.73	WFP 11.26	UNHCR 7.97	FAO 6.35	10.92	653.04
2019年	EU Institutions 443.07	UNRWA 60.13	WFP 10.59	UNICEF 4.65	UNFPA 2.55	6.21	527.20
2020年	EU Institutions 306.20	CERF 54.88	UNRWA 45.55	WFP 11.60	UNHCR 7.35	13.25	438.84
2021年	EU Institutions 555.63	UNRWA 44.34	CERF 22.00	WFP 14.53	Adaptation Fund 6.83	19.13	662.45

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	35.23億円	なし
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (14件) (6.70) ・日本NGO連携無償 (1件) (1.10) ・ホームスにおける保健システム強化計画(UNOPS連携) (6.98) ・ホームス県及びハマ県における社会的弱者のレジリエンス強化のための社会サービス改善計画(UNICEF連携) (7.35) ・保健医療サービス強化計画(WHO連携) (6.62) ・トルコ及びシリアにおける地震被害に対する緊急無償資金協力(UNHCR連携) (1.84) ・同上案件(UNICEF連携) (1.40) ・同上案件(ICRC連携) (1.40) ・同上案件(UNDP連携) (1.08) ・同上案件(UNRWA連携) (0.54) ・同上案件(OCHA連携) (0.22) 	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] チュニジア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,236万人	3,830ドル	2.4%	396.52億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チュニジア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.16	3.93
2019年度	-	3.23	5.66
2020年度	-	17.43	1.52
2021年度	-	3.37	7.58
2022年度	120.00	0.19	3.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チュニジア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,531.77	85.40	293.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チュニジア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	35.39	2.72	4.67	42.78
2018年	67.79	0.35	2.66	70.79
2019年	96.59	0.71	4.89	102.19
2020年	-35.99	9.56	3.34	-23.10
2021年	5.67	1.52	2.79	9.97
累計	644.32	67.18	269.24	980.68

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 186.93	フランス 179.54	日本 110.18	イタリア 50.70	米国 29.64	616.03	110.18
2018年	ドイツ 268.96	日本 155.31	フランス 153.86	米国 45.50	イタリア 27.86	718.77	155.31
2019年	ドイツ 311.40	フランス 256.87	日本 179.57	米国 125.39	イタリア 44.86	1,011.52	179.57
2020年	ドイツ 372.87	フランス 226.08	米国 93.84	イタリア 90.44	日本 59.47	920.63	59.47
2021年	ドイツ 440.58	フランス 286.36	米国 109.86	日本 86.54	イタリア 54.00	1,070.93	86.54

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 487.46	AFESD 138.09	AfDB 11.25	GFATM 2.90	GEF 1.95	5.83	647.47
2018年	EU Institutions 422.07	AFESD 116.15	GFATM 2.90	UNHCR 2.24	GEF 1.53	5.23	550.12
2019年	EU Institutions 376.42	AFESD 71.63	OPEC Fund 8.46	UNHCR 2.52	ILO 1.85	6.21	467.09
2020年	EU Institutions 454.39	AFESD 63.07	OPEC Fund 53.84	UNHCR 2.97	Adaptation Fund 2.28	10.82	587.37
2021年	EU Institutions 545.49	OPEC Fund 38.71	AFESD 25.27	GFATM 2.91	GEF 2.81	10.91	626.11

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	120.00億円 ・社会的保護強化支援計画 (120.00)	0.19億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.19)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] トルコ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,498万人	10,640ドル	5.5%	4,586.99億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.51	1.75
2019年度	-	1.51	1.58
2020年度	-	1.86	0.40
2021年度	774.00	2.06	0.71
2022年度	-	2.38	4.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7,752.43	57.51	471.80

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-45.42	14.31	3.20	-27.91
2018年	-74.24	7.88	1.57	-64.79
2019年	-95.68	9.57	1.62	-84.49
2020年	-141.08	14.45	1.30	-125.32
2021年	-56.49	14.12	0.58	-41.78
累計	1,552.14	140.26	449.33	2,141.78

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 657.87	フランス 538.07	英国 177.61	日本 163.76	イタリア 111.75	1,948.86	163.76
2018年	ドイツ 439.79	フランス 294.10	日本 133.81	英国 96.74	イタリア 59.37	1,290.44	133.81
2019年	ドイツ 457.06	フランス 184.95	日本 87.42	英国 71.79	米国 64.34	1,050.10	87.42
2020年	ドイツ 534.89	フランス 299.80	英国 66.95	米国 50.42	日本 50.18	1,199.64	50.18
2021年	ドイツ 363.33	フランス 228.23	日本 104.19	米国 66.16	英国 52.22	963.55	104.19

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 2,597.52	CEB 67.64	UNHCR 13.41	CIF 9.37	GEF 4.20	4.59	2,696.71
2018年	EU Institutions 1,907.65	CEB 23.60	CIF 11.20	GEF 2.65	UNICEF 2.25	4.97	1,952.33
2019年	EU Institutions 1,447.28	CEB 67.17	OPEC Fund 8.26	UNHCR 5.14	GEF 2.88	9.17	1,539.90
2020年	EU Institutions 1,450.12	CIF 8.48	GEF 6.06	UNFPA 2.43	UNICEF 1.56	1.70	1,470.34
2021年	EU Institutions 2,130.60	GEF 3.66	UNFPA 2.26	WHO 1.39	UNICEF 1.31	4.46	2,143.68

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.38億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (4件) (1.15)	・ブルサ大都市圏における地震リスク軽減・防災計画プロジェクト [23.03~26.09]
		・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.32)	・地方自治体の災害リスク管理及び廃棄物管理能力向上プロジェクト [23.03~26.03]
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.90)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] パレスチナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
504万人	4,610ドル	3.9%	—	低中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パレスチナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	40.84	10.99
2019年度	-	34.48	8.30
2020年度	-	24.36	4.78
2021年度	-	39.65	12.24
2022年度	-	50.85	21.23

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パレスチナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1,183.99	213.68

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パレスチナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	34.72	12.22	46.94
2018年	-	38.40	9.93	48.33
2019年	-	44.05	7.95	52.00
2020年	-	55.64	6.36	62.00
2021年	-	84.40	6.96	91.36
累計	-	1,058.06	191.81	1,249.87

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 333.12	ドイツ 176.18	英国 79.74	ノルウェー 70.88	スウェーデン 66.64	1,072.11	46.94
2018年	米国 269.86	ドイツ 212.47	フランス 79.46	ノルウェー 78.59	英国 65.92	1,084.32	48.33
2019年	ドイツ 216.05	英国 103.06	ノルウェー 70.30	米国 70.12	フランス 57.97	905.75	52.00
2020年	ドイツ 225.18	ノルウェー 66.86	英国 66.50	フランス 66.16	日本 62.00	817.32	62.00
2021年	ドイツ 293.20	日本 91.36	ノルウェー 81.07	フランス 70.91	スウェーデン 70.33	1,002.64	91.36

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	UNRWA 521.73	EU Institutions 295.46	Isl.Dev Bank 89.66	WFP 5.36	CERF 4.24	10.98	927.45
2018年	UNRWA 438.29	EU Institutions 296.16	CERF 16.27	WFP 8.38	UNICEF 5.14	10.33	774.58
2019年	UNRWA 437.28	EU Institutions 237.95	Isl.Dev Bank 85.11	WFP 18.72	CERF 7.75	16.08	802.87
2020年	UNRWA 449.50	EU Institutions 272.16	Isl.Dev Bank 73.89	CERF 22.29	WFP 14.04	18.32	850.19
2021年	UNRWA 420.75	EU Institutions 227.26	Isl.Dev Bank 49.50	UNICEF 6.41	CERF 5.00	21.33	730.23

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	50.85億円	
		・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通 じた人道支援 (4件) (1.86)	・市場志向型農業普及主流 化プロジェクト [22.10～ 27.10]
		・日本NGO連携無償 (6件) (4.17)	・西岸地区家畜衛生サービス 改善プロジェクト [23.02～ 27.02]
		・草の根・人間の安 全保障無償 (7件) (0.69)	
		・経済社会開発計画 (1件) (10.00)	
		・食糧援助(WFP連携) (2.00)	
		・食糧援助(UNRWA連携) (2.00)	
		・感染性廃棄物管理改善計画 (10.06)	
		・教育の質及び環境改善のた めの学校建設計画(国債3/4) (11.06)	
		・ガザ地区における人道状況 の悪化を受けた緊急無償資金 協力(UNRWA連携) (3.62)	
		・世界的な食料安全保障をめ ぐる状況の悪化への対応のた めの緊急無償資金協力(UNR WA連携) (5.40)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] モロッコ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,746万人	3,670ドル	1.3%	647.13億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モロッコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.15	8.57
2019年度	-	2.46	4.47
2020年度	208.49	5.16	3.21
2021年度	-	0.34	3.87
2022年度	220.00	0.15	6.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モロッコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,544.49	379.37	419.96

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モロッコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	59.38	7.48	10.32	77.18
2018年	-15.71	8.77	8.62	1.69
2019年	-65.40	1.38	4.80	-59.22
2020年	-41.41	8.22	3.35	-29.84
2021年	144.42	0.95	2.40	147.78
累計	1,207.23	321.25	380.34	1,908.83

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 537.69	ドイツ 459.34	日本 158.44	米国 51.87	スペイン 30.61	1,297.93	158.44
2018年	フランス 373.28	ドイツ 265.26	日本 90.80	米国 58.96	スペイン 36.54	878.06	90.80
2019年	フランス 444.73	ドイツ 254.07	米国 63.43	スペイン 45.46	日本 32.71	904.62	32.71
2020年	ドイツ 617.63	フランス 587.85	米国 80.57	日本 61.09	スペイン 35.23	1,428.15	61.09
2021年	フランス 597.36	ドイツ 461.00	日本 233.33	米国 188.81	スペイン 32.42	1,569.81	233.33

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 710.79	AFESD 126.56	OPEC Fund 11.06	GCF 10.49	GFATM 7.46	18.00	884.35
2018年	EU Institutions 380.61	AFESD 85.44	CIF 53.06	OPEC Fund 27.28	GFATM 5.35	18.14	569.89
2019年	EU Institutions 531.21	AFESD 115.69	GCF 19.03	OPEC Fund 13.44	GFATM 7.36	17.03	703.78
2020年	EU Institutions 1,083.14	AFESD 146.20	GCF 28.73	OPEC Fund 12.23	CIF 8.00	17.54	1,295.85
2021年	EU Institutions 393.25	AFESD 28.40	OPEC Fund 12.90	CIF 12.00	GFATM 7.54	23.01	477.08

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	220.00億円 ・基礎教育の学習環境改善のための開発政策借款 (220.00)	0.15億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.15)	・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジのためのプログラム支援【有償勘定技術支援】 [22.12~23.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ヨルダン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,129万人	4,350ドル	2.4%	412.04億ドル	高中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ヨルダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	336.60	24.44	8.92
2019年度	-	21.23	7.24
2020年度	-	5.86	5.17
2021年度	110.00	13.99	6.78
2022年度	150.00	16.71	8.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ヨルダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,284.19	1,002.58	400.66

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ヨルダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	94.84	84.20	10.25	189.29
2018年	-76.98	16.81	8.09	-52.09
2019年	48.64	30.43	6.54	85.60
2020年	119.93	48.18	5.36	173.46
2021年	46.13	24.68	4.62	75.43
累計	901.04	958.48	365.77	2,225.25

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 902.64	ドイツ 332.14	日本 272.46	フランス 176.84	カナダ 87.67	2,025.09	272.46
2018年	米国 1,141.32	ドイツ 367.07	英国 184.62	フランス 133.02	カナダ 87.96	2,139.79	33.87
2019年	米国 1,111.30	ドイツ 551.01	日本 170.72	英国 167.81	カナダ 72.85	2,280.06	170.72
2020年	米国 1,217.34	ドイツ 449.66	日本 256.89	フランス 137.45	英国 104.38	2,363.04	256.89
2021年	米国 1,275.19	ドイツ 496.36	日本 136.79	フランス 130.35	英国 85.92	2,400.37	136.79

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 228.82	UNRWA 218.56	AFESD 52.36	IDA 8.39	OPEC Fund 4.05	10.40	522.57
2018年	EU Institutions 178.83	UNRWA 176.69	AFESD 20.32	IDA 15.05	UNICEF 3.31	11.74	405.95
2019年	UNRWA 169.80	EU Institutions 166.91	AFESD 22.16	IDA 18.28	WFP 8.91	17.06	403.13
2020年	EU Institutions 474.55	UNRWA 177.84	IDA 34.94	AFESD 18.54	CERF 6.00	21.51	733.39
2021年	EU Institutions 674.58	UNRWA 167.15	OPEC Fund 70.50	IDA 33.07	AFESD 4.17	24.25	973.70

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	150.00億円 ・電力セクター改革及び強靱性強化プログラム・ローン (150.00)	16.71億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.69) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.20) ・ザイ給水システム改良計画 (15.82)	・AIエコシステム促進プロジェクト [22.11~26.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] リビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
681万人	7,260ドル	-1.2%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.04
2019年度	-	-	0.02
2020年度	-	-	0.03
2021年度	-	1.98	0.02
2022年度	-	2.00	0.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	10.46	2.26

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.64	-	2.64
2018年	-	1.30	0.03	1.33
2019年	-	3.22	0.02	3.24
2020年	-	9.47	0.02	9.49
2021年	-	14.69	0.02	14.71
累計	-	49.41	5.46	54.87

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 172.07	イタリア 60.37	米国 44.64	英国 18.99	オランダ 6.61	338.04	2.64
2018年	米国 65.67	ドイツ 54.36	イタリア 25.61	英国 17.56	フランス 6.45	206.11	1.33
2019年	米国 64.39	ドイツ 32.74	英国 20.97	イタリア 17.54	スイス 7.83	185.73	3.24
2020年	米国 65.83	ドイツ 46.64	イタリア 39.32	英国 17.07	フランス 10.89	220.44	9.49
2021年	米国 78.28	ドイツ 50.87	イタリア 24.07	英国 17.61	日本 14.71	226.58	14.71

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 64.53	CERF 6.36	WFP 1.76	UNICEF 1.05	UNPBF 1.01	1.59	76.30
2018年	EU Institutions 58.88	CERF 11.76	WHO 2.85	UNPBF 1.96	UNFPA 1.37	1.33	78.16
2019年	EU Institutions 84.86	WFP 7.65	CERF 3.76	UNFPA 2.34	WHO 2.23	5.37	106.22
2020年	EU Institutions 58.37	WFP 7.74	UNICEF 1.98	UNFPA 1.66	WHO 0.54	0.62	70.91
2021年	EU Institutions 92.00	UNFPA 2.12	WFP 1.92	SPRP 1.59	UNICEF 1.04	3.48	102.16

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.00億円 ・食糧援助(WFP連携) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] レバノン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
549万人	4,970ドル	-7.0%	671.09億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レバノン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.31	1.14
2019年度	-	5.81	0.33
2020年度	-	13.11	0.36
2021年度	-	3.97	0.39
2022年度	-	2.72	0.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レバノン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	130.22	98.03	20.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レバノン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-6.21	18.19	1.40	13.38
2018年	-6.31	11.10	1.75	6.55
2019年	-6.39	11.09	0.39	5.09
2020年	-6.52	24.51	0.29	18.28
2021年	-6.35	16.30	0.36	10.32
累計	4.62	197.76	24.70	227.11

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 203.82	ドイツ 192.58	英国 150.02	カナダ 69.01	ノルウェー 63.49	905.59	19.59
2018年	ドイツ 243.87	米国 182.55	英国 128.70	オランダ 82.33	カナダ 68.60	977.17	12.85
2019年	米国 238.74	ドイツ 220.83	英国 189.82	フランス 83.84	カナダ 59.70	1,002.00	11.48
2020年	ドイツ 294.11	米国 247.07	英国 154.44	フランス 103.62	カナダ 74.84	1,123.91	24.80
2021年	ドイツ 355.49	米国 271.47	フランス 129.64	英国 79.73	カナダ 68.26	1,155.20	16.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 182.88	AFESD 145.90	UNRWA 112.64	IDA 25.47	UNHCR 12.45	7.94	487.28
2018年	EU Institutions 203.31	UNRWA 97.56	AFESD 36.71	UNHCR 8.93	UNICEF 4.72	10.57	361.80
2019年	EU Institutions 133.13	UNRWA 97.81	AFESD 41.56	UNHCR 11.62	UNICEF 5.24	10.27	299.64
2020年	EU Institutions 139.74	UNRWA 101.69	IDA 57.33	AFESD 30.36	CERF 18.99	17.67	365.78
2021年	EU Institutions 160.97	UNRWA 95.12	IDA 7.35	AFESD 7.07	GEF 6.27	22.15	298.92

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.72億円 ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (0.89) ・草の根・人間の安全保障無償 (11件) (1.18) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.65)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

サブサハラ・アフリカ地域

サブサハラ・アフリカ地域

表-1 サブサハラ・アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	549.49 (16.8)	542.37 (16.1)	657.81 (20.0)	711.66 (18.6)	668.69 (16.7)	31,724.19
		技術協力	362.29 (16.3)	296.78 (15.5)	307.81 (15.4)	235.15 (14.2)	277.94 (16.6)	9,328.66
		贈与計	911.78 (16.6)	839.15 (15.9)	965.62 (18.3)	946.81 (17.3)	946.63 (16.7)	41,052.85
	政府貸付等 支出総額	379.22 (4.0)	430.58 (5.4)	475.82 (5.1)	373.69 (3.3)	705.56 (5.8)	10,700.98	
	<政府貸付等 支出純額>	<274.01>	<319.90>	<367.87>	<256.28>	<658.32>	<2,764.76>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		1,291.00 (8.6)	1,269.75 (9.6)	1,441.44 (9.8)	1,320.48 (7.8)	1,652.16 (9.3)	51,753.80	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,185.76>	<1,159.04>	<1,333.50>	<1,203.08>	<1,604.94>	<43,817.62>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占めるサブサハラ・アフリカ地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 サブサハラ・アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	米国 9,493.45	ドイツ 3,332.77	英国 3,229.10	フランス 2,841.79	日本 1,441.44	26,710.21	1,441.44
	2020	米国 11,361.94	ドイツ 4,293.19	フランス 3,926.65	英国 2,825.11	日本 1,320.48	30,306.48	1,320.48
	2021	米国 13,584.59	ドイツ 4,376.37	フランス 3,281.61	英国 1,946.52	日本 1,652.16	33,351.23	1,652.16
政府貸付等	2019	フランス 1,437.33	日本 475.82	ドイツ 371.16	韓国 151.74	イタリア 25.73	2,524.77	475.82
	2020	フランス 2,195.26	日本 373.69	ドイツ 326.62	米国 259.40	韓国 159.26	3,428.39	373.69
	2021	フランス 1,720.95	日本 705.56	ドイツ 254.72	韓国 231.28	英国 88.48	3,066.51	705.56
無償資金協力	2019	米国 9,302.95	英国 2,774.57	ドイツ 1,942.00	フランス 989.54	スウェーデン 928.48	20,881.80	657.81
	2020	米国 10,945.89	ドイツ 2,773.07	英国 2,431.92	フランス 1,189.93	スウェーデン 985.21	23,536.68	711.66
	2021	米国 13,433.92	ドイツ 2,595.06	英国 1,540.38	スウェーデン 1,250.46	フランス 1,049.13	26,596.24	668.69
技術協力	2019	ドイツ 1,019.62	英国 454.53	フランス 414.93	日本 307.81	カナダ 244.72	3,303.62	307.81
	2020	ドイツ 1,193.52	フランス 541.46	英国 376.02	カナダ 303.77	日本 235.15	3,341.44	235.15
	2021	ドイツ 1,526.59	フランス 511.51	英国 317.67	カナダ 303.02	日本 277.94	3,688.46	277.94

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 サブサハラ・アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	IDA 11,456.36	EU Institutions 5,147.18	GFATM 2,598.06	AfDF 1,631.20	GAVI 1,153.70	3,683.04	25,669.53
	2020	IDA 13,356.70	IMF-CTF 7,656.82	EU Institutions 5,566.68	GFATM 3,119.92	AfDF 2,331.84	4,292.34	36,324.25
	2021	IDA 12,674.78	EU Institutions 4,848.30	IMF-CTF 4,141.70	GFATM 3,848.94	AfDF 1,641.24	4,200.55	31,355.59
政府貸付等	2019	IDA 8,761.71	AfDF 1,085.68	IMF-CTF 486.57	EU Institutions 407.69	IFAD 267.59	434.07	11,443.29
	2020	IDA 8,957.55	IMF-CTF 7,249.31	AfDF 1,105.94	EU Institutions 481.93	OPEC Fund 236.74	464.90	18,496.40
	2021	IDA 7,982.58	IMF-CTF 3,859.28	AfDF 964.60	EU Institutions 426.74	OPEC Fund 289.50	277.80	13,800.54
無償資金協力	2019	EU Institutions 4,131.07	IDA 2,694.64	GFATM 2,598.06	GAVI 1,153.70	UNICEF 576.97	2,463.36	13,617.84
	2020	EU Institutions 4,449.95	IDA 4,399.14	GFATM 3,119.92	AfDF 1,225.86	GAVI 918.21	3,076.79	17,189.88
	2021	IDA 4,692.22	GFATM 3,848.94	EU Institutions 3,765.13	GAVI 861.53	AfDF 676.64	3,054.15	16,898.70
技術協力	2019	EU Institutions 608.43	-	-	-	-	-	608.43
	2020	EU Institutions 634.80	IAEA 3.18	-	-	-	-	638.02
	2021	EU Institutions 656.42	-	-	-	-	-	656.42

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

アフリカ大陸全土地域

表－1 アフリカ大陸全土地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	658.43 (20.1)	597.60 (17.8)	695.21 (21.2)	769.09 (20.1)	751.57 (18.8)	34,372.27
		技術協力	427.76 (19.2)	342.96 (17.9)	345.15 (17.3)	257.84 (15.6)	297.07 (17.8)	11,153.15
		贈与計	1,086.19 (19.7)	940.56 (17.8)	1,040.36 (19.7)	1,026.93 (18.8)	1,048.64 (18.5)	45,525.42
	政府貸付等 支出総額	1,029.40 (10.7)	928.78 (11.6)	1,086.86 (11.6)	746.30 (6.5)	1,348.06 (11.1)	23,686.29	
	<政府貸付等 支出純額>	<588.24>	<445.23>	<532.13>	<221.80>	<932.49>	<7,322.74>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		2,115.59 (14.0)	1,869.36 (14.1)	2,127.23 (14.5)	1,773.19 (10.5)	2,396.67 (13.5)	69,211.67	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<1,674.41>	<1,385.80>	<1,572.50>	<1,248.71>	<1,981.12>	<52,848.18>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占めるアフリカ大陸全土地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 アフリカ大陸全土地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	米国 9,973.27	ドイツ 5,260.75	フランス 3,988.07	英国 3,850.02	日本 2,127.23	32,692.16	2,127.23
	2020	米国 11,791.00	ドイツ 6,611.88	フランス 5,244.66	英国 3,358.05	日本 1,773.19	36,713.59	1,773.19
	2021	米国 14,235.68	ドイツ 6,748.14	フランス 4,713.06	英国 2,410.39	日本 2,396.67	41,168.52	2,396.67
政府貸付等	2019	フランス 2,040.74	ドイツ 1,458.65	日本 1,086.86	韓国 209.17	イタリア 43.42	4,951.85	1,086.86
	2020	フランス 3,021.08	ドイツ 1,727.84	日本 746.30	米国 259.40	イタリア 183.35	6,343.63	746.30
	2021	フランス 2,575.09	ドイツ 1,371.54	日本 1,348.06	韓国 300.01	カナダ 278.68	6,283.56	1,348.06
無償資金協力	2019	米国 9,759.78	英国 3,299.86	ドイツ 2,163.03	フランス 1,180.34	スウェーデン 1,005.04	23,118.79	695.21
	2020	米国 11,352.39	ドイツ 3,099.51	英国 2,885.01	フランス 1,267.43	スウェーデン 1,056.77	25,711.25	769.09
	2021	米国 14,062.46	ドイツ 3,146.72	英国 1,923.51	カナダ 1,522.04	スウェーデン 1,364.64	29,751.47	751.57
技術協力	2019	ドイツ 1,639.08	フランス 766.99	英国 550.16	日本 345.15	カナダ 324.05	4,621.53	345.15
	2020	ドイツ 1,784.54	フランス 956.16	英国 455.87	カナダ 338.61	日本 257.84	4,658.72	257.84
	2021	ドイツ 2,229.87	フランス 943.26	英国 398.41	カナダ 352.35	日本 297.07	5,133.47	297.07

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 アフリカ大陸全土に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	IDA 11,483.94	EU Institutions 7,449.74	GFATM 2,633.84	AfDF 1,943.63	GAVI 1,153.70	4,440.71	29,105.60
	2020	IDA 13,356.70	EU Institutions 9,808.20	IMF-CTF 7,656.82	GFATM 3,150.83	AfDF 2,841.87	5,157.23	41,971.60
	2021	IDA 12,674.78	EU Institutions 8,927.30	IMF-CTF 4,141.70	GFATM 3,879.01	AfDF 2,546.45	4,774.79	36,944.12
政府貸付等	2019	IDA 8,761.71	EU Institutions 1,681.70	AfDF 1,085.68	AFESD 631.35	IMF-CTF 486.57	560.93	13,207.93
	2020	IDA 8,957.55	IMF-CTF 7,249.31	EU Institutions 2,421.71	AfDF 1,105.94	AFESD 519.84	787.62	21,042.00
	2021	IDA 7,982.58	IMF-CTF 3,859.28	EU Institutions 3,365.04	AfDF 964.60	OPEC Fund 374.07	445.23	16,990.83
無償資金協力	2019	EU Institutions 4,906.34	IDA 2,722.22	GFATM 2,633.84	GAVI 1,153.70	AfDF 857.99	2,761.81	15,035.98
	2020	EU Institutions 6,545.36	IDA 4,399.14	GFATM 3,150.83	AfDF 1,735.89	GAVI 918.21	3,333.21	20,082.66
	2021	IDA 4,692.22	EU Institutions 4,679.82	GFATM 3,879.01	AfDF 1,581.85	GAVI 861.53	3,376.40	19,070.94
技術協力	2019	EU Institutions 861.73	-	-	-	-	-	861.73
	2020	EU Institutions 841.14	IAEA 5.82	-	-	-	-	847.00
	2021	EU Institutions 882.42	-	-	-	-	-	882.42

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アンゴラ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,559万人	1,880ドル	3.0%	601.07億ドル	後開発途上国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンゴラ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.98	5.01
2019年度	-	3.66	3.51
2020年度	-	5.46	1.51
2021年度	-	1.28	2.86
2022年度	-	3.94	4.96

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンゴラ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	236.40	435.41	85.90

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンゴラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.79	2.92	3.71
2018年	-	12.07	5.09	17.16
2019年	-	5.90	2.81	8.71
2020年	-	3.99	3.28	7.27
2021年	-	5.96	2.03	7.99
累計	195.06	332.92	79.40	607.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 59.28	韓国 15.73	ノルウェー 7.69	フランス 5.97	ポルトガル 4.71	107.05	3.71
2018年	米国 52.74	日本 17.16	韓国 11.81	ノルウェー 6.45	フランス 6.33	111.00	17.16
2019年	米国 46.69	フランス 17.01	日本 8.71	ポルトガル 5.85	ノルウェー 5.36	94.98	8.71
2020年	米国 41.33	フランス 10.84	日本 7.27	ノルウェー 5.89	ドイツ 4.33	84.88	7.27
2021年	米国 43.56	フランス 29.70	スペイン 23.04	ポルトガル 17.84	日本 7.99	152.73	7.99

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 70.10	EU Institutions 39.79	GFATM 29.06	AfDF 11.80	CERF 10.55	28.94	190.26
2018年	IDA 35.91	EU Institutions 35.43	GFATM 25.24	AfDF 9.31	UNICEF 6.58	22.21	134.68
2019年	EU Institutions 40.15	IDA 23.95	GFATM 18.59	GAVI 8.56	AfDF 7.53	27.43	126.20
2020年	EU Institutions 33.33	GFATM 21.78	AfDF 8.55	UNICEF 5.67	GAVI 5.41	23.77	98.54
2021年	EU Institutions 51.79	GFATM 51.27	IDA 6.98	CERF 5.00	GEF 4.78	31.60	151.41

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	3.94億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.44) ・経済社会開発計画 (1件) (3.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] ウガンダ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,725万人	930ドル	4.6%	194.88億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウガンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	185.77	39.32	15.67
2019年度	-	15.96	13.69
2020年度	-	29.39	10.92
2021年度	-	28.44	20.56
2022年度	-	27.82	15.60

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウガンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	662.96	767.63	397.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウガンダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	24.07	21.71	18.44	64.22
2018年	37.03	23.24	11.13	71.39
2019年	19.99	31.47	13.68	65.14
2020年	15.38	15.93	11.10	42.41
2021年	18.36	29.28	15.09	62.73
累計	247.93	723.75	361.97	1,333.62

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 641.35	英国 181.50	ドイツ 67.68	日本 64.58	スウェーデン 57.36	1,298.89	64.58
2018年	米国 616.95	英国 150.21	日本 72.13	フランス 71.85	スウェーデン 60.21	1,260.89	72.13
2019年	米国 520.38	英国 196.66	ドイツ 66.52	日本 65.89	スウェーデン 56.63	1,172.43	65.89
2020年	米国 646.40	英国 115.22	フランス 86.63	スウェーデン 73.30	デンマーク 68.54	1,292.56	44.01
2021年	米国 658.93	英国 89.01	ドイツ 84.82	スウェーデン 80.14	フランス 79.43	1,411.87	66.39

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 268.25	EU Institutions 155.29	GFATM 117.29	AfDF 74.87	GAVI 30.24	115.30	761.22
2018年	IDA 220.93	GFATM 167.04	AfDF 111.67	EU Institutions 107.71	GAVI 39.86	105.82	753.04
2019年	IDA 402.62	EU Institutions 147.14	GFATM 134.42	AfDF 86.03	GAVI 69.22	107.01	946.42
2020年	IDA 790.02	IMF-CTF 502.83	GFATM 225.69	EU Institutions 171.56	AfDF 76.09	131.87	1,898.05
2021年	IDA 400.04	IMF-CTF 257.16	GFATM 207.03	EU Institutions 178.46	AfDF 112.73	160.04	1,315.48

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	27.82億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.75)	・ICT産業振興プロジェクト [23.02~27.02]
		・日本NGO連携無償 (9件) (5.80)	
		・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.69)	
		・経済社会開発計画 (1件) (6.50)	
		・アタリ流域地域灌漑施設整備計画 (1.11)	
		・カンパラ市交通管制改善計画 (3.64)	
		・西ナイル地域の難民受入地域における国道改修計画 (9.33)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] エスワティニ(旧国名:スワジランド)

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
120万人	3,750ドル	0.5%	12.11億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エスワティニ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.20	0.73
2019年度	-	2.72	0.61
2020年度	-	5.19	0.23
2021年度	-	2.06	2.34
2022年度	-	2.08	0.40

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エスワティニ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	44.12	131.61	50.10

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エスワティニ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.80	2.94	0.80	1.94
2018年	-1.83	6.37	1.00	5.55
2019年	-1.85	6.11	0.50	4.76
2020年	-1.89	6.75	0.23	5.09
2021年	-1.84	6.26	1.08	5.51
累計	17.17	113.91	38.44	169.58

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 69.71	オーストラリア 6.36	日本 3.74	ドイツ 0.57	ノルウェー 0.46	82.73	3.74
2018年	米国 59.70	日本 7.37	スイス 1.02	ドイツ 0.50	-	70.83	7.37
	-	-	-	ノルウェー 0.50	-	-	-
2019年	米国 44.24	日本 6.61	ノルウェー 0.56	フランス 0.55	ドイツ 0.54	54.35	6.61
2020年	米国 62.53	日本 6.98	カナダ 0.57	英国 0.55	ノルウェー 0.49	73.17	6.98
2021年	米国 61.65	日本 7.34	ノルウェー 0.93	フィンランド 0.86	スイス 0.66	73.95	7.34

表-4 国際機関の対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 38.62	GFATM 22.93	GEF 2.64	UNICEF 1.18	WFP 1.02	4.42	70.81
2018年	GFATM 19.04	EU Institutions 13.99	OPEC Fund 6.30	UNICEF 1.29	WHO 1.08	4.77	46.46
2019年	EU Institutions 12.33	GFATM 12.09	OPEC Fund 3.46	UNICEF 1.51	UNFPA 0.99	5.25	35.63
2020年	EU Institutions 23.24	GFATM 12.21	WFP 2.50	GEF 1.97	UNICEF 1.38	3.99	45.28
2021年	EU Institutions 30.61	GFATM 22.00	WFP 3.21	UNDP 1.40	GEF 1.32	7.04	65.58

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.08億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.08) ・食糧援助(WFP連携) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] エチオピア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.23億人	1,020ドル	5.3%	286.10億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エチオピア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	18.49	22.33
2019年度	96.55	36.98	19.05
2020年度	-	46.99	14.18
2021年度	-	20.63	17.07
2022年度	-	26.85	18.64

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エチオピア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	188.55	1,340.95	571.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エチオピア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.24	27.66	38.90
2018年	35.83	15.13	18.45	69.41
2019年	14.15	31.25	19.05	64.45
2020年	-	63.31	11.92	75.23
2021年	7.60	38.33	15.03	60.96
累計	48.75	1,326.98	521.96	1,897.69

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 1,030.73	英国 422.41	ドイツ 155.14	カナダ 89.32	オランダ 82.37	2,257.23	38.90
2018年	米国 823.39	英国 403.25	ドイツ 175.11	カナダ 90.61	韓国 84.54	2,088.43	69.41
2019年	米国 870.27	英国 382.84	ドイツ 141.64	オランダ 97.56	デンマーク 97.52	2,197.93	64.45
2020年	米国 796.11	ドイツ 447.44	英国 325.62	韓国 108.62	オランダ 108.55	2,370.30	75.23
2021年	米国 1,331.71	ドイツ 175.01	英国 164.88	カナダ 99.14	ノルウェー 88.63	2,520.05	60.96

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 1,109.88	AfDF 247.54	EU Institutions 218.24	GFATM 182.08	GAVI 64.42	183.86	2,006.01
2018年	IDA 2,129.23	EU Institutions 273.23	AfDF 178.46	GFATM 131.22	GAVI 88.05	166.37	2,966.54
2019年	IDA 1,802.24	EU Institutions 203.05	AfDF 180.25	GFATM 115.83	GAVI 92.28	187.06	2,580.73
2020年	IDA 2,012.84	AfDF 277.22	EU Institutions 209.18	IMF-CTF 202.91	GFATM 110.41	254.37	3,066.94
2021年	IDA 958.50	EU Institutions 170.50	GFATM 161.05	GAVI 85.74	AfDF 66.75	268.79	1,711.34

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	26.85億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (6件) (2.99) ・日本NGO連携無償 (4件) (3.36) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.36) ・経済社会開発計画 (2件) (11.50) ・食糧援助 (4.50) ・バハルダール市上水道整備計画 (1.84) オロミア州における小都市給水施設整備計画 (2.30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養センシティブ農業モデル村構築プロジェクト [22.09~25.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] エリトリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
368万人	-	-	7.15億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エリトリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.72	0.48
2019年度	-	4.50	1.02
2020年度	-	-	0.40
2021年度	-	-	0.68
2022年度	-	-	0.68

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エリトリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	136.71	29.92

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エリトリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.67	0.83	3.50
2018年	-	-	0.44	0.44
2019年	-	6.24	0.94	7.18
2020年	-	1.91	0.17	2.08
2021年	-	1.95	0.40	2.35
累計	-	119.01	28.54	147.55

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 3.50	スイス 3.37	スペイン 2.62	ドイツ 2.26	アイルランド 1.39	17.40	3.50
2018年	ドイツ 4.35	英国 3.67	スイス 1.81	アイルランド 1.46	スペイン 1.27	15.88	0.44
2019年	日本 7.18	英国 5.61	ドイツ 4.32	イタリア 1.90	スイス 1.61	23.87	7.18
2020年	ドイツ 3.84	英国 2.45	日本 2.08	アイルランド 1.41	スイス 1.29	13.48	2.08
2021年	ドイツ 3.84	日本 2.35	英国 2.25	イタリア 1.63	アイルランド 1.44	15.07	2.35

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 21.40	UNDP 5.86	EU Institutions 5.41	GAVI 3.78	UNICEF 2.98	7.97	47.40
2018年	GFATM 17.09	GAVI 11.60	EU Institutions 9.26	UNDP 5.12	CERF 4.99	13.16	61.21
2019年	GFATM 16.92	AfDF 9.46	UNDP 5.74	EU Institutions 4.26	UNICEF 3.79	12.54	52.70
2020年	GAVI 12.49	GFATM 8.20	UNDP 6.64	IFAD 6.35	AfDF 4.21	10.00	47.90
2021年	GFATM 11.19	UNDP 6.31	UNICEF 3.22	GAVI 2.71	IFAD 1.99	7.58	33.01

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ガーナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,348万人	2,380ドル	3.1%	448.40億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガーナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	14.14	16.89
2019年度	-	20.08	19.36
2020年度	-	28.53	12.24
2021年度	-	65.30	18.21
2022年度	-	51.13	16.10

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガーナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,363.30	1,343.97	671.93

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガーナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	34.57	16.63	51.20
2018年	-	57.65	12.48	70.13
2019年	-	30.24	17.85	48.09
2020年	1.57	35.85	13.90	51.32
2021年	0.00	20.13	11.62	31.75
累計	-101.60	2,028.44	603.39	2,530.24

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 233.28	英国 72.84	ドイツ 57.92	日本 51.20	韓国 47.99	618.36	51.20
2018年	米国 218.67	ドイツ 73.72	日本 70.13	カナダ 69.71	フランス 54.71	655.54	70.13
2019年	米国 202.17	ドイツ 93.09	英国 61.69	日本 48.09	カナダ 43.37	572.39	48.09
2020年	米国 206.40	ドイツ 92.39	フランス 67.47	日本 51.32	カナダ 49.23	586.05	51.32
2021年	ドイツ 267.95	米国 242.39	フランス 77.32	カナダ 52.71	韓国 42.70	814.97	31.75

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 380.14	AfDF 135.71	GFATM 93.53	IMF-CTF 92.09	EU Institutions 32.10	52.49	786.09
2018年	IMF-CTF 188.07	IDA 141.60	EU Institutions 78.81	GFATM 66.10	AfDF 49.67	81.41	605.67
2019年	IDA 157.31	AfDF 87.89	GFATM 68.90	IMF-CTF 46.76	GAVI 43.83	84.94	489.63
2020年	IMF-CTF 1,027.95	IDA 396.91	AfDF 132.20	EU Institutions 129.39	GFATM 69.44	93.87	1,849.74
2021年	IDA 400.57	GFATM 127.47	AfDF 50.30	EU Institutions 47.92	OPEC Fund 43.50	77.05	746.84

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	51.13億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.58)	・野口記念医学研究所 安全・質管理向上プロジェクト [22.07~25.07]
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.73)	・5S-KAIZEN-TQMに焦点を当てた母子保健医療サービスの質の改善プロジェクト [22.05~27.05]
		・ノーザン州における保健医療体制改善計画 (24.55)	
		・人材育成奨学計画 (4件) (2.62)	・市場志向型農村生活改善プロジェクト [22.04~27.04]
		・持続可能なアグリビジネスの強化を通じたカイゼン・イニシアティブ拡大計画(UNIDO連携) (5.42)	
		・第二次テーマ交差点改良計画 (11.03)	
		・第二次国道八号線改修計画 (6.20)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] カーボベルデ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
59.3万人	3,950ドル	17.1%	20.11億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.08	0.12
2019年度	-	6.60	0.08
2020年度	-	5.60	0.02
2021年度	-	5.60	0.37
2022年度	-	2.09	0.53

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	259.46	189.01	25.54

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カーボベルデ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	5.64	1.94	0.54	8.12
2018年	8.58	3.93	0.08	12.59
2019年	2.17	6.25	0.10	8.53
2020年	1.63	0.09	0.03	1.76
2021年	2.43	5.15	0.06	7.64
累計	105.68	153.22	24.60	283.52

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		合計	うち日本
2017年	フランス	27.53	ポルトガル	26.95	米国	24.90	ルクセンブルク	10.16	日本	8.12	100.18	8.12
2018年	ポルトガル	21.28	ルクセンブルク	14.73	日本	13.82	フランス	5.29	米国	4.01	63.00	13.82
2019年	ポルトガル	22.49	ルクセンブルク	17.13	日本	9.77	ベルギー	5.47	フランス	4.46	66.36	9.77
2020年	ルクセンブルク	14.85	ポルトガル	14.60	フランス	4.56	日本	2.39	オーストリア	1.05	41.61	2.39
2021年	ルクセンブルク	22.09	ポルトガル	16.20	ハンガリー	9.87	日本	7.64	スペイン	2.78	68.07	7.64

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2017年	EU Institutions	33.92	IFAD	2.02	UNICEF	1.70	GFATM	1.19	IDA	1.02	4.21	44.07
2018年	EU Institutions	13.24	IDA	7.56	IFAD	2.57	AfDF	2.42	GFATM	1.47	6.28	33.55
2019年	IDA	66.67	EU Institutions	33.58	IFAD	2.36	OPEC Fund	2.14	UNICEF	1.07	6.34	112.15
2020年	IDA	61.17	EU Institutions	34.80	IMF-CTF	33.01	GFATM	1.62	GEF	1.31	5.31	137.22
2021年	IDA	68.79	EU Institutions	23.62	IFAD	3.25	GFATM	2.94	UNDP	1.67	5.23	105.50

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.09億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.09) ・食糧援助 (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ガボン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
239万人	7,530ドル	2.9%	79.55億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガボン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.40	3.24
2019年度	-	1.38	4.30
2020年度	-	3.45	1.34
2021年度	-	0.55	3.99
2022年度	-	0.45	2.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガボン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	54.63	69.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガボン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.88	0.42	3.16	2.69
2018年	-0.94	0.24	3.83	3.13
2019年	-0.49	1.81	3.77	5.08
2020年	-	0.41	1.87	2.28
2021年	-	3.80	2.35	6.15
累計	-19.41	55.85	68.69	105.14

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 112.97	米国 5.29	日本 3.58	ドイツ 0.75	カナダ 0.29	123.34	3.58
2018年	フランス 125.11	日本 4.07	米国 2.23	ドイツ 0.68	カナダ 0.26	133.04	4.07
2019年	フランス 142.48	日本 5.58	ドイツ 0.65	スペイン 0.58	ポルトガル 0.49	151.71	5.58
2020年	フランス 55.41	日本 2.28	米国 1.30	韓国 1.24	ドイツ 0.65	61.93	2.28
2021年	フランス 77.74	ノルウェー 17.65	日本 6.15	米国 2.43	ドイツ 0.78	106.57	6.15

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 11.77	AfDB 2.29	WHO 1.35	UNICEF 1.09	UNFPA 0.48	1.75	18.73
2018年	EU Institutions 4.49	AfDB 3.55	GFATM 1.53	WHO 1.38	UNICEF 0.86	2.10	13.90
2019年	EU Institutions 3.06	WHO 1.11	UNFPA 1.10	AfDB 1.02	UNICEF 0.89	2.69	9.86
2020年	EU Institutions 5.47	WHO 1.55	UNFPA 1.15	UNICEF 1.02	UNDP 1.01	2.67	12.87
2021年	EU Institutions 4.64	WHO 3.58	Joint SDG Fund 1.49	UNDP 1.12	UNFPA 1.01	4.36	16.22

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.45億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.45)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] カメルーン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,792万人	1,640ドル	3.6%	150.96億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カメルーン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.17	9.89
2019年度	-	5.32	6.28
2020年度	-	9.20	6.03
2021年度	-	6.22	7.41
2022年度	-	7.22	7.50

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カメルーン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.25	321.00	138.69

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カメルーン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.76	7.79	8.64	29.19
2018年	12.94	4.06	5.26	22.26
2019年	16.87	8.02	8.99	33.88
2020年	10.42	10.90	3.57	24.89
2021年	11.36	16.48	6.19	34.03
累計	108.70	409.51	128.35	646.58

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 312.41	ドイツ 104.71	米国 88.65	日本 29.19	韓国 25.57	600.61	29.19
2018年	フランス 366.79	米国 113.56	ドイツ 113.53	日本 22.26	カナダ 14.17	688.27	22.26
2019年	フランス 419.43	ドイツ 113.79	米国 91.56	日本 35.12	英国 14.30	734.44	35.12
2020年	米国 202.09	フランス 163.18	ドイツ 119.30	日本 25.52	英国 19.37	593.20	25.52
2021年	米国 143.37	フランス 137.45	ドイツ 137.14	日本 34.03	韓国 30.25	552.05	34.03

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IMF-CTF 287.01	IDA 135.36	EU Institutions 86.14	GFATM 77.45	AfDF 61.64	65.71	713.29
2018年	IMF-CTF 156.30	IDA 137.15	EU Institutions 74.69	GFATM 61.17	AfDF 52.44	87.64	569.40
2019年	IDA 320.70	EU Institutions 96.48	IMF-CTF 74.86	GFATM 72.78	AfDF 32.41	85.07	682.29
2020年	IMF-CTF 461.32	IDA 109.24	EU Institutions 102.40	GFATM 68.36	OPEC Fund 33.19	117.13	891.63
2021年	IDA 270.08	EU Institutions 111.29	GFATM 82.27	IMF-CTF 58.98	AfDF 37.43	121.94	681.98

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	7.22億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.22)	・バリューチェーンの強化を通じたコメ振興プロジェクト [22.10～27.09]
		・食糧援助(WFP連携) (1.50)	
		・第二次南西州における保健センター及び給水所の改修を通じた復興計画(UNDP連携) (3.00)	
		・経済社会開発計画 (1件) (2.50)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] ガンビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
271万人	800ドル	4.3%	11.30億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.49	1.16
2019年度	-	2.56	1.24
2020年度	-	18.41	0.28
2021年度	-	2.59	0.23
2022年度	-	5.50	0.51

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	204.92	33.57

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.41	0.41
2018年	-	2.25	1.22	3.47
2019年	-	3.28	0.96	4.24
2020年	-	2.73	0.39	3.12
2021年	-	5.65	0.24	5.89
累計	-	162.53	29.42	191.95

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	英国 19.98	米国 18.69	スペイン 3.24	ドイツ 1.36	スウェーデン 0.57	45.83	0.41
2018年	英国 21.52	フランス 5.97	イタリア 4.76	日本 3.47	ドイツ 3.01	47.31	3.47
2019年	英国 22.11	米国 5.59	日本 4.24	フランス 2.95	ドイツ 1.57	41.57	4.24
2020年	英国 25.80	日本 3.12	ドイツ 2.80	米国 2.71	スペイン 1.44	41.04	3.12
2021年	英国 25.50	日本 5.89	米国 2.78	ドイツ 2.15	韓国 1.23	43.34	5.89

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 85.78	EU Institutions 49.91	OPEC Fund 21.34	GFATM 19.90	IMF-CTF 16.17	52.86	245.94
2018年	EU Institutions 50.34	IDA 33.96	AfDF 27.35	GFATM 11.60	OPEC Fund 10.43	30.60	164.28
2019年	EU Institutions 53.84	AfDF 32.87	IDA 15.31	IFAD 7.70	GFATM 7.52	33.05	150.30
2020年	IDA 83.50	EU Institutions 62.77	IMF-CTF 34.47	AfDF 24.91	GFATM 10.31	38.40	254.36
2021年	IMF-CTF 53.60	IDA 49.93	EU Institutions 32.56	GFATM 20.87	AfDF 8.22	29.21	194.36

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.50億円 ・平和、安定及び安全の促進 のための国境管理能力向上 計画(IOM連携) (3.00) ・食糧援助 (2.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] ギニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,386万人	1,190ドル	4.7%	49.29億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	5.69	3.12
2019年度	-	5.63	2.00
2020年度	-	12.29	2.98
2021年度	-	13.73	2.30
2022年度	-	16.98	3.29

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	160.08	648.01	96.52

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	26.66	3.42	30.08
2018年	-	14.75	3.23	17.98
2019年	-	14.30	2.04	16.34
2020年	-	11.67	1.29	12.96
2021年	-	6.69	3.15	9.84
累計	-13.51	702.72	83.78	773.02

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 75.10	フランス 58.86	日本 30.08	ドイツ 12.18	スペイン 5.69	194.78	30.08
2018年	米国 82.52	フランス 64.95	ドイツ 18.56	日本 17.98	スペイン 16.05	216.89	17.98
2019年	フランス 63.94	米国 62.87	ドイツ 17.82	日本 16.34	スペイン 11.24	188.85	16.34
2020年	フランス 59.49	米国 43.33	日本 12.96	ドイツ 11.61	ベルギー 9.55	151.86	12.96
2021年	フランス 77.62	米国 43.67	ベルギー 12.49	ドイツ 11.89	日本 9.84	167.63	9.84

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 82.18	IDA 61.44	AfDF 31.04	GFATM 29.23	IMF-CTF 23.86	55.79	283.53
2018年	IDA 139.11	EU Institutions 105.61	IMF-CTF 48.74	GFATM 28.69	AfDF 23.36	79.06	424.56
2019年	IDA 165.22	EU Institutions 81.49	GFATM 48.19	AfDF 32.07	UNICEF 14.63	48.52	390.11
2020年	IMF-CTF 266.71	IDA 164.03	AfDF 49.11	EU Institutions 48.08	GFATM 30.11	62.55	620.57
2021年	IDA 157.89	EU Institutions 64.23	GFATM 63.13	IMF-CTF 36.41	AfDF 30.14	69.82	421.61

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	16.98億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.16) ・食糧援助(WFP連携) (3.00) ・国立公衆衛生研究所建設計画 (13.82)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ギニアビサウ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
211万人	820ドル	3.5%	10.21億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.60	0.27
2019年度	-	3.40	0.18
2020年度	-	5.19	0.06
2021年度	-	2.00	0.13
2022年度	-	4.91	0.21

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	188.49	10.15

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.41	0.41	2.82
2018年	-	0.18	0.23	0.41
2019年	-	4.95	0.19	5.14
2020年	-	5.27	0.05	5.32
2021年	-	5.96	0.07	6.03
累計	-	151.39	9.62	161.01

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 10.69	ポルトガル 10.64	日本 2.82	イタリア 1.37	スペイン 1.13	29.26	2.82
2018年	ポルトガル 12.90	米国 3.46	スペイン 3.12	イタリア 1.98	フランス 1.05	24.75	0.41
2019年	ポルトガル 18.73	日本 5.14	スペイン 1.95	フランス 1.89	イタリア 1.05	31.16	5.14
2020年	ポルトガル 17.25	日本 5.32	米国 4.92	スペイン 2.04	カナダ 1.02	34.10	5.32
2021年	ポルトガル 19.65	米国 6.21	日本 6.03	スペイン 5.27	フランス 2.30	42.96	6.03

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 23.64	IDA 17.38	GFATM 13.19	IMF-CTF 8.40	AfDF 8.20	17.03	87.84
2018年	IDA 54.71	EU Institutions 27.38	GFATM 16.49	AfDF 7.56	IFAD 5.20	21.33	132.68
2019年	EU Institutions 28.19	IDA 27.63	GFATM 9.79	AfDF 6.42	UNDP 3.80	15.91	91.72
2020年	IDA 41.94	GFATM 24.20	EU Institutions 15.67	Isl.Dev Bank 9.31	AfDF 7.03	22.49	120.66
2021年	IDA 44.45	IMF-CTF 22.23	EU Institutions 18.67	GFATM 12.54	AfDF 11.40	22.46	131.77

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	4.91億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・汚職防止及び平和の定着のための行政における透明性及び説明責任促進計画(U NDP連携) (2.82)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] ケニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,403万人	2,170ドル	4.8%	415.63億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ケニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	9.72	36.90
2019年度	848.90	65.69	46.18
2020年度	80.00	26.70	21.40
2021年度	-	3.79	50.71
2022年度	-	6.17	48.98

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ケニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,910.09	1,421.96	1,459.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ケニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	26.60	17.39	36.75	80.73
2018年	79.02	28.56	30.42	137.99
2019年	166.17	19.02	28.71	213.90
2020年	67.99	28.86	40.48	137.32
2021年	186.01	18.94	23.57	228.52
累計	1,387.85	1292.35	1,222.40	3,902.57

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 861.38	英国 199.25	日本 162.69	ドイツ 125.21	フランス 78.13	1,702.18	162.69
2018年	米国 834.70	日本 224.12	英国 157.17	フランス 115.12	ドイツ 96.95	1,710.74	224.12
2019年	米国 688.52	日本 290.08	英国 172.18	フランス 129.07	ドイツ 91.60	1,629.20	290.08
2020年	米国 683.84	フランス 241.65	日本 219.95	英国 118.04	ドイツ 104.70	1,625.07	219.95
2021年	米国 721.51	日本 242.81	ドイツ 110.65	英国 99.72	フランス 88.61	1,563.05	242.81

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 576.73	AfDF 199.02	EU Institutions 169.46	GFATM 168.63	GAVI 32.29	85.30	1,231.42
2018年	IDA 762.04	AfDF 189.33	EU Institutions 109.90	GFATM 86.85	GAVI 24.30	67.33	1,239.74
2019年	IDA 1,494.50	GFATM 114.25	EU Institutions 98.51	AfDF 88.51	GAVI 36.26	83.23	1,915.27
2020年	IDA 1,716.91	IMF-CTF 756.06	EU Institutions 158.01	GFATM 124.03	AfDF 61.03	93.10	2,909.15
2021年	IDA 1,342.21	IMF-CTF 301.60	EU Institutions 144.80	GFATM 118.69	AfDF 56.70	123.33	2,087.32

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	6.17億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.40)	・ナイロビ首都圏公共バス運営 [22.04~25.04]改善プロジェクト
		・日本NGO連携無償 (4件) (2.24)	
		・人材育成奨学計画 (3件) (1.90)	
		・草の根文化無償 (1件) (0.02)	
		・ジャバンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (1.60)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] コートジボワール

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,816万人	2,620ドル	6.7%	319.60億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コートジボワール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	161.37	30.61	20.14
2019年度	-	7.84	6.75
2020年度	-	32.86	5.90
2021年度	-	44.72	12.71
2022年度	520.28	17.71	8.47

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コートジボワール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	912.34	713.77	235.83

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コートジボワール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	22.45	15.98	38.43
2018年	-	11.90	12.74	24.64
2019年	14.22	25.55	13.08	52.85
2020年	34.33	25.21	5.97	65.51
2021年	23.86	2.73	7.67	34.26
累計	28.12	785.38	213.08	1,026.58

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 297.08	米国 156.71	スペイン 120.13	ドイツ 58.20	日本 38.43	688.70	38.43
2018年	フランス 384.99	米国 184.89	日本 24.64	カナダ 15.76	ドイツ 15.61	648.72	24.64
2019年	フランス 421.30	ドイツ 123.30	米国 76.33	日本 52.85	韓国 10.27	710.05	52.85
2020年	フランス 312.68	米国 196.30	ドイツ 81.08	日本 65.51	カナダ 13.34	687.70	65.51
2021年	フランス 361.17	米国 196.39	ドイツ 92.74	韓国 35.52	日本 34.26	755.13	34.26

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 230.98	EU Institutions 102.31	AfDF 96.81	IMF-CTF 89.46	GFATM 68.38	80.37	668.32
2018年	IDA 241.74	EU Institutions 103.46	IMF-CTF 91.35	GFATM 53.53	AfDF 29.69	74.26	594.03
2019年	IDA 241.23	EU Institutions 102.04	GFATM 81.44	IMF-CTF 45.76	AfDF 41.92	66.31	578.72
2020年	IMF-CTF 391.85	IDA 351.33	EU Institutions 123.86	GFATM 78.52	AfDF 40.27	78.43	1,064.27
2021年	IDA 715.93	EU Institutions 96.89	GFATM 83.98	AfDF 35.64	GAVI 23.89	64.29	1,020.62

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	520.28億円	17.71億円	なし
	・ターボ・コソー・ブアケ電力網強化計画 (220.28)	・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.39)	
	・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款 (150.00)	・NGO連携無償 (1件) (0.52)	
	・食糧安全保障緊急支援借款 (150.00)	・草の根文化無償 (1件) (0.09)	
		・経済社会開発計画 (1件) (5.00)	
		・第二次日本・コートジボワール友好交差点改善計画 (11.72)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[15] コモロ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
83.7万人	1,610ドル	2.4%	3.69億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コモロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	8.55	0.42
2019年度	-	5.17	0.22
2020年度	-	3.00	0.08
2021年度	-	2.00	0.10
2022年度	-	5.99	0.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コモロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	105.71	14.44

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コモロ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.79	0.33	2.12
2018年	-	4.57	0.42	4.99
2019年	-	3.36	0.21	3.57
2020年	-	5.59	0.11	5.70
2021年	-	0.90	0.10	1.00
累計	-	76.66	12.87	89.53

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 21.42	日本 2.12	米国 1.43	オーストラリア 0.23	カナダ 0.16	25.60	2.12
2018年	フランス 19.81	日本 4.99	米国 1.26	韓国 0.21	カナダ 0.19	26.83	4.99
2019年	フランス 21.29	日本 3.57	米国 1.62	カナダ 0.27	英国 0.16	27.14	3.57
2020年	フランス 27.01	日本 5.70	米国 0.87	カナダ 0.42	韓国 0.29	34.53	5.70
2021年	フランス 46.35	日本 1.00	-	米国 0.77	カナダ 0.22	49.79	1.00
	-	韓国 1.00	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 16.79	EU Institutions 9.03	GEF 4.30	AfDF 2.63	UNDP 2.10	8.03	42.88
2018年	EU Institutions 12.00	IDA 9.46	AfDF 7.86	GFATM 4.86	GEF 4.22	9.35	47.75
2019年	AfDF 12.27	IDA 5.94	GEF 5.49	EU Institutions 5.04	GFATM 3.07	11.03	42.83
2020年	IDA 37.15	AfDF 19.90	IMF-CTF 6.53	GEF 4.18	UNDP 3.17	14.45	85.38
2021年	AfDF 22.71	IDA 22.04	EU Institutions 4.63	UNDP 3.68	Isl.Dev Bank 1.94	12.11	67.12

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.99億円 ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・乳幼児期の発達のための養育 ケア計画(UNICEF連携) (2.99)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[16] コンゴ共和国

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
597万人	2,290ドル	1.5%	78.95億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.10	0.70
2019年度	-	2.09	0.88
2020年度	-	4.60	0.07
2021年度	-	3.00	0.75
2022年度	-	3.80	1.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	78.07	15.11

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.71	0.46	3.17
2018年	-	1.90	0.88	2.78
2019年	-	2.24	0.90	3.14
2020年	-	3.87	0.35	4.22
2021年	-	8.34	0.44	8.78
累計	-	70.75	15.52	86.27

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 55.71	日本 3.17	米国 2.43	英国 2.38	スペイン 1.00	67.50	3.17
2018年	フランス 57.68	米国 9.77	日本 2.78	英国 2.39	スペイン 0.71	75.83	2.78
2019年	フランス 85.00	米国 10.87	英国 7.06	日本 3.14	デンマーク 2.25	111.27	3.14
2020年	フランス 71.50	米国 17.89	日本 4.22	英国 1.03	カナダ 0.79	97.93	4.22
2021年	フランス 52.26	米国 19.96	日本 8.78	スロベニア 1.55	スロバキア 1.40	91.27	8.78

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 20.69	EU Institutions 13.94	GFATM 10.14	AfDF 7.97	UNHCR 6.76	15.40	74.92
2018年	IDA 29.55	EU Institutions 22.94	GFATM 7.03	UNHCR 5.57	CERF 3.98	12.29	81.35
2019年	IDA 34.38	EU Institutions 17.42	GFATM 15.42	AfDF 6.68	UNPBF 4.09	21.12	99.12
2020年	IDA 58.85	EU Institutions 17.46	GFATM 13.75	AfDF 9.71	CIF 9.44	25.17	134.38
2021年	IDA 56.85	GFATM 18.44	EU Institutions 12.72	AfDF 12.32	GAVI 9.30	19.88	129.50

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	3.80億円 ・経済社会開発計画 (1件) (1.80) ・食糧援助(WFP連携) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[17] コンゴ民主共和国

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9,901万人	610ドル	8.9%	94.32億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	29.06	6.82
2019年度	-	18.24	12.10
2020年度	-	8.66	6.28
2021年度	-	4.66	16.84
2022年度	-	18.41	12.96

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	356.00	810.59	232.25

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	28.73	11.90	40.63
2018年	-	34.04	9.23	43.27
2019年	-	20.63	6.66	27.29
2020年	-	38.97	6.72	45.69
2021年	-	31.55	10.58	42.13
累計	-471.73	2092.91	206.05	1,827.23

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 445.66	英国 214.32	ドイツ 141.15	ベルギー 113.86	スウェーデン 67.25	1,226.36	40.63
2018年	米国 476.12	英国 271.72	ドイツ 142.66	ベルギー 128.28	スウェーデン 79.40	1,376.81	43.27
2019年	米国 647.87	英国 235.67	ドイツ 201.99	ベルギー 100.91	スウェーデン 76.51	1,519.26	27.29
2020年	米国 783.79	ドイツ 176.73	英国 174.53	ベルギー 104.46	スウェーデン 75.27	1,589.55	45.69
2021年	米国 903.45	ドイツ 191.20	スウェーデン 115.54	ベルギー 113.01	英国 100.79	1,724.95	42.13

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 340.74	GFATM 225.59	EU Institutions 182.72	AfDF 109.12	AfDB 95.05	279.77	1,232.99
2018年	IDA 483.86	EU Institutions 217.93	GFATM 145.34	AfDF 94.48	AfDB 76.70	272.15	1,290.45
2019年	IDA 465.07	EU Institutions 213.23	GFATM 199.01	GAVI 163.96	AfDF 92.24	328.36	1,461.88
2020年	IDA 470.71	IMF-CTF 405.67	GFATM 217.43	EU Institutions 200.19	AfDF 155.38	490.27	1,939.64
2021年	IDA 584.16	IMF-CTF 438.92	GFATM 277.56	EU Institutions 224.81	AfDF 154.44	291.22	1,971.10

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	18.41億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (0.79) ・経済社会開発計画 (1件) (6.00) ・食糧援助 (5.00) ・地域警察活動強化計画(IOM連携) (5.14) ・マタディ港コンテナターミナル整備計画 (1.48) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国立職業訓練機構能力強化 [22.04～プロジェクトフェーズ2 26.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[18] サントメ・プリンシペ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
22.7万人	2,400ドル	0.1%	3.92億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	4.86	0.27
2019年度	-	3.21	0.18
2020年度	-	4.19	0.01
2021年度	-	2.77	0.02
2022年度	-	2.10	0.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	86.04	8.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.31	0.23	2.54
2018年	-	2.63	0.23	2.86
2019年	-	1.93	0.17	2.10
2020年	-	3.00	0.04	3.04
2021年	-	3.82	0.01	3.83
累計	-	72.39	8.28	80.67

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ポルトガル 12.23	日本 2.54	フランス 0.55	カナダ 0.18	英国 0.13	15.72	2.54
2018年	ポルトガル 15.48	日本 2.86	フランス 0.59	英国 0.20	カナダ 0.19	19.41	2.86
2019年	ポルトガル 14.51	日本 2.10	フランス 0.33	カナダ 0.31	英国 0.07	17.44	2.10
	-	-	-	-	米国 0.07	-	-
2020年	ポルトガル 13.91	日本 3.04	フランス 0.82	カナダ 0.36	スウェーデン 0.09	18.41	3.04
	-	-	-	-	米国 0.09	-	-
2021年	ポルトガル 16.37	日本 3.83	フランス 0.50	韓国 0.18	カナダ 0.16	21.27	3.83

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 7.71	AfDF 4.03	GFATM 3.76	OPEC Fund 2.11	GEF 1.86	9.94	29.40
2018年	IDA 10.67	AfDF 7.80	EU Institutions 4.49	GFATM 2.78	GEF 2.06	7.68	35.47
2019年	IDA 17.04	AfDF 5.52	EU Institutions 4.89	GFATM 1.47	UNICEF 1.23	5.97	36.15
2020年	AfDF 21.09	IDA 19.96	IMF-CTF 17.68	EU Institutions 8.34	GFATM 2.38	7.28	76.73
2021年	IDA 29.52	IMF-CTF 5.83	EU Institutions 4.43	GFATM 3.86	GEF 2.32	9.71	55.71

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.10億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.10) ・食糧援助 (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[19] ザンビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,002万人	1,240ドル	5.2%	287.01億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ザンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	6.54	17.81
2019年度	-	4.57	12.68
2020年度	-	29.97	11.01
2021年度	-	8.04	16.86
2022年度	-	21.98	12.39

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ザンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	464.75	1,233.82	707.71

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ザンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1.22	5.77	18.36	25.35
2018年	4.63	14.38	15.42	34.43
2019年	6.90	24.50	13.68	45.08
2020年	2.98	7.18	10.00	20.16
2021年	2.65	13.05	10.76	26.46
累計	-271.17	1782.25	614.86	2,125.95

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 496.99	英国 68.33	スウェーデン 58.08	ドイツ 32.85	日本 25.35	744.56	25.35
2018年	米国 482.76	スウェーデン 58.73	英国 41.64	ドイツ 39.61	日本 34.43	695.79	34.43
2019年	米国 324.83	英国 65.14	スウェーデン 57.05	日本 46.74	ドイツ 33.52	566.38	46.74
2020年	米国 394.30	ドイツ 57.20	スウェーデン 56.35	英国 52.94	日本 21.00	615.17	21.00
2021年	米国 417.66	スウェーデン 62.04	ドイツ 47.51	英国 38.42	日本 26.46	645.11	26.46

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 127.44	IDA 94.38	EU Institutions 54.20	AfDF 24.06	IFAD 15.16	64.89	380.12
2018年	IDA 141.34	GFATM 98.46	EU Institutions 49.32	AfDF 19.35	GAVI 18.26	72.71	399.42
2019年	IDA 121.15	EU Institutions 97.72	GFATM 91.49	AfDF 35.72	GAVI 23.39	53.41	422.87
2020年	IDA 151.31	GFATM 110.86	EU Institutions 59.04	AfDF 26.79	GAVI 18.74	65.31	432.07
2021年	GFATM 184.41	IDA 140.79	EU Institutions 87.72	AfDF 32.63	GAVI 16.82	53.25	515.65

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	21.98億円 ・日本NGO連携無償 (3件) (1.58) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.19) ・コッパーベルト州における保健センターの郡病院への改善計画 (18.80) ・稲種子生産ほ場及び研修施設整備計画 (1.41)	・ルサカ市きれいな街プロジェクト [22.04～26.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[20] シエラレオネ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
861万人	600ドル	3.5%	23.31億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.17	5.37
2019年度	-	6.91	6.38
2020年度	-	38.20	1.75
2021年度	-	2.10	10.50
2022年度	-	29.67	4.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	20.00	315.50	105.69

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シエラレオネ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.07	5.58	10.65
2018年	-	6.02	3.18	9.20
2019年	-	11.69	6.94	18.63
2020年	-	9.10	2.90	12.00
2021年	-	10.55	5.51	16.06
累計	-36.96	389.37	93.29	445.70

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	英国 152.57	米国 83.07	ドイツ 17.22	アイルランド 13.80	日本 10.65	292.15	10.65
2018年	英国 128.38	米国 60.76	ドイツ 25.54	アイルランド 14.38	韓国 12.12	261.26	9.20
2019年	英国 98.72	米国 58.70	ドイツ 23.55	日本 18.63	韓国 17.90	255.69	18.63
2020年	英国 95.31	米国 53.41	ドイツ 30.29	アイルランド 16.67	日本 12.00	228.28	12.00
2021年	英国 69.75	米国 52.55	ドイツ 22.41	アイルランド 19.18	日本 16.06	205.76	16.06

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 67.90	IMF-CTF 54.30	EU Institutions 51.44	GFATM 41.94	AfDF 12.45	49.99	278.03
2018年	EU Institutions 74.19	GFATM 40.91	IDA 30.93	IMF-CTF 22.02	OPEC Fund 15.19	54.13	237.38
2019年	IDA 132.01	EU Institutions 72.89	AfDF 38.25	GFATM 30.80	UNICEF 10.61	41.61	326.18
2020年	IDA 220.15	IMF-CTF 201.74	EU Institutions 111.44	AfDF 46.31	GFATM 28.96	53.67	662.28
2021年	IDA 214.25	IMF-CTF 127.22	EU Institutions 67.85	GFATM 26.48	AfDF 18.54	56.40	510.70

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	29.67億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・農業バリューチェーン強化計画(WFP連携) (5.02) ・フリータウン半島に沿った配電網拡張計画 (20.70) ・フリータウンにおける子ども病院強化計画 (1.85)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[21] ジブチ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
112万人	3,310ドル	3.1%	31.70億ドル	後発開発途上国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジブチ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	41.79	3.87
2019年度	-	3.65	7.12
2020年度	-	48.84	3.18
2021年度	-	45.08	11.49
2022年度	-	7.96	6.19

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジブチ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	464.65	93.67

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジブチ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	13.24	3.68	16.92
2018年	-	6.72	2.66	9.38
2019年	-	37.80	6.53	44.33
2020年	-	9.58	4.34	13.92
2021年	-	9.13	2.69	11.82
累計	-	386.66	75.43	462.09

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 44.11	日本 16.92	米国 11.62	カナダ 1.44	スウェーデン 0.93	76.21	16.92
2018年	フランス 47.88	米国 9.62	日本 9.38	スウェーデン 1.37	カナダ 1.24	70.63	9.38
2019年	日本 44.33	フランス 43.21	米国 24.88	カナダ 1.18	イタリア 0.92	117.18	44.33
2020年	フランス 41.42	米国 21.32	イタリア 16.49	日本 13.92	英国 1.47	97.76	13.92
2021年	米国 21.77	フランス 12.04	日本 11.82	デンマーク 1.15	スウェーデン 0.88	49.83	11.82

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 14.69	IDA 14.28	AFESD 11.83	GFATM 5.31	AfDF 4.37	13.46	63.95
2018年	EU Institutions 32.48	AFESD 24.89	IDA 17.28	OPEC Fund 12.09	GFATM 2.67	15.74	105.17
2019年	EU Institutions 37.63	IMF-CTF 27.63	AfDF 18.65	IDA 17.69	AFESD 11.27	29.53	142.41
2020年	IMF-CTF 49.01	AfDF 46.57	IDA 34.51	EU Institutions 31.41	OPEC Fund 12.67	30.25	204.42
2021年	IDA 45.40	EU Institutions 22.35	OPEC Fund 11.15	GFATM 9.14	AfDF 7.64	15.66	111.31

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	7.96億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.19) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・海上保安能力向上計画【追加 贈与】 (4.77)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[22] ジンバブエ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,632万人	1,710ドル	6.5%	137.67億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	29.63	2.37
2019年度	-	8.89	2.43
2020年度	-	5.89	1.67
2021年度	-	2.02	5.04
2022年度	-	12.20	3.89

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	380.65	622.63	210.01

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジンバブエ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	9.84	5.00	14.84
2018年	-	10.11	2.57	12.68
2019年	-	21.97	1.72	23.69
2020年	-	30.80	1.89	32.69
2021年	-	14.67	2.95	17.62
累計	143.79	571.81	187.22	902.81

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 228.31	英国 120.57	スウェーデン 37.62	ドイツ 30.25	日本 14.84	475.38	14.84
2018年	米国 203.14	英国 125.25	ドイツ 45.31	スウェーデン 42.79	日本 12.68	471.23	12.68
2019年	米国 258.04	英国 126.84	スウェーデン 48.74	ドイツ 27.27	日本 23.69	526.27	23.69
2020年	米国 283.94	英国 125.44	スウェーデン 46.79	ドイツ 36.72	日本 32.69	575.58	32.69
2021年	米国 347.22	英国 71.26	スウェーデン 48.26	ドイツ 44.08	日本 17.62	589.83	17.62

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 127.06	EU Institutions 61.88	GAVI 16.11	AfDF 13.01	UNICEF 8.82	25.85	252.74
2018年	GFATM 200.92	EU Institutions 65.39	GAVI 11.85	AfDF 11.59	OPEC Fund 8.54	31.66	329.93
2019年	GFATM 141.55	EU Institutions 53.00	GAVI 30.88	IDA 30.76	AfDF 20.94	51.95	329.07
2020年	GFATM 150.15	EU Institutions 116.44	CERF 34.89	GAVI 28.18	AfDF 19.70	65.57	414.92
2021年	GFATM 256.85	EU Institutions 60.61	IDA 18.62	WFP 12.97	AfDF 12.08	56.11	417.22

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	12.20億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (2件) (1.83) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.90) ・経済社会開発計画 (1件) (6.50) ・選挙支援計画(UNDP連携) (2.00) ・第二次南北回廊北部区間道路改修計画(詳細設計) (0.97) 	<ul style="list-style-type: none"> ・5S-Kaizen-TQM手法による医療サービスの質向上プロジェクト [22.05~26.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[23] スーダン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,687万人	760ドル	-1.0%	224.33億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	17.61	11.74
2019年度	-	1.53	9.82
2020年度	-	33.00	6.84
2021年度	-	3.38	12.82
2022年度	-	1.15	5.24

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	105.00	1,339.45	283.20

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スーダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.34	12.34	23.68
2018年	-	14.88	14.77	29.65
2019年	-	20.14	7.99	28.13
2020年	-	11.23	5.63	16.86
2021年	-	38.59	10.35	48.94
累計	17.02	1,267.58	265.18	1,549.78

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 118.26	英国 81.15	ドイツ 46.86	スウェーデン 26.19	日本 23.68	378.00	23.68
2018年	米国 229.49	英国 119.97	ドイツ 60.77	スウェーデン 38.48	日本 29.65	564.95	29.65
2019年	米国 276.07	英国 118.98	ドイツ 77.14	スウェーデン 42.65	日本 28.13	639.05	28.13
2020年	米国 230.01	ドイツ 179.72	英国 178.59	スウェーデン 66.31	ノルウェー 28.75	807.48	16.86
2021年	米国 734.67	ドイツ 167.50	英国 129.61	スウェーデン 81.54	日本 48.94	1,387.57	48.94

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 112.77	AFESD 57.03	CERF 29.63	GAVI 28.42	GFATM 24.25	63.12	315.23
2018年	EU Institutions 166.65	GAVI 50.01	GFATM 46.57	CERF 20.00	AfDF 12.53	38.47	334.25
2019年	EU Institutions 55.90	GFATM 53.03	GAVI 49.02	AFESD 45.16	CERF 43.37	63.53	309.99
2020年	EU Institutions 104.37	CERF 103.37	IDA 100.64	GFATM 62.48	GAVI 27.33	87.03	485.24
2021年	IMF-CTF 1,412.69	IDA 1,330.69	AfDF 394.36	EU Institutions 161.83	GFATM 105.98	139.11	3,544.66

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	1.15億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (1.15)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[24] セーシェル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
12.0万人	12,010ドル	9.0%	-	2018年卒業	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セーシェル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.10
2019年度	-	8.00	0.06
2020年度	-	1.00	0.08
2021年度	-	-	0.07
2022年度	-	-	0.04

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セーシェル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	64.29	19.70

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セーシェル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.35	0.13	5.49
2018年	-	7.12	0.10	7.22
2019年	-	0.01	0.08	0.09
2020年	-	8.43	0.06	8.49
2021年	-	-	0.06	0.06
累計	-	46.66	23.27	69.93

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	日本 5.49	フランス 2.30	オーストラリア 1.28	英国 0.44	カナダ 0.16	9.71	5.49
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 4.43	AfDB 0.59	WHO 0.50	IAEA 0.26	ILO 0.22	0.08	6.08
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-
2021年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[25] 赤道ギニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
168万人	5,240ドル	3.8%	-	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	-	0.18
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	0.10	0.04
2021年度	-	0.10	0.02
2022年度	-	-	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	12.00	3.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対赤道ギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.15	0.15
2018年	-	-	0.17	0.17
2019年	-	-	0.11	0.11
2020年	-	-	0.08	0.08
2021年	-	0.09	0.03	0.12
累計	-	6.85	5.55	12.40

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		合計	うち日本
2017年	フランス	3.22	米国	2.22	スペイン	1.51	カナダ	0.18	日本	0.15	7.38	0.15
2018年	フランス	2.02	スペイン	2.01	米国	1.22	カナダ	0.19	日本	0.17	5.79	0.17
2019年	フランス	2.00	スペイン	1.95	米国	0.48	カナダ	0.31	韓国	0.13	5.12	0.11
2020年	フランス	2.12	スペイン	1.73	韓国	0.27	カナダ	0.18	米国	0.13	4.64	0.08
2021年	スペイン	2.98	フランス	2.67	韓国	0.44	米国	0.34	カナダ	0.18	6.98	0.12

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2017年	UNICEF	1.17	WHO	0.69	ILO	0.65	UNFPA	0.51	GEF	0.45	0.88	4.36
2018年	UNICEF	0.98	GCF	0.70	GEF	0.67	EU Institutions	0.53	-	-	0.79	4.72
	-	-	-	-	-	-	UNFPA	0.53	-	-	-	-
2019年	IMF-CTF	69.55	UNFPA	1.71	-	-	WHO	1.42	GEF	0.67	1.93	76.98
	-	-	UNICEF	1.71	-	-	-	-	-	-	-	-
2020年	UNDP	1.27	UNFPA	1.15	UNICEF	0.86	WHO	0.81	EU Institutions	0.32	0.58	5.30
	-	-	-	-	-	-	-	-	GEF	0.32	-	-
2021年	UNDP	2.06	WHO	1.47	UNFPA	1.01	CERF	0.99	GEF	0.77	2.38	8.68

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[26] セネガル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,732万人	1,620ドル	4.2%	321.26億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セネガル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	14.94	21.69
2019年度	-	21.38	17.28
2020年度	71.69	7.98	13.14
2021年度	-	15.35	25.47
2022年度	200.00	18.87	19.09

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セネガル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	785.92	1,278.39	606.09

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セネガル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	74.89	7.43	22.47	104.79
2018年	2.66	4.56	18.21	25.43
2019年	1.19	11.18	16.13	28.50
2020年	2.86	25.40	11.74	40.00
2021年	7.55	17.10	14.86	39.50
累計	72.60	1,109.46	535.65	1,717.68

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 159.63	フランス 148.70	日本 105.06	カナダ 42.05	韓国 23.31	577.49	105.06
2018年	フランス 246.77	米国 181.45	カナダ 72.00	ドイツ 47.30	日本 25.71	671.26	25.71
2019年	フランス 290.12	米国 177.07	ドイツ 43.53	韓国 36.45	カナダ 29.43	692.42	28.78
2020年	フランス 327.02	ドイツ 171.38	米国 162.19	カナダ 51.66	日本 40.14	859.32	40.14
2021年	フランス 253.05	米国 179.19	ドイツ 118.82	カナダ 62.62	日本 39.50	799.93	39.50

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 241.47	EU Institutions 51.68	OPEC Fund 43.53	AfDF 27.29	GFATM 20.51	62.09	446.56
2018年	IDA 142.35	EU Institutions 123.34	AfDF 31.63	GFATM 26.04	GAVI 20.62	60.46	404.43
2019年	IDA 626.29	EU Institutions 90.76	AfDF 28.15	GFATM 24.47	GAVI 19.05	55.13	843.83
2020年	IDA 352.88	EU Institutions 216.27	IMF-CTF 150.25	OPEC Fund 37.26	GFATM 24.04	93.26	873.93
2021年	IDA 322.75	EU Institutions 139.76	IMF-CTF 61.41	AfDF 35.12	GFATM 34.49	83.63	677.16

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	200.00億円	18.87億円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ支援プログラム(フェーズ2) (100.00) ・教育セクターのための開発政策借款 (100.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (1件) (0.30) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.14) ・人材育成奨学計画 (1件) (0.51) ・食糧援助 (2.50) ・国立水産物分析所建設計画 (15.42) 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師・助産師の臨床実習の質向上プロジェクト [22.04~25.04] ・コミュニティ健康保険制度強化プロジェクト(Doleel CMUフェーズ2) [22.04~26.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[27] ソマリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,760万人	600ドル	2.4%	41.64億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソマリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.10	0.99
2019年度	-	7.00	3.02
2020年度	-	4.40	0.39
2021年度	-	-	1.53
2022年度	-	15.17	2.29

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソマリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	64.70	228.66	18.74

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソマリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	21.17	0.32	21.49
2018年	-	9.30	0.87	10.17
2019年	-	13.20	1.18	14.38
2020年	-	17.66	1.89	19.55
2021年	-	20.89	0.85	21.74
累計	38.70	486.03	11.81	536.54

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	英国 363.44	米国 332.40	ドイツ 222.86	スウェーデン 85.00	ノルウェー 66.11	1,258.05	21.49
2018年	米国 383.85	英国 258.48	ドイツ 190.39	スウェーデン 107.26	ノルウェー 66.79	1,147.28	10.17
2019年	米国 470.82	英国 227.76	ドイツ 157.98	スウェーデン 88.93	ノルウェー 64.41	1,228.30	14.38
2020年	米国 691.45	フランス 448.32	英国 298.31	ドイツ 204.59	スウェーデン 94.22	2,017.41	19.55
2021年	イタリア 650.41	米国 470.09	ドイツ 170.78	英国 138.85	スウェーデン 111.73	1,811.02	21.74

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 260.83	GFATM 37.16	CERF 32.99	UNICEF 19.50	WFP 12.18	50.01	412.70
2018年	EU Institutions 266.71	GFATM 23.65	UNICEF 21.04	CERF 17.27	UNDP 12.07	35.49	376.22
2019年	EU Institutions 165.44	CERF 49.87	IDA 29.87	AfDF 24.78	GAVI 23.67	86.87	380.50
2020年	IDA 570.65	IMF-CTF 303.48	EU Institutions 165.87	AfDF 158.13	GFATM 31.48	72.12	1,301.73
2021年	EU Institutions 361.93	IDA 109.08	CERF 30.40	GFATM 26.40	UNICEF 16.70	76.16	620.67

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	15.17億円 ・ジャンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.05) ・ソマリアにおけるウクライナ産 小麦を活用した食料支援のための 緊急無償資金協力 (15.12) (WFP連携)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[28] タンザニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6,550万人	1,200ドル	4.6%	301.70億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タンザニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	10.48	24.88
2019年度	-	22.47	21.67
2020年度	-	12.63	12.24
2021年度	351.74	2.86	11.54
2022年度	-	0.44	8.34

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タンザニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	1,152.58	1,852.63	992.56

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タンザニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	31.70	20.68	21.83	74.21
2018年	32.42	20.95	22.07	75.44
2019年	19.82	15.08	20.03	54.92
2020年	11.15	27.95	12.72	51.82
2021年	16.46	14.89	10.39	41.74
累計	363.99	2,992.28	877.71	4,233.95

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 600.80	英国 214.61	スウェーデン 137.59	カナダ 90.30	日本 77.09	1,440.64	77.09
2018年	米国 661.56	英国 204.81	スウェーデン 127.11	日本 78.67	韓国 73.27	1,516.73	78.67
2019年	米国 477.44	英国 175.12	カナダ 79.74	スウェーデン 70.78	日本 59.09	1,173.30	59.09
2020年	米国 618.56	英国 123.63	韓国 91.64	スウェーデン 72.90	カナダ 67.62	1,299.76	55.18
2021年	米国 520.98	英国 84.14	スウェーデン 83.48	ドイツ 62.39	韓国 59.14	1,157.03	41.74

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 543.17	GFATM 247.06	AfDF 231.78	EU Institutions 134.11	GAVI 48.23	106.43	1,310.79
2018年	IDA 567.45	EU Institutions 165.15	AfDF 151.78	GFATM 99.76	GAVI 49.84	91.08	1,125.07
2019年	IDA 553.52	GFATM 180.62	AfDF 124.83	EU Institutions 93.83	GAVI 60.76	79.38	1,092.95
2020年	IDA 490.34	GFATM 298.10	AfDF 147.12	EU Institutions 107.20	GAVI 40.17	89.58	1,172.52
2021年	IMF-CTF 566.76	IDA 490.73	GFATM 252.52	EU Institutions 146.74	AfDF 95.45	126.32	1,678.52

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.44億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.44)	・リスクベースアプローチに基づいた税務調査能力向上プロジェクト [23.02～27.01] ・母子保健サービスの質向上プロジェクト [22.07～27.07] ・TOD都市開発能力強化支援プロジェクト [22.06～25.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[29] チャド

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,772万人	690ドル	2.2%	34.71億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チャド援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	3.00	0.24
2019年度	-	6.00	0.26
2020年度	-	3.00	0.08
2021年度	-	4.48	0.02
2022年度	-	1.50	0.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チャド援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	83.98	10.53

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チャド援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.98	0.23	11.21
2018年	-	5.36	0.22	5.58
2019年	-	5.55	0.21	5.76
2020年	-	7.45	0.10	7.55
2021年	-	9.44	0.04	9.48
累計	-	169.94	11.21	181.15

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 95.57	米国 35.22	スイス 26.57	ドイツ 26.55	イタリア 12.75	231.87	11.21
2018年	フランス 102.98	米国 93.53	ドイツ 39.26	スイス 31.37	カナダ 14.64	311.66	5.58
2019年	フランス 102.95	米国 65.56	ドイツ 41.06	スイス 27.89	カナダ 10.86	278.62	5.76
2020年	米国 88.32	フランス 74.63	ドイツ 39.92	スイス 28.54	カナダ 9.67	276.55	7.55
2021年	米国 112.00	フランス 84.90	ドイツ 37.61	スイス 30.45	スウェーデン 11.61	320.01	9.48

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 131.46	IDA 87.98	AfDF 79.23	IMF-CTF 48.60	GFATM 27.44	63.97	438.67
2018年	EU Institutions 169.41	IMF-CTF 148.87	IDA 125.01	GFATM 31.01	AfDF 28.39	73.76	576.47
2019年	EU Institutions 90.95	IMF-CTF 76.27	IDA 69.66	GFATM 51.84	UNICEF 19.80	86.02	394.53
2020年	IDA 206.55	IMF-CTF 188.30	EU Institutions 165.71	AfDF 72.56	GFATM 28.12	110.60	771.83
2021年	IMF-CTF 88.02	EU Institutions 87.65	IDA 80.18	GFATM 44.67	UNHCR 29.23	76.74	406.49

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	1.50億円 ・食糧援助(WFP連携) (1.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[30] 中央アフリカ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
558万人	480ドル	0.5%	10.18億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	5.93	0.08
2019年度	-	3.50	0.11
2020年度	-	5.48	0.03
2021年度	-	1.48	0.02
2022年度	-	5.06	0.04

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	6.00	411.47	28.32

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対中央アフリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.87	0.03	10.90
2018年	-	6.37	0.07	6.44
2019年	-	5.71	0.10	5.81
2020年	-	10.79	0.05	10.84
2021年	-	6.42	0.03	6.45
累計	-2.01	444.54	24.72	467.26

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 61.88	ドイツ 48.25	フランス 33.20	英国 17.60	スウェーデン 13.60	251.67	10.90
2018年	米国 56.87	ドイツ 49.45	フランス 42.11	スウェーデン 24.14	英国 19.38	267.83	6.44
2019年	米国 104.13	ドイツ 54.84	フランス 44.60	英国 19.28	スウェーデン 17.95	309.75	5.81
2020年	米国 130.34	ドイツ 49.61	フランス 37.03	英国 25.46	スウェーデン 18.61	321.94	10.84
2021年	米国 122.39	ドイツ 69.27	フランス 30.53	スウェーデン 19.48	英国 13.65	323.12	6.45

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 94.12	IMF-CTF 55.61	AfDF 29.46	GFATM 29.18	CERF 16.00	53.75	278.12
2018年	EU Institutions 127.62	IDA 98.04	IMF-CTF 64.67	GFATM 25.16	AfDF 15.80	57.14	388.44
2019年	IDA 169.58	EU Institutions 115.50	GFATM 30.60	UNPBF 15.18	GAVI 13.29	46.47	390.61
2020年	IDA 177.19	EU Institutions 151.31	IMF-CTF 63.61	GFATM 30.41	AfDF 20.82	67.87	511.21
2021年	EU Institutions 88.17	IDA 77.48	IMF-CTF 41.11	GFATM 33.79	WFP 12.46	71.95	324.96

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.06億円 ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・社会的弱者の強靱性強化及び包摂的な経済開発支援計画(UNDP連携) (3.06)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[31] トーゴ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
885万人	1,010ドル	5.8%	31.18億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トーゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	14.28	0.72
2019年度	-	3.15	0.88
2020年度	-	3.08	0.98
2021年度	-	5.99	1.31
2022年度	-	5.18	1.32

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トーゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	93.46	284.46	31.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トーゴ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.27	0.39	16.66
2018年	-	26.49	0.63	27.12
2019年	-	17.51	0.80	18.31
2020年	-	4.92	0.93	5.85
2021年	-	3.28	0.76	4.04
累計	-44.04	368.13	30.00	354.09

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 25.86	フランス 24.48	日本 16.66	米国 5.07	カナダ 1.83	81.01	16.66
2018年	フランス 32.43	ドイツ 30.43	日本 27.12	米国 4.26	カナダ 1.82	102.98	27.12
2019年	ドイツ 30.47	フランス 24.39	日本 18.31	米国 4.03	カナダ 2.91	90.06	18.31
2020年	ドイツ 41.94	フランス 32.35	日本 5.85	米国 4.49	カナダ 3.62	98.43	5.85
2021年	ドイツ 67.55	フランス 44.25	米国 13.73	ハンガリー 8.02	カナダ 4.45	155.09	4.04

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 80.82	IMF-CTF 69.80	IDA 66.42	GFATM 32.46	GAVI 12.25	38.43	300.19
2018年	IMF-CTF 71.27	IDA 69.82	EU Institutions 45.41	AfDF 20.88	GFATM 17.34	29.87	254.60
2019年	IDA 207.10	EU Institutions 45.71	GFATM 16.04	AfDF 15.63	GAVI 9.17	27.71	321.37
2020年	IDA 149.00	IMF-CTF 143.02	EU Institutions 57.64	AfDF 46.77	GFATM 34.03	43.65	474.11
2021年	IDA 65.95	GFATM 42.70	EU Institutions 29.71	AfDF 11.94	GAVI 10.97	29.96	191.22

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	5.18億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.19) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.70) ・食糧援助 (3.50) ・ソコデ市バイパス道路建設計画(詳細設計) (0.79)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[32] ナイジェリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.19億人	2,160ドル	3.3%	983.35億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	5.67	10.81
2019年度	-	39.62	5.02
2020年度	-	20.11	4.20
2021年度	-	12.11	9.33
2022年度	261.80	3.90	7.18

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	895.77	597.93	241.05

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナイジェリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.11	13.39	9.67	22.94
2018年	-	7.78	5.47	13.25
2019年	-	6.97	8.20	15.17
2020年	-5.34	9.43	4.11	8.20
2021年	-5.20	24.42	6.49	25.71
累計	-124.53	2,592.28	222.40	2,690.14

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 729.22	英国 419.19	ドイツ 290.39	フランス 77.04	カナダ 56.47	1,743.37	23.06
2018年	米国 845.80	英国 397.54	ドイツ 240.10	フランス 89.35	カナダ 45.14	1,734.62	13.25
2019年	米国 654.80	英国 328.41	ドイツ 163.39	フランス 50.98	カナダ 41.95	1,361.93	15.17
2020年	米国 932.87	英国 309.42	フランス 203.83	ドイツ 123.61	カナダ 40.06	1,719.26	13.54
2021年	米国 919.76	英国 194.32	ドイツ 164.25	フランス 154.46	カナダ 60.39	1,643.18	30.91

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 820.61	GFATM 287.36	EU Institutions 278.17	GAVI 121.98	UNICEF 55.19	160.21	1,723.53
2018年	IDA 951.80	EU Institutions 300.98	GFATM 194.00	GAVI 89.38	AfDF 71.36	122.48	1,730.00
2019年	IDA 1,332.70	GFATM 215.67	GAVI 188.98	EU Institutions 186.61	AfDF 75.85	117.60	2,117.41
2020年	IDA 1,212.18	GFATM 266.27	EU Institutions 172.44	GAVI 157.47	UNICEF 41.73	108.87	1,958.96
2021年	IDA 1,295.36	GFATM 387.38	GAVI 168.61	EU Institutions 156.11	AfDF 48.21	167.75	2,223.42

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	261.80億円 (261.80)	3.90億円	
	・ラゴス州及びオグン州送電網整備計画	・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.80) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00)	・配電能力向上プロジェクト [22.04~25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[33] ナミビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
257万人	5,010ドル	7.6%	—	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナミビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.53	2.38
2019年度	-	0.71	1.67
2020年度	-	9.50	1.34
2021年度	-	0.50	2.36
2022年度	-	0.31	3.05

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナミビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	100.91	79.36	66.82

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナミビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.37	0.68	3.09	-4.60
2018年	-8.50	0.35	1.60	-6.55
2019年	-8.61	1.73	2.05	-4.82
2020年	-8.79	1.35	1.31	-6.14
2021年	-8.55	11.01	1.54	4.00
累計	14.83	78.19	70.85	163.89

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 58.65	ドイツ 53.47	フランス 33.69	日本 3.77	フィンランド 2.40	156.53	3.77
2018年	米国 66.64	ドイツ 65.40	日本 1.95	フィンランド 1.58	スウェーデン 1.02	140.51	1.95
2019年	ドイツ 93.46	米国 33.80	日本 3.78	英国 1.44	フランス 1.43	138.60	3.78
2020年	米国 83.21	ドイツ 57.41	フランス 17.65	日本 2.66	英国 1.73	167.33	2.66
2021年	ドイツ 89.79	米国 85.85	日本 12.55	スウェーデン 2.24	英国 2.01	196.95	12.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 47.74	EU Institutions 5.42	Adaptation Fund 4.12	GCF 3.76	GEF 2.55	6.00	69.60
2018年	EU Institutions 19.11	GFATM 18.59	GCF 7.52	Adaptation Fund 4.12	GEF 1.87	6.30	57.51
2019年	EU Institutions 17.55	GFATM 12.74	GCF 7.43	GEF 2.22	ILO 1.43	6.13	47.51
2020年	EU Institutions 20.69	GFATM 11.09	GEF 3.82	GCF 3.79	CERF 3.00	6.79	49.18
2021年	GFATM 13.35	EU Institutions 11.16	GEF 2.48	Adaptation Fund 2.47	WHO 1.71	7.14	38.33

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.31億円 ・草の根・人間の安全保 障無償 (5件) (0.31)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[34] ニジェール

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,621万人	580ドル	11.5%	54.16億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニジェール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	5.16	3.99
2019年度	-	18.24	1.90
2020年度	-	8.00	3.65
2021年度	-	4.10	7.51
2022年度	-	4.94	3.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニジェール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	32.00	621.94	232.17

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニジェール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	12.63	1.92	14.55
2018年	-	8.85	3.51	12.36
2019年	-	11.51	1.88	13.39
2020年	-	9.14	2.04	11.18
2021年	-	14.96	7.10	22.06
累計	-28.64	603.65	222.36	797.38

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	イタリア 79.17	米国 77.22	フランス 68.37	ドイツ 38.32	スイス 34.08	431.35	14.55
2018年	米国 159.33	ドイツ 103.14	フランス 53.28	ルクセンブルク 43.89	スイス 30.47	532.74	12.36
2019年	米国 159.36	ドイツ 102.15	フランス 86.71	ルクセンブルク 42.62	スイス 32.91	555.93	13.39
2020年	米国 212.52	ドイツ 142.95	フランス 105.76	ルクセンブルク 34.13	スイス 34.04	699.61	11.18
2021年	米国 263.42	ドイツ 154.37	フランス 126.12	ルクセンブルク 36.20	ベルギー 34.57	823.58	22.06

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 318.20	EU Institutions 241.34	IMF-CTF 39.10	GFATM 38.15	AfDF 28.66	149.99	815.43
2018年	IDA 285.98	EU Institutions 239.20	AfDF 73.54	GFATM 42.33	IMF-CTF 39.93	111.09	792.07
2019年	IDA 508.79	EU Institutions 173.09	AfDF 63.94	GAVI 36.58	GFATM 35.77	95.68	913.85
2020年	IDA 514.69	EU Institutions 237.36	IMF-CTF 171.52	AfDF 120.18	GFATM 53.15	168.27	1,265.17
2021年	IDA 510.53	EU Institutions 164.16	IMF-CTF 76.56	AfDF 57.79	GFATM 55.41	149.14	1,013.58

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	4.94億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・食糧援助 (4.00) ・ニアメ市における中学校整備計画(詳細設計) (0.84)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[35] ブルキナファソ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,267万人	850ドル	1.8%	103.81億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	26.79	6.01
2019年度	-	28.99	5.42
2020年度	-	40.49	5.08
2021年度	-	7.07	8.30
2022年度	-	28.84	5.72

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	56.59	613.72	213.45

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	8.87	10.50	19.37
2018年	-	9.48	6.34	15.82
2019年	-	20.77	6.01	26.78
2020年	9.78	39.73	3.69	53.20
2021年	-	57.91	5.94	63.85
累計	9.78	549.12	201.23	760.13

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 108.87	米国 72.61	ドイツ 41.01	スイス 34.62	デンマーク 33.41	434.24	19.37
2018年	フランス 106.38	米国 65.16	ドイツ 54.39	カナダ 43.94	デンマーク 39.57	463.83	15.82
2019年	フランス 121.29	米国 101.26	ドイツ 77.73	スウェーデン 48.98	カナダ 39.71	569.19	26.78
2020年	フランス 164.21	米国 121.36	ドイツ 93.44	日本 53.20	スイス 51.01	722.64	53.20
2021年	米国 182.66	フランス 135.20	ドイツ 69.94	日本 63.85	スウェーデン 53.62	803.38	63.85

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 207.27	EU Institutions 187.54	AfDF 45.14	GFATM 38.10	GAVI 20.61	71.35	570.01
2018年	IDA 407.56	EU Institutions 196.78	GFATM 48.53	AfDF 42.04	GAVI 27.05	112.25	834.22
2019年	IDA 305.35	EU Institutions 151.45	GFATM 49.74	AfDF 41.88	GAVI 36.51	92.15	677.07
2020年	IDA 382.05	EU Institutions 236.84	IMF-CTF 194.21	AfDF 79.90	GFATM 61.80	194.05	1,148.86
2021年	IDA 477.02	EU Institutions 109.51	GFATM 92.27	OPEC Fund 36.59	IFAD 24.09	155.70	895.19

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	28.84億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.34) ・食糧援助(WFP連携) (2.50) ・都市部における避難民及びホストコミュニティの社会的・経済的包摂計画(UN連携/UN-HABITAT実施) (4.29) ・中央地方及び中央西部地方における中学校及び技術教育職業訓練中学校建設計画(UNICEF連携) (11.65) ・保健社会向上センター建設計画 (10.06)	・灌漑区再活性のための能力強化プロジェクト [22.09~25.08]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[36] ブルンジ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,289万人	240ドル	1.8%	9.54億ドル	後開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブルンジ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	6.00	0.68
2019年度	-	3.30	1.00
2020年度	-	3.50	1.05
2021年度	-	13.27	1.26
2022年度	-	6.10	1.49

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブルンジ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	33.00	319.78	53.06

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブルンジ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.72	0.86	2.58
2018年	-	9.22	0.64	9.86
2019年	-	10.83	0.77	11.60
2020年	-	4.78	0.88	5.66
2021年	-	10.01	1.17	11.18
累計	-11.20	309.89	51.30	349.98

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 64.09	ベルギー 36.38	ドイツ 32.87	オランダ 30.97	スイス 9.29	211.66	2.58
2018年	米国 50.03	ベルギー 41.51	オランダ 37.06	ドイツ 33.34	日本 9.86	216.27	9.86
2019年	米国 63.69	ドイツ 37.39	オランダ 30.82	ベルギー 28.51	日本 11.60	208.44	11.60
2020年	米国 62.45	ドイツ 34.29	オランダ 31.38	ベルギー 28.02	スイス 8.14	201.26	5.66
2021年	米国 61.83	オランダ 37.73	ベルギー 36.39	ドイツ 30.85	日本 11.18	220.53	11.18

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	GFATM 59.86	IDA 49.29	EU Institutions 44.19	AfDF 21.12	IFAD 17.30	52.95	244.70
2018年	IDA 85.34	EU Institutions 48.97	GAVI 33.71	IFAD 21.13	UNICEF 11.38	60.55	261.08
2019年	IDA 126.50	EU Institutions 110.52	GFATM 49.27	AfDF 31.72	IFAD 18.83	58.75	395.59
2020年	IDA 87.85	EU Institutions 56.42	GFATM 37.36	IFAD 24.38	UNDP 21.03	80.47	307.47
2021年	IMF-CTF 84.45	IDA 81.36	EU Institutions 67.77	GFATM 41.15	UNHCR 28.71	95.59	399.02

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	6.10億円 <ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・食糧援助 (3.00) 	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[37] ベナン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,335万人	1,400ドル	6.3%	73.07億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベナン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	7.23	6.10
2019年度	-	14.24	7.33
2020年度	-	7.10	2.94
2021年度	-	11.96	2.93
2022年度	-	24.92	2.38

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベナン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	37.62	487.42	110.36

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベナン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	15.86	4.49	20.35
2018年	-	9.10	5.16	14.26
2019年	-	5.12	5.27	10.39
2020年	-	13.62	4.79	18.41
2021年	-	5.86	2.97	8.83
累計	-3.14	439.72	105.72	542.30

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 120.49	フランス 46.41	ドイツ 37.27	オランダ 31.73	スイス 27.18	330.42	20.35
2018年	米国 58.13	フランス 51.27	ドイツ 42.10	スイス 28.40	ベルギー 27.68	272.34	14.26
2019年	米国 100.92	ドイツ 45.14	フランス 40.41	オランダ 31.60	スイス 25.29	299.79	10.39
2020年	米国 97.49	フランス 68.75	ドイツ 65.38	オランダ 38.72	スイス 28.04	366.90	18.41
2021年	米国 171.39	フランス 84.69	ドイツ 55.43	オランダ 41.48	スイス 28.82	446.33	8.83

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 112.30	EU Institutions 84.41	AfDF 69.09	GFATM 50.51	IMF-CTF 44.14	40.25	400.70
2018年	IDA 110.51	EU Institutions 94.45	IMF-CTF 45.07	AfDF 32.16	GFATM 23.34	44.22	349.76
2019年	IDA 226.88	EU Institutions 49.99	AfDF 25.07	GFATM 24.95	GAVI 11.12	34.92	372.93
2020年	IDA 291.27	IMF-CTF 204.74	EU Institutions 148.56	GFATM 29.18	AfDF 18.97	51.65	744.37
2021年	IDA 252.12	EU Institutions 58.74	GFATM 38.56	AfDF 17.75	OPEC Fund 11.72	51.91	430.81

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	24.92億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.59) ・クフォ県及びプラトー県における飲料水供給システム強化計画 (12.77) ・コトヌ市ベドコ交差点立体交差建設計画 (11.56)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[38] ボツワナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
263万人	7,430ドル	5.8%	19.68億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボツワナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.27	4.22
2019年度	-	0.25	3.36
2020年度	-	9.68	2.68
2021年度	-	0.16	2.02
2022年度	150.00	0.17	2.65

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボツワナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	369.81	54.23	100.61

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボツワナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	3.22	0.31	4.20	7.74
2018年	6.10	0.35	3.13	9.58
2019年	-1.28	0.72	3.32	2.76
2020年	-0.48	4.47	2.63	6.62
2021年	1.26	5.04	2.53	8.83
累計	10.54	83.21	93.11	186.87

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 55.45	日本 11.76	英国 1.38	韓国 1.02	オーストラリア 0.91	72.38	11.76
2018年	米国 54.66	日本 12.77	英国 1.52	オーストラリア 1.01	ドイツ 0.67	71.74	12.77
2019年	米国 44.65	日本 9.41	英国 2.54	ドイツ 1.53	韓国 1.13	61.22	9.41
2020年	米国 54.50	日本 13.41	英国 2.55	ドイツ 1.30	韓国 0.74	74.28	13.41
2021年	米国 58.07	日本 13.13	英国 3.25	フランス 1.55	ドイツ 1.31	79.31	13.13

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 18.94	GFATM 12.32	GEF 1.82	UNHCR 1.77	WHO 1.00	3.55	39.41
2018年	GFATM 11.75	GEF 3.26	EU Institutions 2.14	UNHCR 1.28	UNICEF 1.18	3.45	23.05
2019年	GFATM 7.50	EU Institutions 5.18	OPEC Fund 3.73	GEF 2.72	UNICEF 1.01	5.01	25.15
2020年	GFATM 6.33	EU Institutions 5.48	GEF 2.10	OPEC Fund 1.68	UNICEF 1.24	2.49	19.33
2021年	GFATM 12.60	EU Institutions 6.61	OPEC Fund 5.97	WHO 1.78	UNICEF 1.07	4.36	32.39

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	150.00億円 ・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款 (150.00)	0.17億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.17)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[39] マダガスカル

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,961万人	510ドル	3.8%	59.38億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マダガスカル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	19.64	11.59
2019年度	-	10.94	8.37
2020年度	-	23.07	9.59
2021年度	-	20.00	15.07
2022年度	-	36.29	12.70

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マダガスカル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	559.14	778.25	264.99

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マダガスカル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.43	8.45	13.88
2018年	19.86	12.09	10.38	42.34
2019年	13.39	10.54	8.62	32.55
2020年	40.16	16.66	7.64	64.46
2021年	13.98	15.68	12.02	41.68
累計	-75.05	1,047.44	243.49	1,215.88

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 89.40	フランス 57.47	ドイツ 41.51	韓国 19.56	日本 13.88	253.11	13.88
2018年	米国 98.34	フランス 73.88	ドイツ 52.00	日本 42.34	ノルウェー 10.09	301.07	42.34
2019年	米国 108.39	フランス 78.98	ドイツ 35.07	日本 32.55	ノルウェー 9.09	284.51	32.55
2020年	米国 121.76	フランス 84.77	日本 64.46	ドイツ 35.72	ノルウェー 9.12	341.38	64.46
2021年	米国 154.15	フランス 109.49	ドイツ 84.00	日本 41.68	ノルウェー 9.00	438.50	41.68

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 204.57	IMF-CTF 129.51	EU Institutions 76.11	AfDF 60.06	GFATM 21.52	75.05	566.82
2018年	IDA 196.99	EU Institutions 90.13	GFATM 47.91	IMF-CTF 44.50	AfDF 38.15	84.84	502.51
2019年	IDA 210.89	EU Institutions 74.50	IMF-CTF 44.77	AfDF 33.40	IFAD 26.79	93.42	483.77
2020年	IMF-CTF 392.71	IDA 320.94	EU Institutions 110.16	GFATM 43.63	AfDF 35.97	97.72	1,001.12
2021年	IDA 321.06	IMF-CTF 85.00	EU Institutions 84.50	AfDF 60.61	GFATM 34.61	103.67	689.46

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	36.29億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (1.02) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.26) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.55) ・草の根文化無償 (1件) (0.08) ・経済社会開発計画 (2件) (17.00) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・アンタナナリボにおけるきれいな街のための廃棄物管理機材改善計画 (8.45) ・稲種子生産ほ場及び施設整備計画 (1.63) ・国道二号線(アンタナナリポートアマシナ間)におけるマングル橋及びアンツァパザナ橋改修計画 (5.29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンタナナリボ廃棄物管理体制強化プロジェクト [23.01~26.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[40] マラウイ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,041万人	640ドル	0.9%	33.38億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マラウイ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	4.37	11.57
2019年度	-	1.53	10.16
2020年度	-	12.00	6.29
2021年度	-	23.85	12.41
2022年度	-	23.46	8.73

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マラウイ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	331.49	840.00	507.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マラウイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	29.43	11.67	41.10
2018年	-	10.64	10.35	20.99
2019年	-	40.21	10.63	50.84
2020年	-	22.55	5.67	28.22
2021年	-	10.98	8.69	19.67
累計	-35.39	928.97	439.41	1,332.98

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 449.92	英国 115.24	ドイツ 67.38	ノルウェー 58.86	日本 41.10	793.29	41.10
2018年	米国 449.54	英国 111.81	ノルウェー 58.86	ドイツ 56.95	アイルランド 24.76	763.61	20.99
2019年	米国 269.66	英国 103.63	ドイツ 66.11	ノルウェー 56.58	日本 50.84	609.20	50.84
2020年	米国 323.10	ドイツ 97.17	英国 85.78	ノルウェー 53.51	日本 28.22	648.36	28.22
2021年	米国 291.94	ドイツ 93.30	英国 61.11	ノルウェー 53.76	アイルランド 20.60	582.17	19.67

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 328.33	GFATM 172.06	EU Institutions 112.63	AfDF 55.48	IMF-CTF 27.04	76.79	772.31
2018年	GFATM 139.95	IDA 132.44	EU Institutions 87.50	AfDF 49.76	IMF-CTF 31.57	99.33	540.52
2019年	GFATM 162.69	IDA 156.24	EU Institutions 130.87	AfDF 40.30	GAVI 18.64	85.63	594.37
2020年	IMF-CTF 213.33	IDA 196.40	GFATM 174.43	EU Institutions 107.84	AfDF 66.58	101.89	860.47
2021年	GFATM 180.33	IDA 178.93	EU Institutions 121.93	AfDF 36.08	IFAD 21.55	94.50	633.34

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	23.46億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.07) ・経済社会開発計画 (1件) (6.50) ・リロングウェ市幹線道路改修計画 (11.32) ・リロングウェ市における変電所改修計画 (5.57)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[41] マリ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,259万人	850ドル	3.7%	63.43億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	6.87	0.54
2019年度	-	6.19	1.95
2020年度	-	15.94	0.75
2021年度	-	4.47	1.58
2022年度	-	6.83	2.23

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	87.02	703.18	111.90

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マリ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.16	3.83	19.99
2018年	-	5.17	1.30	6.47
2019年	-	7.09	1.50	8.59
2020年	-	8.17	0.71	8.88
2021年	-	15.31	1.00	16.31
累計	-8.30	706.43	104.85	802.99

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 218.89	フランス 108.24	カナダ 94.51	ドイツ 74.15	スウェーデン 39.39	736.12	19.99
2018年	米国 216.61	ドイツ 126.27	フランス 94.14	カナダ 86.30	オランダ 48.93	815.46	6.47
2019年	米国 223.01	フランス 113.05	ドイツ 107.48	カナダ 72.20	スウェーデン 45.39	805.91	8.59
2020年	米国 186.43	フランス 127.78	ドイツ 108.55	カナダ 60.85	デンマーク 49.08	768.57	8.88
2021年	米国 223.31	フランス 128.68	ドイツ 118.36	カナダ 92.49	デンマーク 90.60	932.07	16.31

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 210.44	IDA 193.66	AfDF 86.32	GFATM 44.22	IMF-CTF 43.88	90.92	669.45
2018年	IDA 247.09	EU Institutions 235.00	IMF-CTF 134.43	AfDF 48.65	GFATM 44.11	122.12	831.39
2019年	IDA 415.01	EU Institutions 207.37	GFATM 43.34	AfDF 36.07	GAVI 27.66	90.40	819.85
2020年	IMF-CTF 252.76	IDA 179.32	EU Institutions 156.68	AfDF 93.00	GFATM 55.13	140.28	877.18
2021年	IDA 213.80	EU Institutions 128.28	IMF-CTF 72.19	GFATM 40.14	AfDF 24.65	92.23	571.28

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	6.83億円 <ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.73) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・食糧援助 (3.00) 	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[42] 南アフリカ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,989万人	6,780ドル	1.9%	1721.33億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.89	9.63
2019年度	-	2.91	7.70
2020年度	-	0.60	4.19
2021年度	-	0.19	6.36
2022年度	-	0.32	7.25

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	140.61	145.28	183.66

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南アフリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.84	0.92	11.02	11.10
2018年	-0.85	1.04	8.96	9.14
2019年	-0.86	2.69	8.20	10.03
2020年	-0.88	4.51	5.27	8.90
2021年	-0.43	1.76	5.03	6.36
累計	-2.64	132.68	191.41	321.43

出典)OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 597.65	ドイツ 134.58	フランス 65.43	英国 24.68	スイス 14.70	893.15	11.94
2018年	米国 578.72	ドイツ 141.70	フランス 66.80	英国 39.62	スイス 15.75	893.61	10.00
2019年	米国 392.07	ドイツ 207.30	フランス 123.05	英国 43.51	スイス 11.40	830.93	10.89
2020年	米国 720.78	ドイツ 175.27	英国 62.02	フランス 48.82	オーストラリア 20.20	1,104.93	9.78
2021年	米国 711.26	フランス 300.79	英国 141.69	ドイツ 99.42	スイス 14.29	1,324.93	6.79

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 132.66	GFATM 81.19	UNHCR 15.42	GEF 5.44	WHO 1.92	7.57	244.19
2018年	EU Institutions 132.66	GFATM 115.10	GEF 6.27	WHO 1.82	AfDB 1.48	4.85	262.17
2019年	EU Institutions 151.42	GFATM 83.17	Adaptation Fund 2.43	UNAIDS 2.23	GEF 2.06	9.72	251.02
2020年	EU Institutions 150.49	GFATM 118.13	UNHCR 9.92	GEF 7.02	Adaptation Fund 1.88	8.14	295.58
2021年	GFATM 221.81	EU Institutions 35.74	UNHCR 11.34	GEF 5.85	WHO 2.68	12.50	289.91

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.32億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (5件) (0.32)	・地方自治体の保健財政 管理強化プロジェクト [22.07～ 26.05] ・品質・生産性向上 (カイゼン)プロジェクト [22.06～ 27.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[43] 南スーダン

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,091万人	—	—	—	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	39.60	9.01
2019年度	-	24.85	4.95
2020年度	-	10.67	2.99
2021年度	-	15.07	9.86
2022年度	-	10.33	11.68

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	347.43	131.32

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南スーダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	35.74	6.48	42.22
2018年	-	26.80	5.57	32.37
2019年	-	35.97	6.77	42.74
2020年	-	19.22	3.12	22.34
2021年	-	35.82	5.89	41.71
累計	-	428.27	123.72	551.99

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 887.08	英国 217.68	ドイツ 151.55	カナダ 109.94	ノルウェー 73.04	1,697.82	42.22
2018年	米国 683.60	英国 202.88	ドイツ 137.02	ノルウェー 76.26	オランダ 70.40	1,393.43	32.37
2019年	米国 559.56	英国 264.73	ドイツ 143.09	ノルウェー 68.96	スウェーデン 56.21	1,320.48	42.74
2020年	米国 725.86	英国 199.78	ドイツ 155.22	カナダ 73.19	スウェーデン 72.62	1,437.68	22.34
2021年	米国 802.54	ドイツ 137.05	英国 132.32	カナダ 108.96	スウェーデン 85.72	1,504.05	41.71

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 240.41	IDA 61.46	UNHCR 56.68	GFATM 48.14	AfDF 20.17	61.42	488.27
2018年	EU Institutions 101.53	GFATM 27.82	IDA 24.81	AfDF 13.24	UNICEF 11.16	28.66	207.22
2019年	IDA 79.71	EU Institutions 68.50	UNHCR 47.82	GAVI 34.64	GFATM 31.72	95.04	357.43
2020年	EU Institutions 117.15	IMF-CTF 51.40	IDA 44.91	UNHCR 36.01	GFATM 31.76	98.68	379.90
2021年	IMF-CTF 175.24	EU Institutions 119.49	IDA 88.48	GFATM 62.45	CERF 42.35	126.77	614.82

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	10.33億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (5件) (2.33) ・ジュバ市内橋梁建設計画 (0.14) ・食糧援助(WFP連携) (4.00) ・ジュバ河川港整備計画(詳細設計) (0.60) ・ジュバにおける廃棄物管理改善計画【追加贈与】 (3.26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュバ市きれいな街プロジェクト [22.06~26.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[44] モーリシャス

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
126万人	10,360ドル	8.9%	173.65億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリシャス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.10	0.13
2019年度	-	3.10	0.95
2020年度	300.00	15.00	2.76
2021年度	-	6.10	1.62
2022年度	-	8.68	2.91

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリシャス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.46	93.32	69.95

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリシャス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-2.75	1.91	0.59	-0.25
2018年	-2.80	6.05	0.49	3.74
2019年	-2.97	3.84	0.20	1.07
2020年	6.60	3.78	1.43	11.81
2021年	266.76	17.57	2.42	286.75
累計	273.16	75.26	59.01	407.43

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 32.57	オーストラリア 2.94	日本 2.57	ドイツ 0.71	スウェーデン 0.50	40.08	2.57
2018年	フランス 80.19	日本 6.60	ドイツ 1.26	英国 0.68	オーストラリア 0.58	90.04	6.60
2019年	フランス 21.63	日本 4.10	フィンランド 2.62	英国 2.56	ドイツ 1.82	34.40	4.10
2020年	フランス 358.95	日本 14.28	ドイツ 2.80	フィンランド 1.51	英国 1.11	380.67	14.28
2021年	日本 295.71	フランス 33.81	ドイツ 3.95	英国 1.23	米国 0.96	337.20	295.71

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 5.89	GEF 4.79	GCF 2.97	GFATM 2.19	WHO 0.89	1.15	17.90
2018年	EU Institutions 26.76	GEF 2.00	Adaptation Fund 1.67	AfDB 1.07	WHO 0.72	2.14	34.37
2019年	EU Institutions 14.74	GCF 4.35	Adaptation Fund 4.19	GEF 1.53	OPEC Fund 0.80	4.05	29.67
2020年	EU Institutions 10.16	GCF 4.95	GEF 2.55	UNDP 1.44	GFATM 0.97	1.05	21.12
2021年	EU Institutions 10.13	GCF 4.34	GEF 1.70	UNDP 0.99	WHO 0.96	2.95	21.08

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	8.68億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.12)	・沿岸域ブルーエコノミーの持続的開発を通じたコミュニティ生計改善プロジェクト [22.05～26.05]
		・草の根文化無償 (1件) (0.06)	
		・経済社会開発計画 (3件) (8.50)	・流出油対応に係る体制能力強化プロジェクト [22.08～25.07]
			・統合的沿岸域生態系管理システム構築プロジェクト [22.05～27.08]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[45] モーリタニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
474万人	2,080ドル	6.4%	46.04億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリタニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	18.00	1.90
2019年度	-	5.84	0.46
2020年度	-	4.10	0.31
2021年度	-	6.61	3.30
2022年度	-	14.29	1.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリタニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	110.84	592.36	75.09

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリタニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.95	1.78	12.73
2018年	-	11.91	2.25	14.16
2019年	-	8.47	0.65	9.12
2020年	-	11.28	0.43	11.71
2021年	-	6.52	1.61	8.13
累計	-11.70	622.96	71.31	682.56

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	フランス 27.00	ドイツ 18.65	日本 12.73	米国 10.42	スペイン 5.79	78.82	12.73
2018年	フランス 28.17	ドイツ 26.56	日本 14.16	米国 13.11	スペイン 8.35	102.10	14.16
2019年	フランス 38.31	ドイツ 21.92	米国 17.92	日本 9.12	スペイン 6.93	97.65	9.12
2020年	フランス 41.24	ドイツ 25.09	米国 16.10	日本 11.71	スペイン 9.53	107.77	11.71
2021年	フランス 26.54	ドイツ 22.03	米国 20.64	スペイン 16.14	日本 8.13	101.40	8.13

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	AFESD 107.07	IDA 53.43	EU Institutions 30.19	IMF-CTF 22.96	AfDF 13.90	59.24	286.78
2018年	AFESD 110.75	EU Institutions 60.72	IMF-CTF 46.89	IDA 36.79	WFP 9.59	48.29	313.03
2019年	AFESD 162.81	IDA 95.38	EU Institutions 74.38	AfDF 6.19	UNHCR 5.52	29.69	373.96
2020年	IMF-CTF 184.53	IDA 161.01	EU Institutions 80.34	AFESD 74.26	AfDF 17.60	49.64	567.37
2021年	IDA 108.81	EU Institutions 65.46	IMF-CTF 23.59	AFESD 17.62	AfDF 9.46	41.06	266.00

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	14.29億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.40) ・食糧援助 (5.00) ・経済社会開発計画 (1件) (6.00) ・水産職業訓練センター施設整備計画 (2.89)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[46] モザンビーク

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,297万人	440ドル	4.4%	640.28億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モザンビーク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	21.78	20.18
2019年度	47.88	76.68	18.67
2020年度	-	43.81	10.31
2021年度	-	19.39	19.60
2022年度	-	12.12	19.64

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モザンビーク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	752.14	1,277.55	379.48

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モザンビーク援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	100.86	22.52	25.23	148.61
2018年	83.96	40.02	18.96	142.94
2019年	53.80	19.51	18.47	91.79
2020年	34.41	26.59	10.32	71.32
2021年	34.00	23.24	12.46	69.70
累計	411.31	1,170.44	349.96	1,931.70

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 507.55	日本 149.52	英国 74.65	ドイツ 64.28	スウェーデン 59.29	1,255.87	149.52
2018年	米国 520.38	日本 143.87	英国 95.04	スウェーデン 79.38	ドイツ 72.78	1,322.11	143.87
2019年	米国 354.72	英国 132.63	日本 92.72	スウェーデン 88.54	ノルウェー 57.90	1,145.64	92.72
2020年	米国 485.86	ドイツ 97.61	スウェーデン 81.01	日本 72.72	ポルトガル 72.07	1,208.43	72.72
2021年	米国 591.10	ドイツ 99.88	スウェーデン 91.70	カナダ 82.27	日本 69.70	1,360.51	69.70

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 232.62	GFATM 163.30	EU Institutions 93.95	AfDF 53.72	GAVI 37.38	89.35	670.30
2018年	IDA 276.18	GFATM 113.30	EU Institutions 65.48	AfDF 45.96	GAVI 33.32	88.22	622.48
2019年	IDA 282.21	GFATM 168.49	EU Institutions 105.78	IMF-CTF 77.48	AfDF 64.65	143.54	842.15
2020年	IDA 498.88	IMF-CTF 344.81	GFATM 265.10	EU Institutions 183.83	AfDF 90.37	118.38	1,501.38
2021年	IDA 527.33	GFATM 214.22	EU Institutions 133.31	AfDF 43.78	GAVI 27.00	123.55	1,069.19

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	12.12億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーラム(JPF)を通じた人道支援 (4件) (1.19) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.88) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.29) ・経済社会開発計画 (1件) (5.00) ・食糧援助(WFP連携) (3.00) ・マプト中央病院新生児棟建設計画 (1.76) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一村一品・カイゼンを通じた 地場産業振興プロジェクト [22.04～ 27.04] ・マプト市都市公共交通改善 支援プロジェクト [23.01～ 25.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[47] リベリア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
530万人	680ドル	4.8%	19.04億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リベリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	17.60	2.24
2019年度	-	21.19	1.53
2020年度	-	20.17	2.07
2021年度	-	6.45	2.03
2022年度	-	3.09	2.95

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リベリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	40.00	385.65	71.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リベリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	22.95	2.52	25.47
2018年	-	17.18	1.69	18.87
2019年	-	23.76	1.83	25.59
2020年	-	19.93	2.03	21.96
2021年	-	16.72	1.14	17.86
累計	-55.18	559.18	54.61	558.61

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 288.18	ドイツ 33.07	日本 25.47	スウェーデン 25.06	ノルウェー 22.96	409.63	25.47
2018年	米国 231.47	スウェーデン 40.14	ドイツ 33.28	日本 18.87	ノルウェー 10.86	351.17	18.87
2019年	米国 186.04	ドイツ 50.73	スウェーデン 34.70	日本 25.59	英国 11.99	322.48	25.59
2020年	米国 179.67	スウェーデン 35.68	ドイツ 31.74	日本 21.96	ノルウェー 14.28	302.35	21.96
2021年	米国 146.86	スウェーデン 45.28	ドイツ 35.11	日本 17.86	アイルランド 6.95	268.75	17.86

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 56.79	EU Institutions 44.54	AfDF 33.89	GFATM 24.94	IMF-CTF 20.47	38.32	218.99
2018年	IDA 91.18	AfDF 46.14	EU Institutions 35.36	GFATM 31.70	UNDP 7.00	30.79	242.16
2019年	IDA 108.37	AfDF 41.82	EU Institutions 40.94	GFATM 15.83	GAVI 14.26	42.75	263.98
2020年	IMF-CTF 129.53	IDA 115.12	AfDF 43.09	EU Institutions 41.68	GFATM 20.82	44.64	394.89
2021年	IDA 137.39	IMF-CTF 46.74	EU Institutions 39.82	GFATM 37.57	AfDF 20.51	64.92	346.97

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	3.09億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09) ・食糧援助 (3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[48] ルワンダ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,378万人	930ドル	8.2%	96.90億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ルワンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	38.53	13.21
2019年度	100.00	20.73	11.17
2020年度	-	14.89	8.59
2021年度	-	8.50	22.03
2022年度	-	8.43	14.98

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ルワンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.08	534.02	227.57

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ルワンダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	7.80	20.35	15.18	43.32
2018年	11.79	13.20	12.76	37.75
2019年	55.26	13.52	9.91	78.69
2020年	32.48	16.10	7.43	56.01
2021年	42.98	15.41	12.55	70.93
累計	155.84	393.47	189.59	738.90

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 177.36	英国 76.58	オランダ 48.07	ドイツ 45.24	日本 43.32	511.55	43.32
2018年	米国 170.00	英国 73.05	オランダ 47.12	ドイツ 45.58	ベルギー 41.86	500.26	37.75
2019年	米国 185.84	英国 80.92	日本 78.69	オランダ 47.22	ドイツ 44.53	563.07	78.69
2020年	米国 189.76	ドイツ 59.88	ベルギー 59.33	日本 56.01	英国 54.84	571.95	56.01
2021年	米国 157.74	ドイツ 100.79	フランス 71.46	日本 70.93	ベルギー 52.33	666.08	70.93

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 296.12	EU Institutions 149.28	GFATM 84.69	IMF-CTF 74.97	AfDF 47.31	78.10	730.46
2018年	IDA 253.24	AfDF 119.77	EU Institutions 93.57	GFATM 69.40	IMF-CTF 25.52	59.86	621.36
2019年	IDA 309.02	GFATM 94.53	EU Institutions 72.99	AfDF 63.54	IFAD 22.82	62.32	625.22
2020年	IDA 475.71	IMF-CTF 251.03	AfDF 138.47	GFATM 79.39	EU Institutions 72.63	74.73	1,091.95
2021年	IDA 342.45	GFATM 110.90	EU Institutions 68.65	AfDF 38.69	IMF-CTF 30.04	103.23	693.95

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	8.43億円	
		・日本NGO連携無償 (2件) (0.99)	・デジタルイノベーション促進プロジェクト [22.07~26.05]
		・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.18)	
		・経済社会開発計画 (1件) (5.50)	
		・キガリ市中央北部における給水サービス改善計画 (1.76)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[49] レット

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
231万人	1,230ドル	1.1%	18.10億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レット援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	20.38	0.46
2019年度	-	2.25	0.78
2020年度	-	3.74	0.46
2021年度	-	16.23	0.48
2022年度	-	2.58	0.22

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レット援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	168.15	15.43

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レット援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.32	0.32	1.64
2018年	-	3.06	0.42	3.48
2019年	-	4.01	0.58	4.59
2020年	-	3.64	0.45	4.09
2021年	-	3.63	0.41	4.04
累計	-	122.93	14.67	137.60

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レット経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 73.52	日本 1.64	オーストラリア 1.39	ドイツ 1.20	スイス 0.66	80.27	1.64
2018年	米国 86.13	日本 3.48	ドイツ 1.14	スイス 0.63	オーストラリア 0.44	93.62	3.48
2019年	米国 54.96	日本 4.59	ドイツ 0.82	スイス 0.74	オーストラリア 0.44	63.29	4.59
2020年	米国 78.25	日本 4.09	ドイツ 1.23	スイス 0.69	英国 0.68	86.98	4.09
2021年	米国 83.85	日本 4.04	英国 1.24	ドイツ 1.10	カナダ 0.61	92.74	4.04
	-	-	-	-	フランス 0.61	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レット経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	IDA 31.83	GFATM 25.81	EU Institutions 9.95	AfDF 6.87	OPEC Fund 5.18	12.89	92.52
2018年	IDA 36.57	GFATM 19.34	EU Institutions 12.60	AfDF 10.32	IFAD 4.02	10.44	93.31
2019年	IDA 40.21	GFATM 19.30	EU Institutions 8.39	CERF 7.85	AfDF 7.60	23.43	106.80
2020年	IDA 32.78	GFATM 30.28	EU Institutions 19.02	IMF-CTF 16.24	AfDF 4.58	20.86	123.76
2021年	IDA 50.11	EU Institutions 22.62	GFATM 15.27	AfDF 7.66	IMF-CTF 3.71	21.84	121.20

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.58億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.08) ・食糧援助 (WFP連携) (2.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

欧州地域

欧州地域

表－1 欧州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	10.45 (0.3)	9.57 (0.3)	13.14 (0.4)	12.90 (0.3)	20.11 (0.5)	941.74
		技術協力	20.45 (0.9)	17.42 (0.9)	13.58 (0.7)	10.17 (0.6)	12.71 (0.8)	485.55
		贈与計	30.90 (0.6)	26.99 (0.5)	26.72 (0.5)	23.07 (0.4)	32.82 (0.6)	1,427.29
	政府貸付等 支出総額	61.52 (0.6)	53.26 (0.7)	49.93 (0.5)	64.24 (0.6)	63.83 (0.5)	1,342.81	
	<政府貸付等 支出純額>	<43.34>	<31.39>	<24.85>	<29.26>	<18.16>	<1,020.87>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		92.42 (0.6)	80.25 (0.6)	76.66 (0.5)	87.31 (0.5)	96.66 (0.5)	2,770.12	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<74.23>	<58.39>	<51.58>	<52.34>	<51.01>	<2,448.30>	

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1.()内は各形態別の全世界合計に占める欧州地域の割合(%)。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

3.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 欧州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2019	ドイツ 663.22	米国 450.44	スウェーデン 186.16	スイス 185.27	英国 170.93	2,401.52	76.66
	2020	ドイツ 825.34	米国 487.66	スイス 183.50	スウェーデン 160.20	英国 145.82	2,592.35	87.31
	2021	ドイツ 1,006.86	米国 756.55	スイス 205.10	スウェーデン 182.54	英国 160.33	3,261.12	96.66
政府貸付等	2019	ドイツ 240.78	日本 49.93	フィンランド 10.87	イタリア 8.91	カナダ 8.29	330.50	49.93
	2020	ドイツ 339.55	日本 64.24	ポーランド 7.12	フランス 6.96	オーストリア 6.89	428.77	64.24
	2021	ドイツ 396.90	フランス 64.31	日本 63.83	ポーランド 29.79	オーストリア 17.74	580.97	63.83
無償資金協力	2019	米国 427.24	英国 158.58	スイス 151.39	スウェーデン 124.79	ドイツ 109.10	1,310.15	13.14
	2020	米国 477.32	スイス 177.15	ドイツ 157.23	英国 126.96	スウェーデン 111.56	1,408.16	12.90
	2021	米国 747.44	ドイツ 258.12	スイス 198.75	英国 145.67	スウェーデン 139.10	1,938.49	20.11
技術協力	2019	ドイツ 313.34	ポーランド 99.65	オーストリア 74.88	スウェーデン 61.37	スイス 33.88	760.88	13.58
	2020	ドイツ 328.56	ポーランド 86.70	オーストリア 77.12	ハンガリー 72.88	スウェーデン 48.64	755.42	10.17
	2021	ドイツ 351.84	ポーランド 93.52	オーストリア 88.41	スウェーデン 43.44	フランス 26.99	741.64	12.71

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 欧州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2019	EU Institutions 2,376.27	IMF-CTF 120.35	GFATM 65.28	OSCE 53.42	IDA 52.22	171.14	2,838.73
	2020	EU Institutions 4,211.28	IDA 167.06	IMF-CTF 86.78	GFATM 70.23	OSCE 54.33	227.62	4,817.27
	2021	EU Institutions 4,099.42	IDA 112.03	GFATM 75.90	OSCE 56.46	CEB 52.71	271.13	4,667.63
政府貸付等	2019	EU Institutions 757.21	IMF-CTF 120.35	IDA 52.22	CEB 17.17	OPEC Fund 12.69	5.38	965.01
	2020	EU Institutions 2,408.13	IDA 167.06	IMF-CTF 86.78	CEB 44.74	OPEC Fund 39.90	20.99	2,767.60
	2021	EU Institutions 2,234.32	IDA 112.03	OPEC Fund 52.26	CEB 51.13	IMF-CTF 27.14	25.50	2,502.38
無償資金協力	2019	EU Institutions 1,304.30	GFATM 65.28	OSCE 53.42	WHO 31.66	UNHCR 13.93	90.29	1,558.96
	2020	EU Institutions 1,374.14	GFATM 70.23	OSCE 54.33	WHO 21.95	UNHCR 20.89	77.68	1,619.19
	2021	EU Institutions 1,359.95	GFATM 75.90	OSCE 56.46	WHO 36.89	UNHCR 24.24	106.66	1,660.06
技術協力	2019	EU Institutions 314.76	-	-	-	-	-	314.76
	2020	EU Institutions 429.01	IAEA 1.47	-	-	-	-	430.50
	2021	EU Institutions 505.17	-	-	-	-	-	505.17

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2023年12月)

- 注) 1.ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。
 2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アルバニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
278万人	6,770ドル	4.9%	104.55億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルバニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.24	2.89
2019年度	-	1.03	2.67
2020年度	-	1.89	1.99
2021年度	-	0.95	2.73
2022年度	-	2.10	1.89

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	180.92	58.86	45.14

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルバニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.30	-	3.75	16.04
2018年	-1.16	0.08	0.84	-0.24
2019年	-5.17	0.63	3.41	-1.13
2020年	-6.60	0.64	1.17	-4.78
2021年	-6.04	1.99	2.46	-1.58
累計	73.00	43.65	44.31	160.97

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		合計	うち日本
2017年	ドイツ	52.84	スイス	22.33	米国	21.48	日本	19.07	スウェーデン	11.49	155.26	19.07
2018年	ドイツ	85.94	スイス	22.19	米国	21.20	イタリア	16.14	スウェーデン	11.46	188.61	6.13
2019年	ドイツ	64.42	スイス	30.67	イタリア	19.10	米国	17.07	スウェーデン	13.75	177.54	5.33
2020年	ドイツ	92.59	スイス	32.55	米国	16.05	イタリア	13.86	スウェーデン	13.21	204.39	1.81
2021年	ドイツ	228.89	スイス	32.43	スウェーデン	14.81	米国	14.09	オーストリア	13.92	338.12	4.83

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2017年	EU Institutions	79.28	Isl.Dev Bank	4.29	OSCE	2.93	IDA	1.86	OPEC Fund	1.49	5.30	95.15
2018年	EU Institutions	219.25	OPEC Fund	4.02	OSCE	3.10	GFATM	2.47	GEF	1.45	6.83	237.11
2019年	EU Institutions	79.57	OPEC Fund	4.83	GFATM	3.30	OSCE	2.99	UNICEF	0.94	5.44	97.09
2020年	EU Institutions	133.09	OSCE	3.05	GEF	1.72	UNFPA	0.94	UNICEF	0.92	4.92	144.65
2021年	EU Institutions	385.53	OSCE	3.18	OPEC Fund	1.79	SPRP	1.38	GEF	0.93	7.08	399.89

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	2.10億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.65) ・アルバニア国立歴史博物館における保存、修復及び展示環境のための機材整備計画 (1.45)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] ウクライナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,800万人	4,260ドル	-29.1%	1,395.95億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウクライナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.89	3.46
2019年度	-	3.22	3.34
2020年度	-	2.90	2.00
2021年度	-	16.07	2.33
2022年度	780.00	838.19	22.32

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウクライナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,522.54	916.89	81.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

表-2 我が国の対ウクライナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.30	2.44	8.31	2.44
2018年	-6.00	2.60	8.69	5.29
2019年	-7.40	5.66	2.32	0.58
2020年	-14.71	5.09	2.98	-6.64
2021年	-25.44	7.14	2.14	-16.16
累計	578.97	69.31	61.28	709.54

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 233.43	ドイツ 203.11	ポーランド 60.86	カナダ 38.03	スウェーデン 35.20	765.71	10.75
2018年	ドイツ 234.51	米国 193.09	ポーランド 67.23	英国 39.07	スウェーデン 36.62	792.95	13.72
2019年	ドイツ 205.72	米国 200.01	ポーランド 81.41	カナダ 46.91	スウェーデン 37.53	780.37	9.12
2020年	米国 238.35	ドイツ 207.37	ポーランド 65.22	カナダ 36.23	スイス 34.48	781.42	8.54
2021年	米国 310.35	ドイツ 256.74	ポーランド 94.89	スイス 45.83	英国 42.93	987.42	10.22

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 364.68	GFATM 31.47	OSCE 3.50	CIF 3.48	WFP 2.12	8.28	413.53
2018年	EU Institutions 376.56	GFATM 42.13	CIF 8.41	CERF 5.90	OSCE 3.64	9.00	445.63
2019年	EU Institutions 436.01	GFATM 47.85	CERF 6.00	UNHCR 4.52	OSCE 3.47	10.12	507.96
2020年	EU Institutions 1,660.19	GFATM 51.32	CIF 14.11	UNHCR 5.83	OSCE 3.59	8.60	1,743.63
2021年	EU Institutions 1,221.91	GFATM 58.55	CIF 21.23	UNHCR 6.22	OSCE 3.83	10.61	1,322.36

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	780.00億円	838.19億円	
	・緊急経済復興開発政策借款 (130.00)	・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (17件) (23.54)	・人道的地雷・不発弾対策能力向上プロジェクト [23.01~27.07]
	・緊急経済復興開発政策借款 (650.00)	・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.88)	・公共放送組織体制強化プロジェクト フェーズ2 [23.02~26.02]
		・日本NGO連携無償 (7件) (7.83)	
		・経済社会開発計画 (1件) (3.00)	
		・緊急復旧計画 (224.40)	
		・緊急復旧計画(フェーズ2) (530.72)	
		・ウクライナ及び周辺国における人道支援のための緊急無償資金協力(ICRC連携) (10.80)	
		・同上案件(UNDP連携) (4.86)	
		・同上案件(FAO連携) (3.24)	
		・ウクライナへの支援物資輸送のための緊急無償資金協力(U NOPS連携) (1.79)	
		・世界的な食料安全保障をめぐる状況の悪化への対応のための緊急無償資金協力(FAO連携) (18.36)	
		・ウクライナにおける越冬支援のための緊急無償資金協力(U NHCR連携) (2.78)	
		・ウクライナにおける越冬支援のための追加的緊急無償資金協力(UNOPS連携) (0.59)	
		・グローバルな食料安全保障への対応のための緊急無償資金協力(FAO連携) (5.40)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] コソボ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
176万人	5,660ドル	5.2%	36.39億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コソボ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	2.99	3.09
2019年度	-	0.46	3.40
2020年度	-	1.39	1.07
2021年度	-	0.37	5.70
2022年度	-	0.31	1.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コソボ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	15.87	32.71

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コソボ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.39	2.69	3.08
2018年	-	1.85	2.61	4.46
2019年	-	2.74	1.42	4.16
2020年	-	2.08	2.09	4.17
2021年	-	0.51	2.34	2.85
累計	-	15.26	25.39	40.65

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コソボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 50.93	米国 50.28	スイス 24.07	スウェーデン 15.48	ルクセンブルク 8.63	182.04	3.08
2018年	米国 48.52	ドイツ 36.22	スイス 17.96	スウェーデン 16.36	オーストリア 8.62	158.19	4.46
2019年	米国 39.12	ドイツ 33.72	スイス 19.67	スウェーデン 16.45	オーストリア 12.28	155.00	4.16
2020年	ドイツ 44.45	米国 39.13	スイス 20.23	スウェーデン 15.97	オーストリア 10.61	160.80	4.17
2021年	米国 55.97	ドイツ 38.25	スイス 22.32	スウェーデン 17.59	オーストリア 11.09	178.56	2.85

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コソボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 171.76	OSCE 17.93	IDA 9.85	UNHCR 3.29	GFATM 1.29	2.03	206.15
2018年	EU Institutions 148.68	OSCE 18.59	IDA 8.90	UNHCR 1.49	GFATM 1.37	2.08	181.10
2019年	EU Institutions 156.40	OSCE 17.89	IDA 12.17	UNPBF 2.06	UNHCR 1.59	4.33	194.44
2020年	EU Institutions 251.82	IDA 91.86	CEB 20.27	OSCE 18.11	GFATM 1.36	4.93	388.35
2021年	EU Institutions 200.08	IDA 37.09	CEB 20.36	OSCE 18.79	GFATM 1.37	6.41	284.10

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.31億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.31)	・大気汚染対策能力向上プロジェクト フェーズ2 [22.06~26.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] セルビア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
666万人	9,290ドル	2.5%	441.60億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セルビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.94	2.52
2019年度	-	0.37	3.85
2020年度	-	1.65	1.90
2021年度	-	0.58	2.91
2022年度	-	0.71	5.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セルビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	282.52	232.37	66.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セルビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	29.87	0.62	3.45	33.94
2018年	1.27	1.77	2.48	5.52
2019年	24.10	0.41	2.58	27.09
2020年	43.67	1.00	2.15	46.82
2021年	58.01	0.90	2.64	61.55
累計	170.02	187.97	54.36	412.38

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 214.02	日本 34.93	スイス 25.65	米国 16.96	スウェーデン 14.46	342.55	34.93
2018年	ドイツ 192.98	フランス 32.61	米国 24.68	スイス 24.51	スウェーデン 14.60	332.87	6.62
2019年	ドイツ 160.66	日本 28.31	米国 25.60	チェコ 23.68	スイス 21.50	332.18	28.31
2020年	ドイツ 113.71	ハンガリー 49.39	日本 48.09	米国 28.01	スイス 27.11	345.37	48.09
2021年	ドイツ 126.13	フランス 71.71	日本 62.81	米国 35.16	オーストリア 29.48	391.16	62.81

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 501.47	OSCE 6.40	UNHCR 5.73	GEF 1.52	UNICEF 0.98	2.00	518.09
2018年	EU Institutions 687.23	OSCE 6.70	UNHCR 2.43	GEF 2.28	WHO 1.28	2.75	702.66
2019年	EU Institutions 404.43	OSCE 6.37	UNHCR 3.23	UNICEF 1.08	UNPBF 0.91	4.43	420.48
2020年	EU Institutions 410.12	OSCE 6.46	UNHCR 2.79	GEF 1.77	UNICEF 0.92	3.81	425.86
2021年	EU Institutions 544.28	OSCE 6.73	UNHCR 3.29	GCF 1.56	SPRP 1.35	6.93	564.15

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.71億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.71)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] ベラルーシ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
923万人	7,210ドル	-4.7%	399.15億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.36	-
2019年度	-	0.31	-
2020年度	-	0.24	-
2021年度	-	0.84	-
2022年度	-	0.09	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	5.50	-

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベラルーシ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.16	0.07	0.23
2018年	-	0.59	0.08	0.67
2019年	-	0.35	0.04	0.39
2020年	-	0.29	0.00	0.29
2021年	-	0.15	0.01	0.16
累計	-	4.69	3.80	8.49

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ポーランド 33.01	ドイツ 14.55	米国 8.46	スウェーデン 8.25	フランス 2.02	72.57	0.23
2018年	ポーランド 34.15	ドイツ 14.92	米国 9.09	スウェーデン 6.85	リトアニア 2.16	75.62	0.67
2019年	ポーランド 39.14	ドイツ 13.53	スウェーデン 8.94	米国 7.89	英国 2.58	80.84	0.39
2020年	ポーランド 62.64	ドイツ 52.93	米国 8.21	スウェーデン 5.80	英国 1.97	142.35	0.29
2021年	ポーランド 56.27	ドイツ 15.04	米国 12.10	英国 3.65	リトアニア 3.47	103.95	0.16

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 39.42	GFATM 7.23	GEF 2.56	UNICEF 0.87	UNDP 0.42	1.04	51.54
2018年	EU Institutions 29.59	GFATM 6.29	GEF 2.13	UNICEF 0.70	-	2.44	41.87
	-	-	-	WHO 0.70	-	-	-
2019年	EU Institutions 109.54	GFATM 5.79	GEF 2.20	UNICEF 0.83	UNHCR 0.78	1.65	120.78
2020年	EU Institutions 162.30	GFATM 11.80	GEF 3.29	UNICEF 0.99	UNHCR 0.94	1.68	181.00
2021年	EU Institutions 24.21	OPEC Fund 20.00	GFATM 6.04	GEF 2.02	UNICEF 0.89	2.77	55.93

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.09億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ボスニア・ヘルツェゴビナ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
323万人	7,660ドル	4.1%	128.85億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.89	0.74
2019年度	-	0.51	0.82
2020年度	-	1.49	0.57
2021年度	-	5.78	0.76
2022年度	-	0.57	0.45

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	167.43	321.17	73.97

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	14.14	1.31	0.95	16.40
2018年	41.95	0.70	0.55	43.20
2019年	18.12	1.04	0.79	19.96
2020年	11.80	0.25	0.87	12.92
2021年	-3.70	6.35	0.69	3.34
累計	118.80	279.25	71.22	469.31

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 94.52	米国 56.15	スイス 22.77	スウェーデン 20.88	オーストリア 20.84	257.31	17.60
2018年	米国 49.69	日本 44.42	ドイツ 38.27	スイス 23.52	オーストリア 22.18	226.55	44.42
2019年	米国 45.78	ドイツ 44.06	スウェーデン 24.66	日本 24.02	スイス 22.82	224.11	24.02
2020年	ドイツ 80.05	米国 47.51	スウェーデン 25.13	スイス 21.77	オーストリア 20.52	244.84	19.95
2021年	ドイツ 74.05	米国 62.03	スイス 30.71	スウェーデン 29.28	オーストリア 26.46	279.07	10.18

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 221.36	IDA 36.14	CEB 11.88	OSCE 11.60	OPEC Fund 7.33	12.46	300.78
2018年	EU Institutions 140.33	IDA 25.06	CEB 15.87	OPEC Fund 14.00	OSCE 12.49	17.15	224.90
2019年	EU Institutions 202.61	IMF-CTF 117.72	IDA 24.71	OSCE 11.89	CEB 10.15	18.57	385.65
2020年	EU Institutions 260.54	OPEC Fund 38.99	IDA 17.47	CEB 15.97	OSCE 12.11	10.70	355.77
2021年	EU Institutions 398.23	OPEC Fund 29.24	CEB 22.96	OSCE 12.45	GEF 6.99	12.44	482.32

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.57億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.47) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] 北マケドニア

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
206万人	6,660ドル	2.1%	115.72億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対北マケドニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.54	3.57
2019年度	-	1.49	0.23
2020年度	-	1.66	0.93
2021年度	-	1.00	1.40
2022年度	-	0.44	1.15

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対北マケドニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	96.89	278.69	53.59

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対北マケドニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-4.67	0.45	0.36	-3.85
2018年	-4.74	0.47	0.83	-3.44
2019年	-4.80	0.85	2.65	-1.30
2020年	-4.90	1.32	0.09	-3.49
2021年	-4.77	1.61	1.09	-2.06
累計	39.53	99.74	51.24	190.57

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 24.94	スイス 20.86	ドイツ 9.35	スロベニア 3.54	英国 2.52	70.88	0.81
2018年	米国 26.96	スイス 24.30	ドイツ 9.17	スロベニア 4.57	スウェーデン 4.53	84.35	1.30
2019年	スイス 26.81	米国 22.53	ドイツ 11.72	スウェーデン 5.32	-	89.02	3.50
	-	-	-	英国 5.32	-	-	-
2020年	スイス 20.43	米国 18.80	ドイツ 15.40	スウェーデン 6.97	スロベニア 6.05	82.03	1.41
2021年	スイス 20.75	ドイツ 19.59	米国 16.77	スウェーデン 8.90	スロベニア 7.25	90.90	2.70

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 126.65	CEB 6.92	OSCE 6.60	UNHCR 1.36	UNICEF 1.03	2.91	145.47
2018年	EU Institutions 145.15	OSCE 6.95	UNICEF 1.01	CEB 0.96	IAEA 0.94	3.08	158.07
2019年	EU Institutions 104.20	CEB 6.96	OSCE 6.61	UNICEF 0.92	UNHCR 0.83	2.35	121.86
2020年	EU Institutions 259.46	OSCE 6.55	CEB 6.26	UNHCR 0.96	UNICEF 0.92	3.80	277.94
2021年	EU Institutions 303.20	OSCE 6.90	IAEA 1.46	UNHCR 0.93	UN COVID-19 MPTF 0.85	5.46	318.79

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.44億円 ・草の根・人間の安 全保障無償 (6件) (0.44)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] モルドバ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
254万人	5,500ドル	-5.%	97.23億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルドバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.56	0.11
2019年度	-	0.71	0.23
2020年度	20.59	2.10	0.87
2021年度	-	15.87	0.79
2022年度	-	17.68	1.29

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルドバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	79.85	119.46	28.01

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルドバ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	4.94	0.59	5.53
2018年	0.07	0.77	0.36	1.21
2019年	-	0.76	0.20	0.96
2020年	-	0.71	0.55	1.26
2021年	0.10	1.38	0.73	2.22
累計	49.50	75.56	26.28	151.36

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	米国 30.45	スイス 15.99	スウェーデン 14.22	ドイツ 12.96	日本 5.53	100.81	5.53
2018年	米国 38.37	スウェーデン 16.04	ドイツ 13.01	スイス 11.49	チェコ 3.67	100.82	1.21
2019年	米国 39.11	スウェーデン 16.37	スイス 15.98	ドイツ 13.96	チェコ 4.53	107.55	0.96
2020年	米国 35.30	スイス 16.22	スウェーデン 15.07	ドイツ 11.95	チェコ 5.15	101.15	1.26
2021年	米国 45.35	スウェーデン 17.28	ドイツ 16.10	スイス 15.31	チェコ 5.77	122.88	2.22

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 128.14	IDA 20.70	IMF-CTF 14.42	GFATM 10.82	IFAD 3.42	9.77	187.27
2018年	EU Institutions 120.26	IDA 36.58	IMF-CTF 11.33	GFATM 6.73	IFAD 3.82	8.13	186.83
2019年	EU Institutions 177.75	IDA 14.98	GFATM 6.71	IFAD 4.88	IMF-CTF 2.63	11.36	218.31
2020年	EU Institutions 278.94	IMF-CTF 86.78	IDA 57.41	IFAD 6.99	GFATM 4.89	13.36	448.36
2021年	EU Institutions 349.58	IDA 73.40	IMF-CTF 27.14	CEB 8.43	GFATM 8.17	16.19	482.90

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	17.68億円 ・ジャンプラット フォーム(JPF)を 通じた人道支援 (6件) (6.97) ・草の根・人間の安 全保障無償 (9件) (0.64) ・草の根文化無償 (1件) (0.08) ・医療体制強化計画 (10.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] モンテネグロ

主要経済指標等 (2022年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
61.7万人	10,480ドル	6.4%	88.15億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2018年度	-	0.10	0.06
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	1.09	0.54
2021年度	-	0.14	0.67
2022年度	-	0.14	1.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	41.38	11.29

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンテネグロ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.14	0.02	0.16
2018年	-	0.24	0.04	0.28
2019年	-	0.19	0.05	0.24
2020年	-	0.94	0.09	1.03
2021年	-	0.08	0.50	0.58
累計	-1.28	12.18	9.19	20.08

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2023年12月)

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2017年	ドイツ 13.80	米国 1.90	スロベニア 1.40	英国 1.34	オーストリア 1.14	22.70	0.16
2018年	ドイツ 19.84	米国 2.29	ノルウェー 1.97	スロベニア 1.61	英国 1.35	30.27	0.28
2019年	ドイツ 14.62	英国 4.86	ノルウェー 2.30	スロベニア 1.72	米国 1.70	30.36	0.24
2020年	ドイツ 24.56	米国 2.37	英国 1.91	オーストリア 1.20	スロベニア 1.10	36.13	1.03
2021年	ドイツ 20.16	ハンガリー 8.19	米国 6.19	英国 2.61	フランス 1.62	46.22	0.58

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2017年	EU Institutions 123.03	OSCE 1.98	GEF 1.63	UNHCR 1.50	UNICEF 0.84	1.25	130.22
2018年	EU Institutions 166.30	OSCE 1.73	GEF 1.36	UNICEF 0.94	UNHCR 0.76	1.54	172.63
2019年	EU Institutions 119.50	OSCE 1.87	UNHCR 1.31	UNICEF 0.88	UNPBF 0.66	2.22	126.45
2020年	EU Institutions 221.04	OSCE 2.12	UNICEF 1.12	IAEA 0.87	UNHCR 0.79	2.75	228.70
2021年	EU Institutions 156.18	OSCE 2.14	Joint SDG Fund 1.18	UNICEF 0.86	GEF 0.81	4.64	165.79

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2022年度	なし	0.14億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.14)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。